中部大学学則

第1章 目的

第1条 中部大学(以下「本学」という。)は、教育基本法並びに建学の精神にのっとり、学術の中心として、広く知識を授けるとともに、深く専門の学術を教授研究し、知的、道徳的及び応用的能力をもつ有為な人材を育成し、もって人類・社会の発展と学術・文化の進展に寄与することを目的とする。

第2章 学部・学科及び収容定員

第2条 本学に置く学部・学科は次のとおりとし、学生はその一学部・学科を専修するものとする。

工学部機械工学科、都市建設工学科、建築学科、応用化学科、情報工学科、

電気電子システム工学科

経営情報学部 経営総合学科

国際関係学部 国際学科

人文学部 日本語日本文化学科、英語英米文化学科、心理学科、歴史地理学科、

メディア情報社会学科

応用生物学部 応用生物化学科、環境生物科学科、食品栄養科学科(食品栄養科学専攻、

管理栄養科学専攻)

生命健康科学部生命医科学科、保健看護学科、理学療法学科、作業療法学科、臨床工学科、

スポーツ保健医療学科

現代教育学部 幼児教育学科、現代教育学科(現代教育専攻、中等教育国語数学専攻)

理工学部 数理・物理サイエンス学科、AI ロボティクス学科、宇宙航空学科

- 2 学部及び学科ごとの教育研究上の目的は、別表1のとおりとする。
- 3 前項の目的を踏まえ、次の各号に掲げる方針を別に定める。
 - (1) 卒業の認定及び学位の授与に関する方針 (ディプロマ・ポリシー)
 - (2) 教育課程の編成及び実施に関する方針(カリキュラム・ポリシー)
 - (3) 入学者の受入れに関する方針(アドミッション・ポリシー)
- 第3条 本学の学部及び学科の収容定員は、次のとおりとする。

学部	学科	入学定員	3年次編 入学定員	収容定員
工学部	機械工学科	160	2	644
	都市建設工学科	80	2	324
	建築学科	110	2	444
	応用化学科	90	2	364
	情報工学科	120	2	484
	電気電子システム工学科	160	2	644
	計	720	12	2, 904

経営情報学部	経営総合学科	300	6	1, 212
	計	300	6	1, 212
国際関係学部	国際学科	140	5	570
	計	140	5	570
人文学部	日本語日本文化学科	80	2	324
	英語英米文化学科	70	2	284
	心理学科	90	2	364
	歴史地理学科	90	2	364
	メディア情報社会学科	70	2	284
	計	400	10	1,620
応用生物学部	応用生物化学科	110	2	444
	環境生物科学科	110	2	444
	食品栄養科学科			
	食品栄養科学専攻	60	2	244
	管理栄養科学専攻	80	0	320
	計	360	6	1, 452
生命健康科学部	生命医科学科	60	0	240
	保健看護学科	100	0	400
	理学療法学科	40	0	160
	作業療法学科	40	0	160
	臨床工学科	40	0	160
	スポーツ保健医療学科	80	0	320
	計	360	0	1, 440
現代教育学部	幼児教育学科	80	2	324
	現代教育学科			
	現代教育専攻	60	2	244
	中等教育国語数学専攻	20	0	80
	計	160	4	648
理工学部	数理・物理サイエンス学科	40	2	164
	AI ロボティクス学科	80	2	324
	宇宙航空学科	80	2	324
	1111	200	6	812

第4条 削除

第3章 修業年限・学年・学期及び休業日

第5条 本学の修業年限は4年とし、在学期間は通算8年を超えてはならない。

第6条 学年は4月1日に始まり翌年3月31日に終る。

第7条 学年を分けて、次の2学期とする。

春学期 4月1日から9月30日まで

秋学期 10月1日から翌年3月31日まで

- 第8条 休業日は、次のとおりとする。ただし、休業日であっても授業又は試験を実施すること がある。
 - (1) 日曜日
 - (2) 国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日
 - (3) 開学記念日 11月19日
 - (4) 学園創立記念日 12月8日
 - (5) 春季休業日
 - (6) 夏季休業日
 - (7) 冬季休業日
- 2 前項第5号から第7号までの休業期間は、別に定める。
- 3 必要がある場合は、第1項の休業日を臨時に変更し、又は臨時の休業日を定めることができる。

第4章 教育課程・履修方法及び単位認定

- 第9条 本学の学部・学科の教育課程は、別表2のとおりとする。
- 2 学生は、所属する学部・学科所定の教育課程を履修しなければならない。
- 3 学生は、前項に定める教育課程のほか、他の学部・学科が開設する授業科目を履修することができる。
- 第9条の2 学生は、本学が定める科目群の授業科目を副専攻として履修することができる。
- 2 副専攻の種類、科目群その他の必要事項は、別に定める。
- 第9条の3 本学に日本語教員養成講座を置く。
- 2 日本語教員養成講座の授業科目その他の必要事項は、別に定める。
- 第10条 本学が教育上有益と認めるときに限り、他の大学又は短期大学(外国の大学又は短期大学を含む。以下「他の大学」という。)との協議に基づき、学生は学長の許可を得て当該大学の授業科目を履修することができる。
- 2 前項の規定により履修し、修得した授業科目の単位は 60 単位を超えない範囲で、本学卒業に 必要な単位に算入する。
- 3 他の大学での履修の期間は、原則として1年以内とする。ただし、特別の理由がある場合には、協議の上、更に1年以内に限り延長することができるが、履修の期間は、通算して2年を超えることはできない。
- 4 他の大学での履修の期間は、本学の在学期間に算入する。
- 第10条の2 本学が教育上有益と認めるときに限り、学長の許可を得て、学生が短期大学又は高等専門学校の専攻科における学修その他文部科学大臣が別に定める学修を行った場合は、本学における授業科目の履修とみなし、必要な単位を与えることができる。
- 2 前項により与えることができる単位数は前条第2項による単位数と合わせて 60 単位を超えないものとする。
- 第11条 本学が教育上有益と認めるときに限り、学生が本学に入学する前に大学又は短期大学に おいて修得した単位(科目等履修生として修得した単位を含む。)を本学において修得したもの

とみなすことができる。

- 2 本学が教育上有益と認めるときに限り、学生が本学に入学する前に行った前条第1項に規定 する学修を本学における履修とみなし必要な単位を与えることができる。
- 3 前2項により修得したものとみなし又は与えることのできる単位数は、編入学等の場合を除き、本学において修得した単位以外のものについては、第10条第2項及び前条第2項による単位数と合わせて60単位を超えないものとする。
- 第11条の2 第52条の2の規定による科目等履修生(大学の学生以外の者に限る。)として一定の単位を修得した者が本学に入学した場合において、当該単位の修得により本学の教育課程の一部を履修したものと認められるときは、修得した単位数、その修得に要した期間等を勘案して、2年を超えない範囲の期間をその者の修業年限に通算することができる。
- 第12条 教育課程の授業科目は、全学共通教育科目及び学部教育科目に分ける。
- 第 13 条 教育職員の免許状授与の所要資格を取得しようとする者は、教育職員免許法(昭和 24 年法律第 147 号)及び教育職員免許法施行規則(昭和 29 年文部省令第 26 号)に定める所要の単位を修得しなければならない。
- 2 本学において取得できる教育職員免許状の種類は、次のとおりとする。

	学部・学科	免許状の種類
工学部	機械工学科 都市建設工学科 建築学科 電気電子システム工学科	高等学校教諭一種免許状 (工業)
	情報工学科	高等学校教諭一種免許状(工業) 高等学校教諭一種免許状(情報)
	応用化学科	高等学校教諭一種免許状(工業) 高等学校教諭一種免許状(理科)
経営情報学部	経営総合学科	高等学校教諭一種免許状 (商業)
国際関係学部	国際学科	高等学校教諭一種免許状(地理歴史) 高等学校教諭一種免許状(公民)
人文学部	日本語日本文化学科	中学校教諭一種免許状(国語) 高等学校教諭一種免許状(国語)
	英語英米文化学科	中学校教諭一種免許状(英語) 高等学校教諭一種免許状(英語)
	心理学科	高等学校教諭一種免許状 (公民)
	歴史地理学科	中学校教諭一種免許状(社会) 高等学校教諭一種免許状(地理歴史)
	メディア情報社会学科	高等学校教諭一種免許状 (公民)
応用生物学部	応用生物化学科	高等学校教諭一種免許状(農業) 高等学校教諭一種免許状(理科)

1		
	環境生物科学科	高等学校教諭一種免許状 (農業)
		高等学校教諭一種免許状 (理科)
	食品栄養科学科	高等学校教諭一種免許状 (農業)
	食品栄養科学専攻	高等学校教諭一種免許状 (理科)
	食品栄養科学科	栄養教諭一種免許状
	管理栄養科学専攻	
生命健康科学部	保健看護学科	養護教諭一種免許状
現代教育学部	幼児教育学科	幼稚園教諭一種免許状
为[10数百子即	为几数 自 于们	タガー 日本プロー 4人
	現代教育学科	小学校教諭一種免許状
	現代教育専攻	特別支援学校教諭一種免許状
		中学校教諭一種免許状(理科)
	現代教育学科	中学校教諭一種免許状(国語)
	中等教育国語数学専攻	中学校教諭一種免許状(数学)
理工学部	数理・物理サイエンス学科	高等学校教諭一種免許状 (数学)
		高等学校教諭一種免許状 (理科)

- 第 13 条の 2 本学応用生物学部応用生物化学科、環境生物科学科又は食品栄養科学科の食品衛生コースにおいて、食品衛生法(昭和 22 年法律第 233 号)に定める所要の単位を修得した者は、同法及び同法施行令(昭和 28 年政令第 229 号)の規定に基づく食品衛生管理者及び食品衛生監視員の資格を取得することができる。
- 2 本学応用生物学部食品栄養科学科において、管理栄養科学専攻(以下「管理栄養科学専攻」 という。)の課程を履修して卒業した者は、栄養士法(昭和22年法律第245号)に規定する栄 養士の免許を取得することができる。
- 3 管理栄養科学専攻において、栄養士法施行令(昭和28年政令第231号)及び管理栄養士学校 指定規則(昭和41年文部・厚生令第2号)の規定に基づき定められた所要の単位を修得して卒 業した者は、管理栄養士国家試験の受験資格を取得することができる。
- 4 前2項に規定する栄養士の免許及び管理栄養士国家試験の受験資格を取得しようとする者が 履修すべき授業科目、単位数その他の必要事項は、別に定める。
- 第13条の3 本学国際関係学部国際学科、人文学部日本語日本文化学科、歴史地理学科、メディア情報社会学科又は応用生物学部環境生物科学科において、学芸員の資格を取得しようとする者は、博物館法(昭和26年法律第285号)及び博物館法施行規則(昭和30年文部省令第24号)に定める所要の単位を修得しなければならない。
- 2 前項の資格を取得しようとする者のために学芸員課程を置き、課程に関する授業科目、単位 数その他の必要事項は、別に定める。
- 第 13 条の4 本学現代教育学部幼児教育学科において、保育士の資格を取得しようとする者は、 児童福祉法施行規則(昭和 23 年厚生省令第 11 号)の規定に基づき定められた所要の単位を修 得しなければならない。
- 2 前項の資格を取得しようとする者が履修すべき授業科目、単位数その他の必要事項は、別に 定める。

- 第 13 条の 5 本学生命健康科学部保健看護学科において、保健師助産師看護師法(昭和 23 年法 律第 203 号)の規定に定める保健師国家試験の受験資格を得ようとする者は、別に定める選考 を経て、保健師助産師看護師学校養成所指定規則(昭和 26 年文部省・厚生省令第 1 号別表)に 定める所要の単位を修得しなければならない。
- 第 13 条の 6 司書の資格を取得しようとする者は、図書館法 (昭和 25 年法律第 118 号) 及び図書館法施行規則 (昭和 25 年文部省令第 27 号) に定める所要の単位を修得しなければならない。
- 2 前項の資格を取得しようとする者のために司書課程を置き、課程に関する授業科目、単位数 その他の必要な事項は、別に定める。
- 第14条 各授業科目は、必修科目、選択必修科目及び選択科目に分ける。
- 2 学生は、その履修しようとする授業科目を定めて、あらかじめ学長に申告しなければならない。
- 3 前項により履修科目として申告できる単位数は、各学部・各学年ごとに別に定める単位数の 上限を超えることができない。ただし、所定の単位を優れた成績をもって修得した者について は、履修科目として申告することができる単位数の上限を超えて申告を認めることができるも のとする。
- 第 15 条 各授業科目の単位数は、1 単位の授業科目を 45 時間の学修を必要とする内容をもって 構成することとし、次の基準により計算するものとする。
 - (1) 講義については、15時間から30時間までの授業をもって1単位とする。
 - (2) 演習については、15 時間から30 時間までの授業をもって1単位とする。
 - (3) 実験、実習、製図、実技は、30時間から45時間までの授業をもって1単位とする。
- 2 前項の各授業は、多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で履 修させることができる。その場合の単位数は、前項のとおりとする。
- 3 前項に定める授業の方法により修得した単位については、第18条に定める卒業に必要な単位 のうち、60単位を超えないものとする。
- 第16条 一の授業科目の履修が終わったときには、試験・実習報告・実習状況・平素の学修状況 等によってその成績を評価し、合格した者には、その科目の修了を認め単位を与える。
- 2 試験及び評価に関する事項は、別に定める。
- 第17条 教育課程の各授業科目の履修に係る学修進行の制限については、別に定める。

第5章 卒業及び学位

- 第18条 学部を卒業するには、4年以上在学し、かつ、教育課程に定める科目を履修し、別表2 に定めるところにより、124単位以上を修得しなければならない。
- 第19条 学部を卒業した者に学士の学位を授与する。
- 2 学士の学位は、専攻分野により次のとおりとする。

工学部 学士(工学)

経営情報学部 学士(経営情報学)

国際関係学部 学士(国際学)

人文学部 学士(人文学)

応用生物学部 学士(応用生物学)

生命健康科学部

生命医科学科 学士(生命医科学)

保健看護学科 学士(看護学)

理学療法学科 学士(理学療法学)

作業療法学科 学士(作業療法学)

臨床工学科 学士(臨床工学)

スポーツ保健医療学科 学士 (スポーツ保健医療学)

現代教育学部 学士(教育学)

理工学部

数理・物理サイエンス学科 学士(理学)

AI ロボティクス学科 学士(工学)

宇宙航空学科 学士(工学)

3 学位の授与に関しては、中部大学学位規程(昭和46年4月1日制定)の定めるところによる。

第6章 外国人留学生に関する授業科目等の特例

- 第20条 この章において「外国人留学生」とは、外国籍を有し、大学において教育を受ける目的 をもって入国し、本学に入学した者をいう。
- 第21条 外国人留学生に対する教育上の必要から第9条に規定するもののほか、各学部において 日本語に関する科目を開設することができる。
- 2 外国人留学生に係る卒業の要件として修得すべき単位数は、第18条の規定にかかわらず、外国人留学生が日本語に関する科目を履修し、所要の単位を修得した場合は、別に定めるところにより、全学共通教育科目(教養課題教育科目に限る。)の単位に代えることができる。

第7章 入学、退学、転学、留学、休学、復学及び除籍

- 第22条 入学の時期は、学年の始めとする。再入学、編入学及び転入学の場合も同様とする。 第23条 本学に入学できる者は、次の各号の一に該当する者とする。
 - (1) 高等学校又は中等教育学校を卒業した者
 - (2) 通常の課程による 12 年の学校教育を修了した者又は通常の課程以外の課程によりこれに相当する学校教育を修了した者
 - (3) 外国において学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
 - (4) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の 当該課程を修了した者
 - (5) 専修学校の高等課程(修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準 を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に 修了した者
 - (6) 文部科学大臣の指定した者

- (7) 高等学校卒業程度認定試験規則(平成17年文部科学省令第1号)による高等学校卒業程度 認定試験に合格した者(廃止前の大学入学資格検定規程(昭和26年文部省令第13号)によ る大学入学資格検定に合格した者を含む。)
- (8) 学校教育法(昭和22年法律第26号。以下「法」という。)第90条第2項の規定により他の大学に入学した者で、その後本学において、大学教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの
- (9) 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、18歳に達したもの
- 第24条 入学志願者は、所定の書類に検定料を添えて、所定の期日までに願い出なければならない。
- 2 入学志願の手続に関する事項は、別に定める。
- 第25条 入学を許可すべき者は、入学志願者について選考の上、決定する。
- 2 入学者選考に関する事項は、別に定める。
- 第26条 次の各号の一に該当する者で、本学の第3年次に編入学を志願する者については、選考の上、学長が入学を許可する。
 - (1) 大学を卒業した者又は法第104条第7項の規定により学士の学位を授与された者
 - (2) 学校教育法施行規則(昭和22年文部省令第11号。以下「施行規則」という。) 附則第7条 に規定する者
 - (3) 短期大学を卒業した者
 - (4) 高等専門学校、国立養護教諭養成所及び国立工業教員養成所のいずれかを卒業した者
 - (5) 大学に2年以上在学し、所定の単位を修得した者
 - (6) 専修学校の専門課程(修業年限が2年以上であることその他の文部科学大臣の定める基準 を満たすものに限る。)を修了した者(法第90条第1項に規定する者に限る。)
 - (7) 外国の短期大学を卒業した者又は外国の短期大学の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を我が国において修了した者(法第90条第1項に規定する者に限る。)
 - (8) 高等学校、中等教育学校の後期課程又は特別支援学校の高等部の専攻科の課程(修業年限が2年以上であることその他の文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る。)を修了した者(法第90条第1項に規定する者に限る。)
- 2 前項により入学した者の在学期間及び既修単位の認定に関する事項については、別に定める。
- 3 第24条の規定は、第1項の規定により編入学を志願する場合に準用する。
- 第26条の2 次の各号の一に該当する者は、収容定員に欠員のある場合には、選考の上、学長が相当年次に入学を許可することがある。
 - (1) 他の大学の学生で当該学部長又は学長の承認を得て本学に転入学を志願する者
 - (2) 大学を卒業した者又は法第104条第7項の規定により、学位を授与された者で本学に編入学を志願する者
 - (3) 施行規則附則第7条の規定により、本学に編入学を志願する者
 - (4) 短期大学を卒業した者で本学に編入学を志願する者

- (5) 高等専門学校、国立養護教諭養成所及び国立工業教員養成所のいずれかを卒業した者で本学に編入学を志願する者
- (6) 専修学校の専門課程(修業年限が2年以上であることその他の文部科学大臣の定める基準 を満たすものに限る。)を修了した者(法第90条第1項に規定する入学資格を有する者に限 る。)で、本学に編入学を志願する者
- (7) 外国の短期大学を卒業した者又は外国の短期大学の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を我が国において修了した者(法第90条第1項に規定する者に限る。)で、本学に編入学を志願する者
- (8) 高等学校、中等教育学校の後期課程又は特別支援学校の高等部の専攻科の課程(修業年限が2年以上であることその他の文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る。)を修了した者(法第90条第1項に規定する者に限る。)で、本学に編入学を志願する者
- 2 前項により入学した者の在学期間及び既修単位の認定に関する事項については、別に定める。
- 3 第24条の規定は、第1項の規定により編入学を志願する場合に準用する。
- 第 26 条の 3 第 26 条第 1 項及び第 26 条の 2 第 1 項による入学者選考に関する事項は、別に定める。
- 第27条 入学を許可された者は、指定の期日までに、次の手続をとらなければならない。
 - (1) 保証人連署の誓約書を提出すること。
 - (2) 住民票又はこれに代るものを提出すること。
 - (3) 所定の授業料等を納付すること。
- 2 故なく、前項の手続をしないときは、入学許可はその効力を失う。
- 第28条 病気その他やむを得ない理由により、2か月以上修学することができない者は、理由書 (病気による場合は医師の診断書)を添えて学長に願い出て、許可を得て休学することができ る。
- 2 休学できる期間は、1年以内とする。ただし、特別の理由があるときは、許可を得て延長することができる。
- 3 休学の期間は、通算して4年を超えてはならない。
- 第29条 病気その他の理由により、修学することが適当でないと認められる者に対しては、学長 は、教授会の議を経て休学を命ずることができる。
- 第30条 休学期間は、第5条に規定する在学期間に算入しない。
- 第31条 休学の理由が終って復学しようとする者は、理由書(病気による休学の場合は医師の診断書)を添えて、学長に願い出て、許可を得なければならない。
- 第32条 他の大学に転学しようとする者又は他の大学の入学試験に応じようとする者は、理由書 を添えて、学長に願い出て、許可を得なければならない。
- 第33条 現に在籍している学部・学科の学生が、他の学部・学科に転学部・転学科を志望する場合は、願い出により、選考の上、学長は、教授会の議を経て第2年次又は第3年次に転学部・転学科を許可することができる。
- 2 前項に関する事項については、別に定める。

- 第34条 退学しようとする者は、理由書(病気による場合は医師の診断書)を添えて、学長に願い出て、許可を得なければならない。
- 第35条 本学が教育上有益と認めるときに限り、外国の大学との協議に基づき、学生は、学長の 許可を得て当該大学に留学することができる。
- 2 第 10 条第 2 項、第 3 項及び第 4 項の規定は、前項の場合にこれを準用する。ただし、外国の大学との協定に基づく 2 学位プログラムによる留学の場合は、原則として 2 年間の履修を必要とするため、第 10 条第 3 項の適用を除外する。
- 第36条 次の各号の一に該当する者は、これを除籍する。
 - (1) 第5条に規定する在学期間を超えた者
 - (2) 第28条第3項に規定する休学期間を超えた者
 - (3) 休学期間が終っても所定の手続きをしない者
 - (4) 死亡した者
 - (5) 授業料納付の義務を怠り、督促しても納付しない者
- 第37条 第34条の規定による退学者及び前条第5号の規定による除籍者については、本人の願い出により、学長は、教授会の議を経て再入学させることができる。

第8章 授業料、入学料及び検定料

第38条 本学の各学部の授業料及び入学料の額は、次の表のとおりとする。ただし、第5条に規定する修業年限を超えて在学する者及び私費外国人留学生の授業料の額については、別に定めることができる。

	区分	1年次	2年次	3年次	4年次	計
授業料	工学部	(円)	(円)	(円)	(円)	(円)
		930, 000	940, 000	950,000	960,000	3, 780, 000
	経営情報学部	730, 000	740, 000	750, 000	760, 000	2, 980, 000
	国際関係学部	770,000	780, 000	790, 000	800,000	3, 140, 000
	人文学部	770,000	780,000	790,000	800,000	3, 140, 000
	応用生物学部	930, 000	940, 000	950, 000	960, 000	3, 780, 000
	生命健康科学部					
	生命医科学科	990, 000	1,000,000	1,010,000	1, 020, 000	4, 020, 000
	保健看護学科	960, 000	970,000	980,000	990, 000	3, 900, 000
	理学療法学科	960, 000	970,000	980,000	990, 000	3, 900, 000
	作業療法学科	960, 000	970, 000	980, 000	990, 000	3, 900, 000
	臨床工学科	930, 000	940, 000	950, 000	960, 000	3, 780, 000
	スポーツ保健医	880,000	890, 000	900,000	910,000	3, 580, 000
	療学科					
	現代教育学部	720, 000	730, 000	740,000	750, 000	2, 940, 000
	理工学部	930, 000	940, 000	950, 000	960, 000	3, 780, 000
入学料			280, 000	円		

2 検定料の額については、別に定める。

- 第39条 授業料の納付は、各年次に係る授業料について、春学期及び秋学期の2期に区分して行 うものとし、それぞれの期において納付する額は、年額の2分の1に相当する額とする。
- 2 前項の授業料は、春学期にあっては4月1日から10日までに、秋学期にあっては10月1日から10日までに納付しなければならない。ただし、新たに入学を許可された者は、指定の期日までに春学期の授業料を納付しなければならない。
- 第39条の2 春学期又は秋学期の全期間を休学する者のその期の授業料は、納付を免除する。ただし、別に定める在籍料を指定の期日までに納付しなければならない。
- 第40条 秋学期の納付の時期前に退学する者の納付する授業料の額は、授業料の年額の2分の1 に相当する額とする。
- 第41条 経済的理由によって納付が困難な者については、その者の申請に基づいて、納付を猶予 することができる。
- 第42条 入学料は、入学するときに納付しなければならない。ただし、再入学する者その他別に 定める者については、入学料の納付を免除する。
- 第42条の2 検定料は、入学、編入学又は再入学を出願するときに納入しなければならない。
- 第42条の3 既納の授業料、入学料及び検定料は、返付しない。ただし、入学手続時に納付された授業料の取扱いについては、別に定めることができる。

第9章 賞罰

- 第43条 学生として表彰に価する行為があったときには、学長は、教授会の議を経て、これを表彰することがある。
- 第44条 学生が本学の定める諸規則に違反し、又は学生としての本分に反する行為があったときは、学長は、教授会の議を経て、これを懲戒する。
- 2 懲戒は、訓告、停学及び退学とする。
- 3 懲戒に関する事項は、別に定める。

第10章 研究生及び聴講生

- 第45条 本学において特定の事項について研究することを願い出た者があるときは、本学の学生 の修学を妨げない場合に限り、選考の上、研究生として許可することがある。
- 2 研究生を志願することのできる者は、本学を卒業した者又はこれと同等以上の学力を有する 者とする。
- 第46条 研究生の研究期間は半年とする。ただし、事情によって延長することができる。
- 2 研究期間が終了したときは、研究生としての在籍証明書を交付することができる。
- 第 47 条 研究生の研究料は、1 か月 28,000 円とし、指定の期日までに納付しなければならない。
- 2 検定料は、35,000円とし、願い出と同時に納付しなければならない。
- 3 既納の研究料及び検定料は、理由のいかんを問わず返付しない。
- 第48条 本学の授業科目のうち特定の科目を聴講することを願い出た者があるときは、本学の学生の修学を妨げない場合に限り、選考の上、聴講生として許可することがある。
- 2 聴講生を志願することのできる者は、第23条に規定する入学資格を有する者又は本学教授会

において適当と認めた者とする。

- 第49条 聴講生の聴講期間は、聴講科目について授業の行われる期間とする。
- 2 聴講科目の試験に合格した者には、証明書を交付することができる。
- 3 聴講生として修得した単位は、本学正規の課程の単位としては認められない。
- 第 50 条 聴講生の聴講料は、1 科目につき 20,000 円とし、指定の期日までに納付しなければならない。
- 2 既納の聴講料は、理由のいかんを問わず返付しない。
- 第51条 研究生及び聴講生に対しては、本学の学生に関する規定を準用する。

第11章 特別聴講学生

- 第 52 条 他の大学又は外国の大学に在学中の学生で本学の授業科目の履修を希望する者があるときは、当該大学との協議に基づき、選考の上、特別聴講学生として入学を許可する。
- 2 特別聴講学生については、別に定める。

第11章の2 科目等履修生

第52条の2 本学の学生以外の者で、一又は複数の授業科目を履修し、単位を修得しようとする者がある場合、学部において適当と認めたときは、選考の上、科目等履修生として入学を許可することができる。

第52条の3 削除

- 第52条の4 科目等履修生の入学の時期は、当該授業科目の授業が行われる学期の始めとする。
- 第52条の5 科目等履修生の授業料は、1単位につき15,000円とし、指定の期日までに納付しなければならない。
- 2 検定料は、5,000円とし、願い出と同時に納付しなければならない。
- 3 既納の授業料及び検定料は、理由のいかんを問わず返付しない。
- 第52条の6 その他科目等履修生に対しては、本学の学生に関する規定を準用する。

第12章 職員組織

- 第53条 本学に、学長、副学長、学部長、教授、准教授、講師、助教、助手、事務職員及び技術職員を置く。
- 2 学長は、本学を代表し、校務全般をつかさどり、所属職員を統督する。
- 3 副学長は、学長を助け、命を受けて校務をつかさどる。
- 4 第1項に定めるほか、必要に応じてその他必要な職員を置くことができる。

第13章 協議会及び教授会

- 第54条 本学に重要な事項を審議するため、中部大学協議会を置く。
- 2 中部大学協議会に関する事項は、別に定める。
- 第55条 学部に教授会を置く。
- 第55条の2 教授会は、教授をもって組織する。

- 2 前項の組織には、審議事項に応じ、准教授その他の教育職員を加えることができる。
- 第56条 教授会は、次の各号に掲げる事項を審議し、学長が決定を行うに当たり意見を述べるものとする。
 - (1) 学生の入学、卒業に関する事項
 - (2) 学位の授与に関する事項
 - (3) 前二号に掲げるもののほか、教育研究に関する重要な事項で、教授会の意見を聴くことが必要なものとして学長が定めるもの
- 2 教授会は、前項に規定するもののほか、教育研究に関する事項について審議し、及び学長の 求めに応じ、意見を述べることができるものとする。

第14章 図書館

- 第57条 本学に附属三浦記念図書館を置く。
- 2 附属三浦記念図書館の管理・運営その他必要な事項は、別に定める。

第15章 学生寮

- 第58条 本学に学生寮を置き、学生の願い出により選考の上、入寮を許可する。
- 2 学生寮に関する規則は、別に定める。

第 16 章 公開講座

第59条 地方文化の向上発展に資するために、適宜地方の実情に即した公開講座を開催することがある。

第17章 雑則

第60条 この学則の施行に関し必要な事項は、施行細則で定める。

附 則

この学則は、昭和39年4月1日から施行する。

<昭和40年4月1日から平成6年3月31日までの改正附則は省略>

- 1 この学則は、平成6年4月1日から施行する。
- 2 第3条の規定にかかわらず、平成3年度から平成11年度までの間の入学定員は、次のとおりとする。

		入学	定員
学部	学科	平成3年度~ 平成10年度	平成 11 年度

工学部	機械工学科	220	160
	電気工学科	160	140
	土木工学科	120	100
	建築学科	120	100
	電子工学科	180	160
	工業化学科	120	100
	工業物理学科	80	40
	計	1000	800
経営情報学部	経営情報学科	260	260
	計	260	260
国際関係学部	国際関係学科	110	110
	国際文化学科	110	110
	計	220	220

- 3 この学則施行の際、現に在学する者については、改正後の第9条別表の規定にかかわらず、 なお従前の例による。
- 4 この学則施行の際、平成2年4月1日以前に入学した者を除き、現に在学する者に係る授業料の額は、改正後の第38条の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 5 この学則の施行の日以後において、編入学又は再入学した者に係る授業料の額は、改正後の第38条の規定にかかわらず、当該者の属する年次の在学者に係る額と同額とする。

この学則は、平成6年6月1日から施行し、改正後の第54条の2の規定は、平成6年4月1日から適用する。

附 則

この学則は、平成6年6月1日から施行する。

- 1 この学則は、平成7年4月1日から施行する。
- 2 第3条の規定にかかわらず、平成3年度から平成11年度までの間の入学定員は、次のとおりとする。

		入学定員	
学部	学科	平成3年度~ 平成10年度	平成 11 年度
工学部	機械工学科	220	160
	電気工学科	160	140
	土木工学科	120	100
	建築学科	120	100
	電子工学科	180	160

	工業化学科 工業物理学科	120 80	100 40
	計	1000	800
経営情報学部	経営情報学科	260	260
	計	260	260
国際関係学部	国際関係学科	110	110
	国際文化学科	110	110
	計	220	220

- 3 この学則施行の際、現に在学する者については、改正後の第9条別表の規定にかかわらず、 なお従前の例による。
- 4 この学則施行の際、平成3年4月1日以前に入学した者を除き、現に在学する者に係る授業 料の額は、改正後の第38条の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 5 この学則の施行の日以後において、編入学又は再入学した者に係る授業料の額は、改正後の 第38条の規定にかかわらず、当該者の属する年次の在学者に係る額と同額とする。

- 1 この学則は、平成8年4月1日から施行する。
- 2 第3条の規定にかかわらず、平成3年度から平成11年度までの間の入学定員は、次のとおりとする。

		入学	定員
学部	学科	平成3年度~ 平成10年度	平成 11 年度
工学部	機械工学科	220	160
	電気工学科	160	140
	土木工学科	120	100
	建築学科	120	100
	電子工学科	180	160
	工業化学科	120	100
	工業物理学科	80	40
	計	1000	800
経営情報学部	経営情報学科	260	260
	計	260	260
国際関係学部	国際関係学科	110	110
	国際文化学科	110	110
	計	220	220

- 3 この学則施行の際、現に在学する者については、改正後の第9条別表の規定にかかわらず、 なお従前の例による。
- 4 この学則施行の際、平成4年4月1日以前に入学した者を除き、現に在学する者に係る授業料の額は、改正後の第38条の規定にかかわらず、なお従前の例による。

5 この学則の施行の日以後において、編入学又は再入学した者に係る授業料の額は、改正後の 第38条の規定にかかわらず、当該者の属する年次の在学者に係る額と同額とする。

附 則

- 1 この学則は、平成9年4月1日から施行する。
- 2 第3条の規定にかかわらず、平成3年度から平成11年度までの間の入学定員は、次のとおりとする。

		入学员	
学部	学科	平成3年度~ 平成10年度	平成 11 年度
工学部	機械工学科	220	160
	電気工学科	160	140
	土木工学科	120	100
	建築学科	120	100
	電子工学科	180	160
	工業化学科	120	100
	工業物理学科	80	40
	計	1000	800
経営情報学部	経営情報学科	260	260
	計	260	260
国際関係学部	国際関係学科	110	110
	国際文化学科	110	110
	計	220	220

- 3 この学則施行の際、現に在学する者については、改正後の第9条別表の規定にかかわらず、 なお従前の例による。
- 4 この学則施行の際、平成5年4月1日以前に入学した者を除き、現に在学する者に係る授業料の額は、改正後の第38条の規定にかかわらず、なお従前の額による。
- 5 この学則の施行の日以後において、編入学又は再入学した者に係る授業料の額は、改正後の 第38条の規定にかかわらず、当該者の属する年次の在学者に係る額と同額とする。

- 1 この学則は、平成10年4月1日から施行する。
- 2 第3条の規定にかかわらず、工学部、経営情報学部及び国際関係学部に係る平成3年度から 平成11年度までの間の入学定員は、次のとおりとする。

		入学员	芒 員
学部	学科	平成3年度~ 平成10年度	平成 11 年度
工学部	機械工学科	220	160
	電気工学科	160	140

	土木工学科	120	100
	建築学科	120	100
	電子工学科	180	160
	工業化学科	120	100
	工業物理学科	80	40
	計	1000	800
経営情報学部	経営情報学科	260	260
	計	260	260
国際関係学部	国際関係学科	110	110
	国際文化学科	110	110
	計	220	220

- 3 人文学部に係る3年次編入学定員の規定は、改正後の第3条の規定にかかわらず、平成12年 度からこれを適用する。
- 4 この学則施行の際、現に在学する者については、改正後の第9条別表の規定にかかわらず、 なお従前の例による。
- 5 この学則施行の際、平成6年4月1日以前に入学した者を除き、現に在学する者に係る授業 料の額は、改正後の第38条の規定にかかわらず、なお従前の額による。
- 6 この学則の施行の日以後において、編入学又は再入学した者に係る授業料の額は、改正後の 第38条の規定にかかわらず、当該者の属する年次の在学者に係る額と同額とする。

- 1 この学則は、平成11年4月1日から施行する。
- 2 工学部工業化学科は、改正後の第2条の規定にかかわらず、平成11年3月31日に当該学科 に在学する者が当該学科に在学しなくなる日までの間、存続するものとする。
- 3 第3条の規定にかかわらず、工学部、経営情報学部及び国際関係学部に係る平成11年度の入 学定員は、次のとおりとする。

学部	学科	入学定員
工学部	機械工学科	220
	電気工学科	160
	土木工学科	120
	建築学科	120
	電子工学科	180
	応用化学科	120
	工業物理学科	80
	計	1,000
経営情報学部	経営情報学科	260
	計	260
国際関係学部	国際関係学科	110
	国際文化学科	110
	計	220

- 4 この学則施行の際、現に在学する者については、改正後の第9条別表の規定にかかわらず、 なお従前の例による。
- 5 この学則施行の際、平成6年4月1日以前に入学した者を除き、現に在学する者に係る授業 料の額は、改正後の第38条の規定にかかわらず、なお従前の額による。
- 6 この学則施行の日以後において、編入学又は再入学した者に係る授業料の額は、改正後の第 38条の規定にかかわらず、当該者の属する年次の在学者に係る額と同額とする。

附則

- 1 この学則は、平成12年4月1日から施行する。
- 2 工学部工業物理学科は、改正後の第2条の規定にかかわらず、平成12年3月31日に当該学科に在学する者が当該学科に在学しなくなるまでの間、存続するものとし、当該学科に係る適用規定は、なお従前の例による。
- 3 工学部土木工学科、建築学科、応用化学科及び情報工学科に係る3年次編入学定員の規定は、 改正後の第3条の規定にかかわらず、平成14年度からこれを適用し、工学部、経営情報学部及 び国際関係学部の平成12年度の収容定員は、改正後の第3条の規定にかかわらず、次のとおり とする。

学部	学科	入学定員	3年次編 入学定員	収容定員
工学部	機械工学科	220	15	910
	電気工学科	140	10	640
	土木工学科	110	10	490
	建築学科	120	10	500
	電子工学科	160	10	720
	応用化学科	120	10	500
	情報工学科	120	0	120
	工業物理学科	0	0	240
	計	990	65	4, 120
経営情報学部	経営情報学科	260	20	1,080
	計	260	20	1,080
国際関係学部	国際関係学科	110	10	460
	国際文化学科	100	10	450
	1	210	20	910

- 4 この学則施行の際、現に在学する者については、改正後の第9条別表及び第13条の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 5 この学則施行の際、平成7年4月1日以前に入学した者を除き、現に在学する者に係る授業 料の額は、改正後の第38条の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 6 この学則施行の日以後において、編入学又は再入学した者に係る授業料の額は、改正後の第 38条の規定にかかわらず、当該者の属する年次の在学者に係る額と同額とする。

- 1 この学則は、平成13年4月1日から施行する。
- 2 工学部、経営情報学部及び国際関係学部の平成13年度の収容定員は、改正後の第3条の規定にかかわらず、次のとおりとする。

学部	学科	入学定員	3年次編 入学定員	収容定員
工学部	機械工学科	200	15	890
	電気工学科	110	10	590
	土木工学科	100	10	470
	建築学科	120	10	500
	電子工学科	120	10	660
	応用化学科	100	10	480
	情報工学科	120	0	240
	工業物理学科	0	0	160
	計	870	65	3, 990
経営情報学部	経営情報学科	250	20	1,070
	計	250	20	1,070
国際関係学部	国際関係学科	110	10	460
	国際文化学科	90	10	430
	計	200	20	890

- 3 この学則施行の際、現に在学する者については、改正後の別表(第9条関係)及び第13条の 規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 4 平成13年度以降に人文学部各学科、工学部情報工学科及び応用生物学部各学科に入学する学生に係る教養教育科目については、改正後の別表(第9条関係)教養教育科目(Ⅱ)を適用する。
- 5 この学則施行の際、平成8年4月1日以前に入学した者を除き、現に在学する者に係る授業 料の額は、改正後の第38条の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 6 この学則施行の日以後において、編入学又は再入学した者に係る授業料の額は、改正後の第 38条の規定にかかわらず、当該者の属する年次の在学者に係る額と同額とする。

この学則は、平成13年5月22日から施行し、平成13年1月6日から適用する。

附 則

この学則は、平成13年5月24日から施行し、平成13年4月1日から適用する。

附 則

この学則は、平成13年11月21日から施行し、平成13年10月1日から適用する。

この学則は、平成14年4月1日から施行する。

附則

- 1 この学則は、平成14年4月1日から施行する。
- 2 経営情報学部経営情報学科、経営学科及び人文学部コミュニケーション学科、心理学科に係る3年次編入学定員の規定は、改正後の第3条の規定にかかわらず、平成16年度からこれを適用し、工学部機械工学科、建築学科、応用化学科及び経営情報学部経営情報学科の平成14年度の入学定員は、改正後の第3条の規定にかかわらず、次のとおりとする。

学部	学科	入学定員
工学部	機械工学科	190
	建築学科	120
	応用化学科	100
経営情報学部	経営情報学科	140

- 3 この学則施行の際、現に在学する者については、改正後の別表(第9条関係)及び第13条の 規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 4 この学則施行の際、現に在学する者に係る授業料の額は、改正後の第38条の規定にかかわらず、なお従前の額による。
- 5 この学則施行の日以後において、編入学又は再入学した者に係る授業料の額は、改正後の第 38条の規定にかかわらず、当該者の属する年次の在学者に係る額と同額とする。

附則

- 1 この学則は、平成15年4月1日から施行する。
- 2 工学部機械工学科、建築学科、応用化学科及び経営情報学部経営情報学科の平成 15 年度の入 学定員は、第3条の規定にかかわらず、次のとおりとする。

学部	学科	入学定員
工学部	機械工学科	180
	建築学科	120
	応用化学科	100
経営情報学部	経営情報学科	130

- 3 この学則施行の際、現に在学する者については、改正後の別表(第9条関係)の規定にかか わらず、なお従前の例による。
- 4 この学則施行の際、現に在学する者に係る授業料の額は、改正後の第38条の規定にかかわらず、なお従前の額による。
- 5 この学則施行の日以後において、編入学又は再入学した者に係る授業料の額は、改正後の第 38条の規定にかかわらず、当該者の属する年次の在学者に係る額と同額とする。

- 1 この学則は、平成16年4月1日から施行する。
- 2 工学部電気工学科、土木工学科及び電子工学科は、改正後の第2条の規定にかかわらず、平成16年3月31日に当該学科に在学する者が当該学科に在学しなくなる日までの間、存続するものとする。
- 3 人文学部英語英米学科及び歴史地理学科に係る3年次編入学定員の規定は、改正後の第3条の規定にかかわらず、平成18年度からこれを適用する。
- 4 この学則施行の際、現に在学する者については、改正後の別表(第9条関係)の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 5 この学則施行の際、現に在学する者に係る授業料の額は、改正後の第38条の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 6 この学則施行の日以降において、編入学又は再入学した者に係る授業料の額は、改正後の第 38条の規定にかかわらず、当該者の属する年次の在学者に係る額と同額とする。

- 1 この学則は、平成17年4月1日から施行する。
- 2 工学部情報工学科、人文学部日本語日本文化学科及び応用生物学部食品栄養科学科に係る3 年次編入学定員の規定は、改正後の第3条の規定にかかわらず、平成19年度からこれを適用 する。
- 3 この学則施行の際、現に在学する者については、改正後の別表(第9条関係)の規定にかか わらず、なお従前の例による。
- 4 この学則施行の際、現に在学する者に係る授業料の額は、改正後の第38条の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 5 この学則施行の日以降において、編入学又は再入学した者に係る授業料の額は、改正後の第 38条の規定にかかわらず、当該者の属する年次の在学者に係る額と同額とする。

附 則

この学則は、平成17年5月24日から施行し、平成17年4月1日から適用する。

附則

この学則は、平成 17 年 10 月 14 日から施行し、平成 17 年 10 月 1 日から適用する。

附則

この学則は、平成17年12月1日から施行する。

- 1 この学則は、平成18年4月1日から施行する。
- 2 この学則施行の際、現に在学する者については、改正後の別表(第9条関係)の規定にかかわらず、なお従前の例による。

- 3 この学則施行の際、現に在学する者に係る授業料の額は、改正後の第38条の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 4 この学則施行の日以降において、編入学又は再入学した者に係る授業料の額は、改正後の第 38条の規定にかかわらず、当該者の属する年次の在学者に係る額と同額とする。

- 1 この学則は、平成19年4月1日から施行する。
- 2 この学則施行の際、現に在学する者については、改正後の別表(第9条関係)の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 3 この学則施行の際、現に在学する者に係る授業料の額は、改正後の第38条の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 4 この学則施行の日以降において、編入学又は再入学した者に係る授業料の額は、改正後の第 38条の規定にかかわらず、当該者の属する年次の在学者に係る額と同額とする。

附 則

この学則は、平成19年12月26日から施行する。

附 則

- 1 この学則は、平成 20 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 工学部機械工学科、同電子情報工学科及び現代教育学部幼児教育学科、同児童教育学科に係る3年次編入学定員の規定は、改正後の第3条の規定にかかわらず、平成22年度からこれを適用する。
- 3 この学則施行の際、現に在学する者については、改正後の別表 2 (第9条関係) の規定にか かわらず、なお従前の例による。
- 4 この学則施行の際、現に在学する者に係る授業料の額は、改正後の第38条の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 5 この学則施行の日以降において、編入学又は再入学した者に係る授業料の額は、改正後の第 38 条の規定にかかわらず、当該者の属する年次の在学者に係る額と同額とする。

附則

この学則は、平成21年1月21日から施行する。

- 1 この学則は、平成21年4月1日から施行する。
- 2 国際関係学部国際関係学科、同国際文化学科及び同中国語中国関係学科に係る3年次編入学 定員の規定は、改正後の第3条の規定にかかわらず、平成23年度からこれを適用する。
- 3 この学則施行の際、現に在学する者については、改正後の別表 2 (第 9 条関係) の規定にか かわらず、なお従前の例による。

- 1 この学則は、平成22年4月1日から施行する。
- 2 この学則施行の際、現に在学する者については、改正後の別表 2 (第9条関係) の規定にか かわらず、なお従前の例による。

附 則

- 1 この学則は、平成23年4月1日から施行する。
- 2 経営情報学部経営情報学科及び経営会計学科に係る3年次編入学定員の規定は、改正後の第 3条の規定にかかわらず、平成25年度からこれを適用する。
- 3 削除
- 4 この学則施行の際、現に在学する者については、改正後の第12条、第18条及び第21条第2 項並びに別表1(第2条関係)及び別表2(第9条関係)の規定にかかわらず、なお従前の例 による。
- 5 この学則施行の際、現に在学する者に係る授業料の額は、改正後の第38条の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 6 この学則施行の日以降において、編入学又は再入学した者に係る授業料の額は、改正後の第 38条の規定にかかわらず、当該者の属する年次の在学者に係る額と同額とする。

附 則

- 1 この学則は、平成24年4月1日から施行する。
- 2 この学則施行の際、現に在学する者については、改正後の別表 2 (第9条関係)の規定にか かわらず、なお従前の例による。

附則

- 1 この学則は、平成25年4月1日から施行する。
- 2 この学則施行の際、現に在学する者については、改正後の別表 2 (第 9 条関係) の規定にか かわらず、なお従前の例による。

附則

- 1 この学則は、平成26年4月1日から施行する。
- 2 工学部ロボット理工学科に係る3年次編入学定員の規定は、改正後の第3条の規定にかかわらず、平成28年度からこれを適用する。
- 3 この学則施行の際、現に在学する者については、改正後の別表 2 (第9条関係)の規定にか かわらず、なお従前の例による。

附 則

1 この学則は、平成27年4月1日から施行する。

2 この学則施行の際、現に在学する者については、改正後の別表 2 (第9条関係) の規定にか かわらず、なお従前の例による。

附則

- 1 この学則は、平成28年4月1日から施行する。
- 2 経営情報学部経営情報学科、経営学科、経営会計学科及び国際関係学部国際関係学科、国際 文化学科、中国語中国関係学科は、改正後の第2条の規定にかかわらず、平成31年3月31日 に当該学科に在学する者が当該学科に在学しなくなる日までの間、存続するものとする。
- 3 経営情報学部及び国際関係学部に係る3年次編入学定員の規定は、改正後の第3条の規定に かかわらず、平成30年度からこれを適用する。
- 4 この学則施行の際、現に在学する者については、改正後の第13条第2項及び別表2(第9条 関係)の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附則

- 1 この学則は、平成29年4月1日から施行する。
- 2 現代教育学部現代教育学科に係る3年次編入学定員の規定は、改正後の第3条の規定にかか わらず、平成31年度からこれを適用する。
- 3 この学則施行の際、現に在学する者については、改正後の第13条第2項及び別表2(第9条 関係)の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則

- 1 この学則は、平成30年4月1日から施行する。
- 2 工学部電気システム工学科及び電子情報工学科は、改正後の第2条の規定にかかわらず、平成33年3月31日に当該学科に在学する者が当該学科に在学しなくなる日までの間、存続するものとする。
- 3 工学部電気電子システム工学科及び宇宙航空理工学科に係る3年次編入学定員の規定は、改正後の第3条の規定にかかわらず、平成32年度からこれを適用する。
- 4 この学則施行の際、現に在学する者については、改正後の第13条第2項及び別表2(第9条 関係)の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附則

- 1 この学則は、2019年4月1日から施行する。
- 2 この学則施行の際、現に在学する者については、改正後の第13条第2項及び別表2(第9条 関係)の規定にかかわらず、なお従前の例による。

- 1 この学則は、2020年4月1日から施行する。
- 2 この学則施行の際、現に在学する者については、改正後の別表2(第9条関係)の規定にか

かわらず、なお従前の例による。

附則

この学則は、2020年5月1日から施行する。

附 則

- 1 この学則は、2021年4月1日から施行する。
- 2 この学則施行の際、現に在学するものについては、改正後の第13条の3及び別表2(第9条 関係)の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則

- 1 この学則は、2022年4月1日から施行する。
- 2 この学則施行の際、現に在学するものについては、改正後の別表 2 (第9条関係)の規定に かかわらず、なお従前の例による。

附則

- 1 この学則は、2023年4月1日から施行する。
- 2 工学部ロボット理工学科及び宇宙航空理工学科は、改正後の第2条の規定にかかわらず、2026 年3月31日に当該学科に在学する者が当該学科に在学しなくなる日までの間、存続するものと する。
- 3 理工学部数理・物理サイエンス学科、AI ロボティクス学科及び宇宙航空学科に係る3年次編入学定員の規定は、改正後の第3条の規定にかかわらず、2025年度からこれを適用する。
- 4 この学則施行の際、現に在学するものについては、改正後の別表1 (第2条第2項関係)及 び別表2 (第9条関係)の規定にかかわらず、なお従前の例による。

- 1 この学則は、2024年4月1日から施行する。
- 2 人文学部コミュニケーション学科は、改正後の第2条の規定にかかわらず、2027 年3月31 日に当該学科に在学する者が当該学科に在学しなくなる日までの間、存続するものとする。
- 3 人文学部メディア情報社会学科に係る3年次編入学定員の規定は、改正後の第3条の規定にかかわらず、2026年度からこれを適用する。
- 4 この学則施行の際、現に在学するものについては、改正後の別表1 (第2条第2項関係)及び別表2 (第9条関係)の規定にかかわらず、なお従前の例による。

別表1 (第2条第2項関係)

教育研究上の目的

学部・学科	教育研究上の目的
工学部・子科	教育研究上の目的 個の人間形成に必要な教養、時代を超えた普遍的な幅広い基礎知
工子司)	職、専門知識と実務知識並びにその応用力を自ら学ぶことによって修得し、発想を現実のものにするための複眼的な論理的思考法を訓練することにより、地域社会を中心にして、日本さらには国際社会において、状況の変化や時代の要請に応じて柔軟に対応して活躍できる能力を身に付け、開拓者精神に満ちた健全な技術者(教育者、研究者を含む。)を育成する。
機械工学科	数学と物理学における基礎的な理解力・応用力と、これらに基づいた機械工学の最も基礎的・普遍的な専門知識と概念を修得させるとともに、各種機械の設計・製作・評価・管理に関する学術分野の教育を行い、主として力学・制御、エネルギー・流体、生産プロセス及び工学設計の領域の知識・能力を身に付けた有能な人間を育成する。
都市建設工学科	土木工学を基盤として、人間が生活する上で安心・安全かつ快適な社会基盤の整備や持続発展可能な地球環境の開発・保全に関する学術分野の教育を行い、主として、計画、設計、施工、管理などの専門的又は実務的な領域の知識・能力を修得した有能な人間を育成する。
建築学科	建築は機能を満たし、安全、快適で美しさが求められる。歴史、都市、社会との関わりを基礎に、空間創造のための建築デザイン、安全な建築を造るための材料と構造、建築内外の環境の学術分野の教育を行う。そして、建築設計・計画、建築環境・設備、建築構造、建築生産、建築史、都市計画の領域の知識を修得し、デザイン能力があり、人間の幸福を実現できる有能な人間を育成する。
応用化学科	物質の変化に関する化学の基礎的概念を理解させ、これに基づいた 化学の専門知識を修得させるとともに、化学計測、無機・有機及びナ ノ複合材料、エネルギー、環境に関する学術分野の教育を行い、主と して環境化学、物理化学、無機化学、有機化学及び化学工学の領域の 知識・能力を身に付けた有能な人間を育成する。
情報工学科	情報工学の技術と知識の基礎を身に付け、システムモデルを構築する能力を伸ばすための教育を行い、主としてソフトウェア、通信ネットワーク、ハードウェア、システム制御に関する知識・能力を修得した有能な人間を育成する。
電気電子システム工 学科	地球規模で持続可能な電気エネルギーシステムやエレクトロニクス分野の電子機器・システム等を利用した快適な社会環境を確立するために、電気工学と電子工学を基盤とする学術分野の教育研究を行い、電力・設備、電機・計測制御、材料・デバイス、システム・通信等の各領域の知識・能力を修得した有能な技術者を育成する。
経営情報学部	豊かな教養、自立心と公益心とともに、企業経営と情報技術に関する基本的な考え方・知識・スキルとそれらを実社会で活用する能力、自ら学び続ける能力を身に付け、広く国際的視野から物事を考え実行する専門職業人/有識社会人となる有為の人間を育成する。
経営総合学科	経営総合学科は、経営、情報、会計、経済、法律等の諸分野にわたる基本的な考え方、知識、スキルを修得し、自立心、公益意識、広い視野から物事を考える力、行動力を備えて、企業や組織の発展に将来貢献する人材として社会に役立つ人間を育成する。

国際関係学部	社会科学並びに人文科学の立場から、国際関係・国際文化の動向・
EWWW 1 H	諸要因を政治・経済・社会・文化等の諸分野について総合的・包括的、 グローバルかつローカルな視点から考察し、国際化する社会のさまざ まな現場で、実際に活躍できる有為の人間を育成する。
国際学科	国際社会の政治・経済・社会・文化現象を社会科学・人文科学の立場を中心として考察し、国際社会の動向や諸要因の分析、国際開発や政策研究等の諸問題、人類の多様な文化的価値の解明、他文化理解やコミュニケーション能力の向上等について総合的・包括的に教育研究し、英語・中国語を中心とした外国語の修得とともに国際的な知識や視野を備え、国際社会で幅広く活躍できるグローバル人材を育成する。
人文学部	人間の言語、心理、社会・文化、歴史などの事象や活動を対象とする最先端の研究成果を提供し、教育の課程を通じて、学生の自発性や 独創性を促し、豊かな教養をもった品位ある人格を育成する。
日本語日本文化学科	世界の中の日本という視点から、日本語や日本文化を深く理解し、 国際社会の中での日本文化の意義を探求し、あわせてそのための読解 力、思考力、表現力の練磨をとおして教養ある社会人を育成する。
英語英米文化学科	高度な英語運用能力を養い、英語圏の言語、社会・文化に対する深 く的確な知識と理解力をもち、積極的に国際社会に参加できる逞しい 人間を育成する。
心理学科	基礎的な研究方法や技術を学び、認知、教育・文化、発達・社会、 臨床などの各分野の専門知識を深く理解し、また統合し、こころの問題に対処できる力量をもった健全で成熟した社会人を育成する。
歴史地理学科	あらゆる事象や問題を「歴史的経緯」と「地理的視野」をあわせて統合的に考察・学習し、現代を生きてゆくために必要な深い洞察力と見識、歴史学的・地理学的センスを身に付けた人間を育成する。
メディア情報社会学 科	膨大な量の情報がメディアを通してあふれかえる現代社会にあって、今後の地域社会にとって次代に残す価値のある有用なメディア情報(=知=コンテンツ)を判断する視点を養い、収集・記録、デジタル化・蓄積、データサイエンス等により新たな意味や価値を付与した上で、受信者に適切な形でプロデュースして、提供・発信する能力を身に付けた人間を育成する。
応用生物学部	現代の生物科学の爆発的な発展の状況を受け、21 世紀のバイオ産業すなわち生物の機能を応用して人間生活に有用な物質生産や自然環境保全及び食育環境の向上を目的とする産業及び民政部門で活躍する職業人を育成する。
応用生物化学科	バイオサイエンスとバイオテクノロジーを基盤として、微生物や動植物の多様な生物機能の利用技術を支え、発展させるとともに、先端の生物科学の情報にも精通し、人類の生存に有用な手段を提供し、広くバイオ産業界で活躍しうる人間を育成する。
環境生物科学科	環境に関わるバイオサイエンスとバイオテクノロジーを基盤として、環境の状況を科学的に評価し、循環型社会の実現と地球環境問題を解決する能力のある人間を育成するとともに、あらゆる産業・社会分野において環境問題に極めて意識の高い職業人・技術者・社会人を育成する。

食品栄養科学科 生命健康科学部	最先端のバイオサイエンス、バイオテクノロジーに関する基礎教育を基盤として、現代の食を取り巻く種々の状況・問題を理解、解決するための知識や技術を習得し、食品産業界のみではなく、医薬品・健康産業や生物生産業など広い分野で活躍できる「食と健康」に関するプロフェッショナルを育成する。 生活習慣病の拡大や新型感染症の増加など 21 世紀型の健康・医療に関する諸課題に対して、豊かな人間性とともに医学と生命科学の基礎を修得し、十分なバイオ・創薬・医用工学技術あるいは保健・看護学を基盤とした専門的技術を身につけて、学際的な新たな立場で対応できる有能な人間を育成することを通じて社会に貢献する。
生命医科学科	豊かな人間性の涵養教育及び医学と生命科学の基礎教育を徹底した上で、21 世紀型の疾病と健康不安のしくみを解明し、これを予防し診断・治療するための薬物、資材、機器、技術を開発する研究者、技術者、並びに生活・職場環境を保健予防の視点で保全する専門家、並びに関連学問領域の教育研究者の候補を育成する。
保健看護学科	看護学の専門教育並びに医学と生命科学の基礎的教育を通じて、豊かな人間性を備え、人間の尊厳と権利を擁護でき、人々に信頼される実践力をもち、保健・医療・福祉チームにおいて、国際社会の動向を見据えたグローバルな視野でコラボレーション、リーダーシップを発揮できる看護師、保健師を育成する。
理学療法学科	医科学・医療・福祉を総合的に捉えた障害者支援科学を教育研究し、 豊かな人間性を備え、医学の進歩と医療技術の高度化・専門分化や障 害者の増加と高齢化社会における病気の重度化・重複化などの諸問題 に対応できる専門職業人としての理学療法士を養成する。
作業療法学科	医科学・医療・福祉を総合的に捉えた障害者支援科学を教育研究し、 豊かな人間性を備え、医学の進歩と医療技術の高度化・専門分化や障 害者の増加と高齢化社会における病気の重度化・重複化などの諸問題 に対応できる専門職業人としての作業療法士を養成する。
臨床工学科	医科学・医療を総合的に捉えた上で、最先端の医療機器の操作・維持管理について教育研究し、豊かな人間性を備え、幅広い総合性と高い専門性を修得して、医学の進歩と医療技術の高度化・専門分化や高齢化社会における病気の重度化・重複化などの諸問題に対応できる専門職業人としての臨床工学技士を養成する。
スポーツ保健医療学科	人間の健康の保持・増進と疾病予防等の病気に関する十分な知識を備えた上で、現代病の発症予防と健康の増幅に有用な水泳、エアロビクス運動、レクリエーションなどの健康運動(健康・生涯スポーツ等)の理論と実技を習得し、その知識・技術を科学的・医学的根拠に基づいて的確に活用して、中高年者、心身の障害者、その他の理由で身体運動が不活発な者を主な対象とした「健康運動」の安全かつ効果的な実践を適切に指導できる「健康運動を活用する保健医療の推進者」としての専門性を備えた人材を育成する。
現代教育学部	次世代教育、特に、家庭、学校、地域社会における教育の重要性を基本とし、次代を担う乳幼児、児童生徒の健全な育成を中心的課題として広く教育研究を行い、もって人格形成基盤を体系的に支援することができる優れた教育者、保育者を養成し、社会の期待と発展に寄与することを目的とする。

	幼児教育学科	乳幼児期の人間形成の基盤作りを専門的に支援・指導する専門職業 人を養成する。その基本的な教育目標は、保育士資格と幼稚園教諭一 種免許の取得を可能とし、その資格・免許を基に複雑で変化の激しい 環境の下で生じる個別的な課題の解決に向けて創造的に実践できる 人材を育成する。
	現代教育学科	児童生徒の成長発達、教育、支援について学際的に教育研究して、「次世代教育」のあり方についての理論と技能を修得し、社会が求める多様な教育実践と教育支援活動を積極的に推進する人材を育成する。
理	工学部	理学と工学を融合した教育・研究を展開、推進し、数学、自然科学 の基礎、時代の先端の科学技術を身につけ、新しい産業と科学技術を 創出し、持続的に発展できる社会の構築に貢献する科学技術者を養成 する。
	数理・物理サイエンス 学科	数理科学(数学、データサイエンス等)・物理科学(物理学、物質科学、宇宙・地球科学等)の分野の知識と技術を基盤とした研究教育を行い、自律的に学ぶ力、自由な発想力、論理的思考力、物事の本質を見抜く洞察力と分析力、課題の発見力と解決のための実践力、判断力、コミュニケーション能力を習得し、新しい時代の発展とイノベーションを担う「あてになる科学技術者」を養成する。
	AI ロボティクス学科	AI ロボティクス分野の基礎となる数理学、並びにロボットの実装に必要なシステム設計、プログラミング、制御・ 信号処理、人工知能、生体医工学などの基盤的な理工学知識や技術を修得させるとともに、分野を横断した学術的専門知識や技術の統合能力を習得させる。 次世代社会における種々の問題に対して、リーダーシップを発揮しながらワールドワイドに貢献できる技術者を養成する。
	宇宙航空学科	宇宙航空理工学の基礎となる流体力学、構造力学、熱力学、制御工学、情報工学、電気・電子工学等の各分野の基盤的専門知識を習得させると共に、推進工学、生産システム、航空機システム、ロケットシステム、宇宙機システム、宇宙航行等の学際的・複合的な宇宙航空理工学に関する教育研究を行い、新しい航空機やロケット、人工衛星、宇宙探査機、宇宙ステーション等を包含する次世代宇宙航空産業における設計・開発・製造・利用技術に関わる科学技術者を育成する。

別表2 (第9条関係)

全学共通教育科目

	単位数		単位	単位数	
授業科目	必修	選択	授業科目 必修	選択	
【初年次教育科目】			哲学と思考	2	
スタートアップセミナー	1		(社会リテラシー)		
【スキル教育科目】			現代社会と法	2	
英語スキルI	1		日本の憲法	2	
英語スキルⅡ	1		政治と社会	2	
英語スキルⅢ		1	現代経済とビジネス	2	
英語スキルIV		1	生活環境と人間	2	
日本語スキルA		2	心と身体	2	
日本語スキルB		2	(科学技術リテラシー)		
情報スキル入門		2	数学の思考法	2	
情報スキル活用		2	物理と自然	2	
【外国語教育科目】			化学と物質	2	
留学英語 A (TOEFL)		1	生物と環境	2	
留学英語 B (TOEFL)		1	生命と医療	2	
資格英語 A (英検)		1	科学技術と社会	2	
資格英語 B (TOEIC)		1	地球と生命	2	
イングリッシュワークショップ		1	データサイエンスのための数理	2	
パセオアカデミック L&SA		2	要論		
パセオアカデミック L&S B		2	問題解決のための統計学入門	2	
パセオアカデミック R&W A		2	【リベラルアーツ教育科目】		
パセオアカデミック R&W B		2	リベラルアーツ課題演習 A	2	
パセオコンテンツA		1	リベラルアーツ課題演習 B	2	
パセオコンテンツ B		1	リベラルアーツ課題演習 C	2	
ドイツ語入門 I		1	自己開拓 A	1	
ドイツ語入門Ⅱ		1	自己開拓 B	1	
フランス語入門 I		1	【特別課題教育科目】		
フランス語入門Ⅱ		1	人類と資源	2	
中国語入門 I		1	持続学のすすめ	2	
中国語入門Ⅱ		1	地域の防災と安全	2	
スペイン語入門 I		1	地球を観る	2	
スペイン語入門Ⅱ		1	グローバル環境論	2	
ポルトガル語入門 I		1	地域共生実践	2	
ポルトガル語入門Ⅱ		1	【健康とスポーツ】		
韓国語入門I		1	健康科学 1		
韓国語入門Ⅱ		1	スポーツ A	1	
実践外国語 A		1	スポーツ B	1	
実践外国語 B		1	スポーツ C	1	
語学研修 A		1	【スポーツ活動】		
語学研修 B		1	スポーツ活動 A	1	
【教養課題教育科目】			スポーツ活動 B	1	
(人文リテラシー)			スポーツ活動 C	1	
世界の歴史と日本		2	スポーツ活動 D	1	
日本の歴史と文化		2	スポーツ活動 E	1	
芸術の世界		2	スポーツ活動 F	1	
芸術の表現		1	スポーツ活動 G	1	
映像を読む		2	スポーツ活動 H	1	
教育をみつめて		2			

[※] スキル教育科目の内、英語スキル I 及び英語スキル II は、国際関係学部国際学科、人文学部英語英米文化学科においては、選択とする。

※ スキル教育科目の内、日本語スキル A は、生命健康科学部保健看護学科においては、必修とする。

工学部 機械工学科 教育科目

工于即 恢恢工于行 教育行口	単位	<u> </u>
授業科目	必修	選択
【理工系教育圏科目】		
(共通基礎科目)		
数学基礎		2
物理概論		2
微分積分学 I	3	
微分積分学Ⅱ	3	
線形代数		3
基礎力学		2
基礎化学		2
創造理工学実験	2	
基礎化学実験		2
(専門基盤科目)		
ベクトル解析		2
微分方程式		2
応用数学		2
基礎電磁気学		2
数学		2
基礎材料化学		2
生物と工学		2
応用線形代数		2
数理科学A		2
数理科学 B		2
		2
問題解決のためのアルゴリズム		2
とデータ構造		4
人工知能アルゴリズムの活用		2
データサイエンスプログラミン		1
		1
´ (複合領域科目)		
管理工学		2
環境工学		2
安全工学		2
工学倫理		2
社会と工学		2
企業と工学		2
物質の量子論的基礎と量子コン		2
お負い量「端の基礎と量」コン ピュータ入門		2
AI のための脳神経科学		2
インターンシップ A		1
インターンシップ B		2
インターンシップ C		1
イングーングック () 【学科専門教育科目】		1
(機械工学基礎)		
工業力学	3	
工業力学応用	J	2
工業の子心内 (力学・制御分野)		4
(カチ・	2	
材料力学 A 演習	1	
材料力学 B	1	2
材料力学 C		2
カカルナし		4

	単位数		
授業科目	必修	選択	
機械力学 A	2		
機械力学B		2	
制御工学A	2		
制御工学 B		2	
計測工学		$\stackrel{-}{2}$	
(エネルギー・流体分野)			
熱力学 A	2		
熱力学 B		2	
- /// / / / / / / / / / / / / / / / / /		$\stackrel{-}{2}$	
エネルギー変換		2	
水力学 A	2		
水力学 B	_	2	
流体工学		2	
(生産プロセス分野)			
機械材料学A	2		
機械材料学B		2	
機械材料学で		$\stackrel{-}{2}$	
生産加工学A	2	_	
生産加工学B	_	2	
生産加工学 C		$\stackrel{-}{2}$	
(メカトロ基礎)		_	
電子計算機応用		2	
電気回路		2	
電子応用機器		2	
(工学設計)			
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	1		
機械製図B	1		
機構学	_	2	
機械設計 A	2		
機械設計B	$\stackrel{-}{2}$		
CAD 製図	1		
機械設計製図A	1		
機械設計製図 B		1	
CAD/CAM		1	
コンピュータ応用工学		1	
(総合機械工学)			
機械工学実習 A	2		
機械工学実習 B	2		
機械工学実験 A	2		
機械工学実験 B	2		
機械創成実習		2	
		2	
先端機械工学 B		1	
総合機械工学		1	
自動車工学		2	
航空宇宙工学		2	
工作機械		2	
ロボット工学		2	
機械技術英語		$\stackrel{-}{2}$	
総合工学概論		2	

拉 柴 玓 日	単位	位数	
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	必修	選択	
<卒業研究>	4		

工学部 機械工学科 履修方法(卒業の要件)

	初年次教育科目		必修科目1単位			
全学共通教育科目	スキル教育科目		8単位以上 [英語4単位(必修科目2単位を含む)、 日本語スキル2単位、情報スキル2単位を 含む]			
	外国語教育科目					
	杂类 细胞	人文リテラシー			24 単位	
	教養課題 教育科目	社会リテラシー			以上	<u></u>
		科学技術リテラシー	14 単位以上	<u> </u>	124 単位	
	リベラル	アーツ教育科目				
	特別課題教育科目					以上
	健康とスポーツ		必修科目を含めて1単位以上			
	スポーツ活動					
学部教育科目	理工系教育圏科目		学科で定める必修科目を含めて	16 単位 以上		
	学科専門教育科目		学科で定める必修科目を含めて	68 単位 以上 以上		
			卒業研究 (必修)			

[※] 授業科目の履修に関しては別に定める。

工学部 都市建設工学科 教育科目

	単位数			
授業科目	必修	選択		
【理工系教育圏科目】				
(共通基礎科目)				
数学基礎		2		
物理概論		2		
微分積分学 I		3		
微分積分学Ⅱ		3		
線形代数		3		
基礎力学		2		
基礎化学		2		
創造理工学実験	2	2		
基礎化学実験	2	2		
(専門基盤科目)		2		
ベクトル解析		2		
微分方程式		2		
		2		
心用数字 基礎電磁気学		2		
熱学		2		
基礎材料化学		2		
生物と工学		2		
応用線形代数		2		
数理科学 A		2		
数理科学 B		2		
データサイエンスの基礎		2		
問題解決のためのアルゴリズム		2		
とデータ構造				
人工知能アルゴリズムの活用		2		
データサイエンスプログラミン		1		
グ				
(複合領域科目)				
管理工学		2		
環境工学	2			
安全工学		2		
工学倫理	2			
社会と工学		2		
企業と工学		2		
物質の量子論的基礎と量子コン		2		
ピュータ入門				
AI のための脳神経科学		2		
インターンシップ A		1		
インターンシップ B		2		
インターンシップ C		1		
【学科専門教育科目】				
(建設一般)				
建設基礎数学	2			
建設応用数学	2			
建設基礎物理	2			
基本製図	1			
本本表色 測量学講義・実習 I	3			
測量学講義・実習Ⅱ	٥	3		
		ა 1		
1111月11日天白]	1		

	単位数	
授業科目	必修	選択
建設技術英語	1	
特別講義	2	
総合講義	2	
施工法		2
都市建設工学自主活動A		1
都市建設工学自主活動B		1
建築学概論		2
総合工学概論		2
(建設構造)		
構造力学 I	2	
構造力学 I 演習	1	
構造力学Ⅱ		2
鋼・コンクリート構造設計学		2
(建設材料)		
建設材料学	2	
建設材料実験	2	
コンクリート工学 I	2	
コンクリート工学Ⅱ		2
コンクリート工学演習		1
維持管理工学		2
(都市水工)		
水理学 I	2	
水理学 I 演習	1	
水理学Ⅱ		2
水道工学		2
河川工学		2
海岸工学		2
(地盤防災)		
土の力学 I	2	
土の力学実験演習 I	2	
土の力学Ⅱ		2
土の力学実験演習 Ⅱ		2
地盤工学		2
地盤設計学		2
(都市環境)		
都市と環境	2	
社会システム計画		2
交通システム学		2
都市計画		2
まちづくり工学		2
建設環境工学		2
都市防災工学		2
(創成科目)		
建設創成工学	2	
部門創成 A	2	
部門創成 B	2	
<卒業研究>	4	

工学部 都市建設工学科 履修方法(卒業の要件)

全学共通教育科	初年次教育科目		必修科目1単位			
	スキル教育科目		8単位以上 [英語4単位(必修科目2単位を含む)、 日本語スキル2単位、情報スキル2単位を 含む]			
	外国語教育科目					
	杂类 细胞	人文リテラシー			24 単位	
	教養課題	社会リテラシー			以上	
	教育科目	科学技術リテラシー	14 単位以上	<u> </u>	124 単位	
	リベラル	アーツ教育科目	,			
目	特別課題教育科目					以上
	健康とスポーツ		必修科目を含めて1単位以上			
	スポーツ活動					
学部教育科目	理工系教育圏科目			14 単位 以上	84 単位	
	学科専門教育科目			70 単位		
			卒業研究 (必修)	以上		

[※] 授業科目の履修に関しては別に定める。

工学部 建築学科 教育科目

工于即 在来于什 获自行口	単布	拉数
授業科目	必修	選択
【理工系教育圏科目】		
(共通基礎科目)		
数学基礎		2
物理概論		2
微分積分学 I		3
微分積分学Ⅱ		3
線形代数		3
基礎力学		2
基礎化学		2
創造理工学実験		2
基礎化学実験		2
(専門基盤科目)		
ベクトル解析		2
微分方程式		2
応用数学		2
基礎電磁気学		2
熱学		2
基礎材料化学		2
生物と工学		2
応用線形代数		2
数理科学 A		2
数理科学 B		2
データサイエンスの基礎		2
問題解決のためのアルゴリズム		2
とデータ構造		
人工知能アルゴリズムの活用		2
データサイエンスプログラミン		1
グ (海へ衛は利用)		
(複合領域科目) 管理工学		0
軍工子 環境工学		2 2
安全工学 工学倫理		2
工子無理 社会と工学		2 2
仕去てエチ 企業と工学		2
物質の量子論的基礎と量子コン		2
初員の重丁冊の基礎と重丁コン ピュータ入門		4
AIのための脳神経科学		2
AT のための個件程行子 インターンシップ A		1
インターンシップ B		$\frac{1}{2}$
インターンシップ C		1
イングーンシック 6 【学科専門教育科目】		1
(建築学基礎・総合)		
(建来子基礎 NG /)	2	
建築数理	2	
建築構法 I	2	
建築構法Ⅱ	2	
基礎製図A	2	
基礎製図B	2	
建築 CAD 演習	1	
建築法規	2	
本本147元		

	単位	方数
授業科目	必修	選択
建築と社会 A	2	
建築と社会 B	2	
建築防災	2	
建築工学演習	2	
ゼミナールA		1
ゼミナール B		1
建築自主活動 A		1
建築自主活動 B		1
総合工学概論		2
(意匠系)		
建築デザイン基礎	2	
建築デザイン I	2	
建築デザインⅡ	2	
建築デザインⅢ		2
建築デザインIV		2
(計画系)		
建築計画 A	2	
建築計画 B	2	
建築計画 C		2
都市計画	2	
地域住宅計画		2
建築・都市計画演習		2
(歴史系)		
建築史A	2	
建築史 B		2
建築史 C		2
(環境・設備系)	_	
建築環境工学 A	2	
建築環境工学B	2	
建築設備 A	2	
建築設備 B		2
建築環境システム演習		2
│ (構造系) │ 構造力学 I	9	
- 博垣刀子 I - 構造力学 II	2 2	
構造力学Ⅱ 構造力学Ⅲ	2	2
構造力子皿 構造設計 A	2	2
構造設計 B	2	2
構造成可 D 構造力学演習	1	2
構造力子演音 構造計画演習	1	2
(材料系)		2
	2	
建築材料 I	2	
建築材料 II	2	2
建築施工	2	
建築材料演習		2
<卒業研究>	4	2
1 212 212 21		
	-	-

工学部 建築学科 履修方法(卒業の要件)

	初年次教	育科目	必修科目1単位					
	スキル教	育科目	8単位以上 [英語必修科目 2 単位、英語またはる	その他の				
全学共	外国語教育科目		外国語 2 単位、日本語スキル 2 単位 スキル 2 単位を含む]	外国語 2 単位、日本語スキル 2 単位、情報スキル 2 単位を含む]				
通	新 美細題	人文リテラシー			24 単位			
教	教養課題社会リテラシー教育科目			以上				
育	秋月11日	科学技術リテラシー	14 単位以上		I ·		9.3	
科	リベラル	アーツ教育科目			124 単位			
目	特別課題	教育科目				以上		
	健康とスポーツ		必修科目を含めて1単位以上					
	スポーツ活動							
学部	理工系教	育圈科目	学科で定める必修科目を含めて	6 単位 以上				
教育科	学科専門	教育科目	学科で定める必修科目・選択必修 科目を含めて	68 単位 以上				
目			卒業研究 (必修)	以上				

[※] 授業科目の履修に関しては別に定める。

工学部 応用化学科 教育科目

工字部 応用化字件 教育科日	出人	立数
授 業 科 目	半位 必修	選択
	业修	迭扒
(共通基礎科目)		0
数学基礎		2
物理概論		2
微分積分学 I		3
微分積分学Ⅱ		3
線形代数		3
基礎力学		2
基礎化学		2
創造理工学実験		2
基礎化学実験	2	
(専門基盤科目)		
ベクトル解析		2
微分方程式		2
応用数学		2
基礎電磁気学		2
熱学		2
基礎材料化学		2
生物と工学		2
二物とエチ 応用線形代数		2
数理科学 A		2
数理科学B		2
データサイエンスの基礎		2
問題解決のためのアルゴリズム		2
とデータ構造		
人工知能アルゴリズムの活用		2
データサイエンスプログラミン		1
グ		
(複合領域科目)		
管理工学		2
環境工学		2
安全工学		2
工学倫理		2
社会と工学		2
企業と工学		2
物質の量子論的基礎と量子コン		2
ピュータ入門		
AI のための脳神経科学		2
AT 07にめの個件程行子 インターンシップ A		1
インターンシップ B		2
インターンシップ B インターンシップ C		
, , ,		1
【学科専門教育科目】		
(応用化学基礎)		
基礎分析化学	2	
基礎無機化学	2	
基礎有機化学	2	
基礎物理化学	2	
基礎化学工学	2	
(無機化学)		
無機化学A		2

	単位	力数
授業科目	必修	選択
無機化学 B		2
無機化学演習		1
無機プロセス化学		2
無機材料化学		2
(有機化学)		
理論有機化学		2
有機化学 A		2
有機化学 B		2
有機化学 C		2
有機化学演習		1
生物有機化学		2
有機材料化学		2
(物性化学)		
物理化学 A		2
物理化学 B		2
物理化学演習		1
物性化学		2
先端マテリアル工学		2
高分子化学		2
(環境化学工学)		
環境化学概論		2
分析化学		2
機器分析化学A		2
機器分析化学B		2
化学工学 A		2
化学工学 B		2
環境化学工学		2
化学工学演習		1
(応用化学実験)		
応用化学分析実験	2	
無機化学実験 A	1	
無機化学実験 B	1	
有機化学実験 A	1	
有機化学実験 B	1	
物理化学実験 A	1	
物理化学実験 B	1	
化学工学実験	1	
有機合成化学実験	1	
材料化学実験	1	
応用化学創成実験		2
創成実習		1
(応用化学一般)		
バイオテクノロジー		2
応用化学セミナー		1
化学英語セミナーA		1
化学英語セミナーB		1
生物概論		2
地学概論		2
総合工学概論	_	2
<卒業研究>	4	

工学部 応用化学科 履修方法(卒業の要件)

	初年次教	育科目	必修科目1単位				
	スキル教育科目 8単位以上 [英語4単位(必修科目2単位を含む)、						
全学共	外国語教育科目		日本語スキル2単位、情報スキル2 含む]	日本語スキル 2 単位、情報スキル 2 単位を 含む]			
通	本光細度	人文リテラシー			24 単位		
教	教養課題 教育科目	社会リテラシー			以上		
育	教育符日	科学技術リテラシー	14 単位以上		<u> </u>		
科	リベラル	アーツ教育科目			124 単位		
目	特別課題	教育科目				以上	
	健康とスポーツ		必修科目を含めて1単位以上				
	スポーツ	活動					
学部	理工系教	育圏科目	学科で定める必修科目を含めて	16 単位 以上			
教育科	学科専門	教育科目	学科で定める必修科目を含めて	68 単位	84 単位 以上		
目			卒業研究 (必修)	以上			

[※] 授業科目の履修に関しては別に定める。

工学部 情報工学科 教育科目

工字部 捐報工子科 教育科日	出人	<u> </u>
授 業 科 目	必修	選択
	北顺	医扒
(共通基礎科目)		
数学基礎		9
		2 2
物理概論	0	2
微分積分学Ⅰ	3	9
微分積分学Ⅱ	3	3
線形代数	3	0
基礎力学		2
基礎化学		2
創造理工学実験		2
基礎化学実験		2
(専門基盤科目)		0
ベクトル解析		2
微分方程式		2
応用数学		2
基礎電磁気学		2
熱学		2
基礎材料化学		2
生物と工学		2
応用線形代数		2
数理科学 A		2
数理科学 B		2
データサイエンスの基礎		2
問題解決のためのアルゴリズム	2	
とデータ構造		
人工知能アルゴリズムの活用		2
データサイエンスプログラミン		1
J JEANHAID)		
(複合領域科目)		0
管理工学		2
環境工学		2
安全工学		2
工学倫理		2
社会と工学		2
企業と工学		2
物質の量子論的基礎と量子コン		2
ピュータ入門		
AIのための脳神経科学		2
インターンシップ A		1
インターンシップ B		2
インターンシップ C		1
【学科専門教育科目】		
(離散数学)		
情報数学	2	
形式言語とオートマトン		2
(計算機システム)		
計算機アーキテクチャ	2	
オペレーティングシステム		2
コンパイラ		2
(ソフトウェアとプログラミング)		

	単位	立数
授業科目	必修	選択
計算論とプログラミング言語論		2
情報処理演習	1	
C言語基礎	3	
C言語応用	3	
プログラム演習	1	
オブジェクト指向言語		3
ソフトウエア工学		2
データベース		2
(情報通信と高度情報処理)		
情報セキュリティ	2	
情報理論	2	
通信ネットワーク		2
画像情報処理		2
コンピュータグラフィックス		2
知能情報工学		2
機械学習		2
ヒューマンコンピュータインタ		2
ラクション		
数値解析	2	
オペレーションズリサーチ		2
(回路と信号処理)		
基礎電気・電子回路		2
論理回路	2	
システム制御工学		2
デジタル信号処理		2
音声情報処理		2
(総合情報工学)		
情報工学実験 A	2	
情報工学実験 B	2	
情報技術者演習 A		1
情報技術者演習 B		1
情報技術英語 A		1
情報技術英語 B		1
企業情報システムと倫理		2
創成 A	1	
創成 B		2
創成 C		2
創成 D		2
情報工学ゼミナール A	1	
情報工学ゼミナール B	1	
情報工学概論		2
総合工学概論		2
<卒業研究>	4	

工学部 情報工学科 履修方法(卒業の要件)

	初年次教	育科目	必修科目1単位					
	スキル教	育科目	8単位以上 [英語4単位(必修科目2単位を含	む)、				
全学共	外国語教	育科目	日本語スキル 2 単位、情報スキル 2 含む]	日本語スキル2単位、情報スキル2単位を 含む]				
通	教養課題	人文リテラシー			24 単位			
教	教育科目	社会リテラシー			以上			
育	秋月11日	科学技術リテラシー	14 単位以上					
科	リベラル	アーツ教育科目						124 単位
目	特別課題教育科目					以上		
	健康とスポーツ		必修科目を含めて1単位以上					
	スポーツ活動							
学部	理工系教	育圈科目	学科で定める必修科目・選択必修 科目を含めて	16 単位 以上				
教育科	学科専門		学科で定める必修科目・選択必修 科目を含めて	68 単位	84 単位 以上			
目			卒業研究 (必修)	以上				

[※] 授業科目の履修に関しては別に定める。

工学部 電気電子システム工学科 教育科目

工于的 电双电 1 7 7 7 7 五工于		9 17 H
授業科目	単位	
	必修	選択
【理工系教育圏科目】		
(共通基礎科目)		
数学基礎		2
物理概論		2
微分積分学 I	3	_
微分積分学Ⅱ	3	
線形代数	3	-
基礎力学		2
基礎化学		2
創造理工学実験	2	
基礎化学実験		2
(専門基盤科目)		
ベクトル解析		2
微分方程式		2
応用数学		2
. –		
基礎電磁気学		2
熱学		2
基礎材料化学		2
生物と工学		2
応用線形代数		2
数理科学 A		2
数理科学B		$\overline{2}$
データサイエンスの基礎		2
問題解決のためのアルゴリズム		2
		2
とデータ構造		
人工知能アルゴリズムの活用		2
データサイエンスプログラミン		1
グ		
(複合領域科目)		
管理工学		2
環境工学		2
安全工学		2
女主工子 工学倫理		
•		2
社会と工学		2
企業と工学		2
物質の量子論的基礎と量子コン		2
ピュータ入門		
AI のための脳神経科学		2
インターンシップ A		1
インターンシップ B		2
インターンシップ C		1
イングーンシック 6 【学科専門教育科目】		T
(電気電子基礎学)		
電気数学演習	1	
電気磁気学 I	2	
電気磁気学Ⅱ	2	
電気磁気学Ⅲ	3	
電気回路AI	2	
電気回路AII	2	
	1	
電気回路演習I	1	

	単位	扩数
授業科目	必修	選択
電気回路演習Ⅱ	1	
電気回路BI	2	
電気回路 BII		2
電子回路 I	2	
電子回路Ⅱ		2
(電力・設備)		
電力工学	2	
電力応用システム		2
電力設備システム		2
放電プラズマ・絶縁工学		2
新エネルギーシステム		2
電力システム工学		2
電気法規及び施設管理		2
(電機・計測制御)		
電気エネルギー変換機器I		2
電気エネルギー変換機器Ⅱ		2
パワーエレクトロニクスA		2
パワーエレクトロニクスB		2
電気計測	2	
自動制御		2
電子計測システム		2
シーケンス工学		2
電気設計及び製図		2
(材料・デバイス)		
電気電子材料	2	
量子電子物理		2
半導体工学		2
電子デバイス工学	2	
光エレクトロニクス		2
(システム・通信)		
情報基礎		2
デジタル回路	2	
プログラミング I		2
プログラミングⅡ		2
応用プログラミング		2
電磁波工学		2
通信方式		2
通信システム		2
ワイヤレス通信		2
通信法規		2
(実験実習等)		
電気電子工学実験A	2	
電気電子工学実験 B	2	
電気電子工学実験C	2	
電気電子工学実験 D	2	
電気電子工学実験 E	2	
電気電子システム創成A		1
電気電子システム創成 B		1
ゼミナール		1
電気電子技術英語		1

授業科目	単位	立数
	必修	選択
総合工学概論		2
<卒業研究>	4	

工学部 電気電子システム工学科 履修方法(卒業の要件)

	初年次教	育科目	必修科目1単位			
全学	スキル教育科目		8単位以上 [英語4単位(必修科目2単位を含む)、			
	外国語教	育科目	日本語スキル2単位、情報スキル2単位を含む]			
共通	★ # H H H H	人文リテラシー			24 単位 以上	
教	教養課題	社会リテラシー				
育	教育科目	科学技術リテラシー	14 単位以上	以工		
科	リベラルアーツ教育科目		必修科目を含めて1単位以上		_	124 単位 以上
目	特別課題教育科目					
	健康とスポーツ					
	スポーツ活動					
学部	理工系教	育圏科目	学科で定める必修科目を含めて	16 単位 以上		
教育科	学科専門教育科目		学科で定める必修科目を含めて	00 中區 公工		-
目			卒業研究 (必修)	以上		

[※] 授業科目の履修に関しては別に定める。

経営情報学部 経営総合学科 教育科目

胜百用权于即 胜百加百于归 ·	以 月 们 日	
授業科目		立数
及 未 们 日	必修	選択
【学部基礎科目】		
経営学入門		2
情報科学入門		2
会計学入門		2
ビジネス数学入門		2
経済学入門		2
法学入門		2
		2
【学部基本科目】		
(経営)		
現代企業論		2
経営組織論		2
経営総合		2
流通論		2
マーケティング論 A		2
経営管理論		2
生産管理論		2
(情報)		
プログラミング入門A		3
プログラミング入門 B		4
アルゴリズム入門		2
(会計・ファイナンス)		_
簿記基礎		2
財務会計論		2
管理会計論		2
企業評価論		2
(データサイエンス)		
データ分析入門		2
情報基礎数学		2
(経済)		
ミクロ経済学入門		2
マクロ経済学入門		2
(法律)		
民法		2
政治と法		2
(関連分野)		
入門ビジネス英語		2
社会連携 A		4
社会連携 B		4
自主活動 A		1
自主活動B		1
インターンシップ A		1
インターンシップ B		2
インターンシップ C		1
【学部専門科目】		
(経営)		
経営環境		2
人的資源マネジメント		2
ベンチャービジネス		2
アントレプレナーシップ		2
組織心理学		2
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	i	

	単石	上数
授業科目	必修	選択
中小企業経営		2
経営史		2
キャリア開発論		2
マーケティング論 B		2
広告論		2
イノベーション経営		2
サプライチェーンマネジメント		2
経営戦略論		2
消費者行動論		2
(情報)		
プログラミング入門 C		4
データ構造とデータベース		2
ネットワーク		2
ソフトウェア工学基礎		2
情報セキュリティ		2
Web デザイン		2
(会計・ファイナンス)		
経営分析論		2
投資論		2
国際会計論		2
ファイナンス論		2
(データサイエンス)		
データ分析応用		2
多変量データ分析		2
シミュレーション		2
機械学習		2
データマイニング		2
(経済)		
金融論		2
財政学		2
国際経済学		2
(法律)		
契約法		2
会社法		2
知的財産法		2
(スポーツ)		
スポーツビジネス		2
スポーツと健康		2
スポーツコーチング		2
(関連分野)		0
特別講義 A		2
特別講義B		2
特別講義 C		2 2
特別講義 D 経営実践		$\frac{2}{2}$
栓呂天践 ビジネスプラン		2 2
ヒンイスノリン フィールド研究 A		$\frac{2}{2}$
フィールド研究 A フィールド研究 B		2
フィールト切先 B 【資格関連科目】		4
【貝恰與建料日】 (会計)		
(五川/		

15 NA 51 FI	単位	立数
授業科目	必修	選択
簿記入門 A		2
簿記入門 B		2
簿記原理 A		2
簿記原理 B		2
工業簿記論A		2
工業簿記論B		2
(情報)		
IT 基礎 A		2
IT 基礎 B		2
(経営)		
リテールマーケティング A		2
リテールマーケティング B		2
【演習科目】		
基礎ゼミナール	1	
テーマゼミナールA		1
テーマゼミナール B		1
テーマゼミナール C		1
テーマゼミナール D		1
テーマゼミナール E		1
テーマゼミナール F		1
専門ゼミナールI	1	
専門ゼミナールⅡ	1	
卒業演習 I	1	
卒業演習Ⅱ	1	
<卒業研究>	4	

経営情報学部 経営総合学科 履修方法(卒業の要件)

	初年次教	育科目	必修科目1単位		
全学	スキル教育科目		8単位以上 【英語必修科目2単位、日本語スキル2単位、		
	外国語教	育科目	情報スキル2単位を含む		
共通	★ # H H H	人文リテラシー		24 単位	
教	教養課題教育科目	社会リテラシー		以上	
育	教育作品	科学技術リテラシー	14 単位以上		
科	リベラル	アーツ教育科目			124 単位 以上
目	特別課題教育科目				
	健康とスポーツ		必修科目を含めて1単位以上		
	スポーツ活動				
	学部基礎科目		10 単位以上		
学部	学部基本科目		24 単位以上	80 単位	
教	資格関連科目		2 単位以上		
育科	学部専門	科目		以上	
目	演習科目		必修科目 5 単位 卒業研究 4 単位(必修)		

[※] 授業科目の履修に関しては別に定める。

国際関係学部 国際学科 教育科目

国际风怀于即 国际于代 教育生		立数
授業科目	必修	選択
【学科基礎科目】		
(導入科目)		
SDGs 国際関係入門		2
地域研究入門		2
法学概論		2
経済学概論		2
政治学概論		2
世界史概論		2
文化人類学入門		2
社会学入門		2
世界の言語		2
アジア研究入門		2
(地域研究科目)		
東アジアから学ぶ A		2
東アジアから学ぶ B		2
東南アジアから学ぶ		2
アフリカから学ぶ		2
西アジアから学ぶ		2
ヨーロッパから学ぶ		2
ラテンアメリカから学ぶ		2
北米から学ぶ		2
(国際英語科目)		
国際英語 I A		1
国際英語 I B		1
国際英語 I C		1
国際英語ⅡA		1
国際英語ⅡB		1
国際英語ⅡC		1
国際英語Ⅲ		2
国際英語IV		2
(中国語科目)		
中国語A		2
中国語 B		2
中国語 C		1
中国語 D		1
(地域言語科目)		
ドイツ語 I		2
ドイツ語Ⅱ		2
フランス語 I		2
フランス語Ⅱ		2
スペイン語 I		2
スペイン語 Ⅱ		2
韓国語I		2
韓国語Ⅱ		2
【学科専門科目】		
(アドバンスト英語科目)		
国際ビジネス英語 A		1
国際ビジネス英語 B		1
国際時事英語		1
国際観光・ホテル英語		1

	単位	<u>大数</u>
授業科目	必修	選択
(アドバンスト中国語科目)		
ビジネス中国語 A		2
ビジネス中国語 B		2
資格中国語 A		2
資格中国語 B		2
(国際政治経済科目)		_
SDGs 国際関係論		2
国際政治学		2
国際政治史		2
国際法		2
国際機構		2
国際経済学		2
国際金融論 国際協力論		2 2
, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,		2
国際公共政策論 (多文化共生科目)		2
文化人類学		2
社会学		2
宗教人類学		2
比較宗教学		2
社会思想史		2
フィールドワーク論		2
考古学		2
観光文化論		2
地誌 A		2
-: 地誌 B		2
人文地理学		2
人間と環境		2
文芸と社会		2
西洋文化史		2
世界遺産を学ぶ		2
博物館と文化		2
(世界と日本研究科目)		
国際ジェンダー論		2
比較社会論		2
グローバルビジネス論		2
民俗学		2
世界の中の日本		2
世界の民族音楽		2
日本の歴史A		2
日本の歴史 B		2
音声学		2
日本語教授法 A		2
日本語教授法 B		2
日本語教育実践 A 日本語教育実践 B		2
日本語教育美践 B 日本語教育実習		2 1
口本語教育美音 【 学科応用科目 】		1
(実践科目)		
海外留学 A		2

اد علا تك الت	単位	立数
授業科目 	必修	選択
海外留学 B		2
海外留学 C		2
海外留学 D		2
フィールドワーク		1
インターンシップ A		1
インターンシップ B		2
インターンシップ C		1
(国際創造プロジェクト・演習科目)		
ハイブリッド・プロジェクトA		1
ハイブリッド・プロジェクトB		1
ハイブリッド・プロジェクトC		1
ハイブリッド・プロジェクトD		1
国際基礎演習	1	
国際応用演習 A	1	
国際応用演習 B	1	
国際専門演習 A	1	
国際専門演習 B	1	
<卒業研究>	4	

国際関係学部 国際学科 履修方法(卒業の要件)

	初年次教育	育科 目	必修科目1単位		
全	スキル教育	育科 目	6 単位以上 [英語以外の外国語 2 単位、日本語スキル 2		
学	外国語教育	 科 目	単位、情報スキル2単位を含む]	18 単位以上	
共通教育	教養課題 教育科目	人文リテラシー 社会リテラシー 科学技術リテラシー	10 単位以上		
育科	リベラルアーツ教育科目				
目	特別課題教	育科目			
	健康とスポ	ポーツ	必修科目を含めて1単位以上		
	スポーツ活	動			
		導入科目	8 単位以上		
	学部基礎	地域研究科目	6 単位以上		124 単位 以上
	科目	国際英語科目	6 単位以上		
		中国語科目			
		地域言語科目			
		アドバンスト			
学		英語科目 アドバンスト			
部		中国語科目			
教育	学科専門 科目	国際政治経済 科目		90 単位 以上	
科目		多文化共生科 目	24 単位以上		
		世界と日本研 究科目			
		実践科目			
	学科応用 科目	国際創造プロ ジェクト・演 習科目	必修科目を含めて5単位以上		
	卒業研究		4 単位(必修)		

[※] 授業科目の履修に関しては別に定める。

人文学部 日本語日本文化学科 教育科目

八久于即 日本昭日本久旧于州	以 日 川 口	
授業科目	単位	
X	必修	選択
【学部共通科目】		
図書館入門		2
情報サービス論		2
グローバル SDGs 人文学		2
クロスオーバーSDGs プロジェ		4
クトA		7
クロスオーバーSDGs プロジェ		4
		4
クトB		4
クロスオーバーSDGs プロジェ		4
クトC		
クロスオーバーSDGs プロジェ		4
クト D		
クロスオーバーSDGs プロジェ		4
クトE		
クロスオーバーSDGs プロジェ		4
クトF		
クロスオーバーSDGs プロジェ		4
クトG		
クロスオーバーSDGs プロジェ		4
クトH		-
言語情報デザインリテラシー		2
アカデミック情報リテラシーA		1
アカデミック情報リテラシーB		1
アルアミック情報リアフシーD ビジネススキルアップ A		
		2
ビジネススキルアップ B		2
インターンシップ A		1
インターンシップ B		2
インターンシップ C		1
長期海外研修 A		2
長期海外研修 B		2
長期海外研修 C		2
長期海外研修 D		2
【基礎科目】		
(言語分野)		
日本語学入門 A		2
日本語学入門 B		2
日本語学文献講読 A		2
日本語学文献講読 B		2
日本語教育概論 A		2
日本語教育概論 B		2
(文学分野)		2
(ステガヨ)		2
日本文学入門 B		2
ロースタンプロ 近現代文学講読 A		2
近現代文学講読 B		2
古典文学講読A		2
古典文学講読B		2
(文化分野)		_
日本文化史入門		2
民俗学入門		2

) 	<u>بالار</u>
授業科目	业修	立数 選択
 伝承文化入門	北修	2
宗教学入門		2
示教子八円 日本文化文献講読 A		2
日本文化文献講読 B		2
【研究科目】		2
【听九件日】 (言語分野)		
(音品ガギ) 日本語講義 A		2
日本語講義 B		2
日本語冊報 D 日本語の歴史		2
日本語研究史		2
現代日本語論 A		2
現代日本語論 B		2
5.10 年 日		2
日本語教育学講義B		2
日本語教授法 A		2
日本語教授法 B		2
日本語教育実践 A		2
日本語教育実践 B		2
(文学分野)		2
		2
日本文学史 B		2
古典文学講義A		2
古典文学講義B		2
近現代文学講義 A		2
近現代文学講義B		2
日本文学特講 A		2
日本文学特講 B		2
(文化分野)		
日本の文化A		2
日本の文化 B		2
民俗調査研究法 A		2
民俗調査研究法 B		2
民間伝承論 A		2
民間伝承論 B		2
伝統芸能論		2
遊戱論		2
【演習科目】		
基礎演習	1	
日本語学演習 A		1
日本語学演習 B		1
日本文学演習 A		1
日本文学演習 B		1
日本文化演習 A		1
日本文化演習 B		1
【関連科目】		
書道 A		2
書道 B		2
言語学 A		2
言語学 B		2
考古学A		2

授業科目	単位	立数
	必修	選択
考古学 B		2
比較文化論		2
漢文学		2
中国文学		2
日本語教育実習		1
<卒業研究>	4	

人文学部 日本語日本文化学科 履修方法(卒業の要件)

	初年次教育	科目	必修科目1単位		
	スキル教育科目		6 単位以上		
全学	外国語教育	科目	[英語必修科目2単位を含む]		
共	数亲细陌	人文リテラシー			
通	教育科目	社会リテラシー		18 単位	
教	7	洋技術リテラシー	10 単位以上	以上	
育科	リベラルア	ーツ教育科目			
目目	特別課題教	有科目			
	健康とスオ	ミ ーツ	必修科目を含めて1単位以上		
	スポーツ沿	動			124 単位
	学部共通科目				以上
		言語分野	「入門」・「概論」科目から 12 単位以上、 「講読」科目から 4 単位以上取得		
	基礎科目	文学分野			
学部		文化分野			
教	言語分野			86 単位	
育	研究科目	文学分野		以上	
科		文化分野			
目	演習科目		必修科目を含めて3単位以上		
	関連科目				
	卒業研究		4 単位(必修)		

[※] 授業科目の履修に関しては別に定める。

人文学部 英語英米文化学科 教育科目

授業科目単位数 必修 選択【学部共通科目】 図書館入門 情報サービス論2 2
必修 選択 【学部共通科目】 2
図書館入門 2
TH TK / C / TIM
グローバル SDGs 人文学 2
クロスオーバーSDGs プロジェ 4
クトA
クロスオーバーSDGs プロジェ 4
クトB
クロスオーバーSDGs プロジェ 4
クトC
クロスオーバーSDGs プロジェ 4
クトD
クロスオーバーSDGs プロジェ 4
クトE
クロスオーバーSDGs プロジェ 4
クトF
\int クロスオーバーSDGs プロジェ 4
クトG
クロスオーバーSDGs プロジェ 4
クトH
言語情報デザインリテラシー 2
アカデミック情報リテラシーA 1
アカデミック情報リテラシーB 1
ビジネススキルアップA 2
ビジネススキルアップB 2
$\begin{array}{ c c c c c c c c c c c c c c c c c c c$
インターンシップ C 1
長期海外研修 A 2
長期海外研修 B 2
長期海外研修 C 2
長期海外研修 D 2
【基礎科目】
専門基礎 1
言語学入門 A 2
言語学入門 B 2
英米文化入門 A 2
英米文化入門 B 2
異文化適応入門 2
【英語コミュニケーション科目】
Integrated English A 2
Integrated English B 2
Integrated English C 2
Integrated English D 2
Collaborative Projects in English 2
A
Collaborative Projects in English 2
В
Introductory Reading Skills A 1
Introductory Reading Skills B 1

	•	
授業科目		立数
	必修	選択
Intermediate Reading Skills A		1
Intermediate Reading Skills B		1
Introductory Writing Skills A	1	
Introductory Writing Skills B	1	
Intermediate Writing Skills A		1
Intermediate Writing Skills B		1
TOEIC 演習 A	1	
TOEIC 演習 B	1	
TOEIC 演習 C	1	
Communicative Grammar A		2
Communicative Grammar B		2
Advanced Writing Skills A	1	
Advanced Writing Skills B	1	
ビジネス英語 A		1
ビジネス英語 B		1
観光英語 A		1
観光英語 B		1
通訳英語		1
翻訳英語		1
発音クリニック		1
【英語研究科目】		
英語の音声 A		2
英語の音声 B		2
英語のしくみ A		2
英語のしくみ B		2
英語の歴史A		2
英語の歴史 B		2
グローバル英語 A		2
グローバル英語 B		2
早期英語教育論 A		2
早期英語教育論 B		2
応用言語学A		2
応用言語学 B		2
英語で学ぶ言語習得論 A		2
英語で学ぶ言語習得論 B		2
長期海外研修 E		2
長期海外研修 F		2
長期海外研修 G		2
【英米文化研究科目】		
英米の文学 A		2
英米の文学 B		2
英米の歴史と社会 A		2
英米の歴史と社会 B		2
英米の文化 A		2
英米の文化 B		2
日・欧・米比較文化論 A		2
日・欧・米比較文化論 B		2
文化間コミュニケーション論A		2
文化間コミュニケーション論 B		2
英語で学ぶオーストラリア事情		2

₩ ₩ ₩ ₩	単位	拉数
授業科目	必修	選択
英語で学ぶイギリス事情		2
英語で学ぶアメリカ事情		2
英語で学ぶ世界事情		2
長期海外研修 H		2
長期海外研修I		2
長期海外研修 J		2
【演習科目】		
英語英米文化演習 A	1	
英語英米文化演習 B	1	
英語英米文化演習 С	1	
英語英米文化演習 D	1	
【自主研究】		
自主研究		1
Fieldwork in English		1
【関連科目】		
日本語教授法 A		2
日本語教授法 B		2
日本語教育実践 A		2
日本語教育実践 B		2
<卒業研究>	4	

人文学部 英語英米文化学科 履修方法(卒業の要件)

	初年次教	育科目	必修科目1単位		
	スキル教	育科目	6 単位以上		
全学	外国語教	育科目	[英語以外の外国語 2 単位以上を含む]		
共通教	教養課題 教育科目	人文リテラシー社会リテラシー科学技術リテラシー	10 単位以上	18 単位 以上	
育	リベラル	アーツ教育科目			
科目	特別課題	教育科目			
	健康とス	ポーツ	必修科目を含めて1単位以上		
	スポーツ	活動			124 単位
	学部共通	科目			以上
	基礎科目		必修科目を含めて8単位以上		
学	英語コミュ	ュニケーション科目	必修科目を含めて 28 単位以上		
部	英語研究	科目	 32 単位以上	00 M H	
教育	英米文化	研究科目	02 辛匹ഗ工	86 単位 以上	
科	演習科目		4 単位(必修)		
目	自主研究				
	関連科目				
	卒業研究		4 単位(必修)		

[※] 授業科目の履修に関しては別に定める。

人文学部 心理学科 教育科目

八义字部 心理子科 教育科目	\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	1 101
授業科目		拉数
	必修	選択
【学部共通科目】		_
図書館入門		2
情報サービス論		2
グローバル SDGs 人文学		2
クロスオーバーSDGs プロジェ		4
クトA		
クロスオーバーSDGs プロジェ		4
クトB		
クロスオーバーSDGs プロジェ		4
クトC		
クロスオーバーSDGs プロジェ		4
クトD		
クロスオーバーSDGs プロジェ		4
クト E		
クロスオーバーSDGs プロジェ		4
クトF		
クロスオーバーSDGs プロジェ		4
クトG		
クロスオーバーSDGs プロジェ		4
クトH		
言語情報デザインリテラシー		2
アカデミック情報リテラシーA		1
アカデミック情報リテラシーB		1
ビジネススキルアップ A		2
ビジネススキルアップ B		2
インターンシップ A		1
インターンシップ B		2
インターンシップ C		1
長期海外研修 A		2
長期海外研修 B		2
長期海外研修 C		2
長期海外研修 D		2
【心理学基礎科目】		
心理学概論	2	
心理学統計法		2
臨床心理学概論		2
心理学統計法応用		2
心理データ解析 A		2
心理データ解析 B		2
心理学史		2
心理学研究法		2
心理学実験		2
公認心理師の職責		2
【心理学発展科目】		
(基礎心理学)		
感情・人格心理学		2
知覚・認知心理学		2
社会・集団・家族心理学		2
学習・言語心理学		2
障害者・障害児心理学		2
	1	1

	単位	拉数
授業科目	必修	選択
発達心理学		2
教育心理学		2
心理学的支援法		2
神経・生理心理学		2
心理的アセスメント		2
文化心理学		2
社会心理学		2
(実践心理学)		
福祉心理学		2
教育・学校心理学		2
司法・犯罪心理学		2
産業・組織心理学		2
健康・医療心理学		2
(心理学関連科目)		
精神疾患とその治療		2
人体の構造と機能及び疾病		2
関係行政論		2
【心理学特別講義科目】		
キャリアディベロップメント特		2
講A		
キャリアディベロップメント特 講 B		2
神 D 応用心理学特講		2
【実習演習科目】		2
心理演習(実験) I	2	
心理演習(調査)	2	
心理演習(実験)Ⅱ		2
心理演習 (査定)		2
心理演習 (面接)		2
心理実習		2
心理学プレゼミナール A	1	
心理学プレゼミナール B	1	
心理学ゼミナール I	1	
心理学ゼミナールⅡ	1	
【関連科目】		
社会学		2
行動科学 A		2
行動科学 B		2
現代社会と福祉		2
哲学概論		2
経済学概論		2
法学概論		2
政治学概論		2
表現と倫理		2
現代思想		2
世界の中の日本(歴史)		2
地域と環境		2
日本地誌		2
女性の歴史		2
技術の歴史		2

授業科目	単位数	
	必修	選択
アジアの歴史 A		2
ヨーロッパの歴史		2
地域と都市		2
<卒業研究>	4	

人文学部 心理学科 履修方法(卒業の要件)

	初年次教育	科目	必修科目1単位		
	スキル教育科目		6単位以上		
全学	外国語教育科目		【英語 4 単位(必修科目 2 単位を含む) を含む]		
共通	教養課題 教育科目	人文リテラシー 社会リテラシー		18 単位	
教育	;	科学技術リテラシー	10 単位以上	以上	
科目	リベラルアーツ教育科目 特別課題教育科目				124 単位
	健康とスポーツ		必修科目を含めて1単位以上		
	スポーツ活動				
	学部共通科目				以上
	心理学基礎科目		必修科目を含めて 12 単位以上		
学) TH 2% FI	基礎心理学	26 単位以上		
部教	心理学発展 科目	実践心理学		oc 用品	
育		心理学関連科目		86 単位 以上	
科	心理学特別講義科目				
目	実習演習科目		必修科目を含めて8単位以上		
	関連科目				
	卒業研究		4 単位(必修)		

[※] 授業科目の履修に関しては別に定める。

人文学部 歴史地理学科 教育科目

接 乗 科 目	八大子師 正文地在子们 软件	単位	ケ数
「学部共通科目	授業科目		
図書館入門 情報サービス論	【学部共通科目】	, I	
情報サービス論 2 グロスト SDGs 人文学 2 クロスオーバーSDGs プロジェクト B 4 クロスオーバーSDGs プロジェクト C 4 クトロスオーバーSDGs プロジェクト C 4 クトロスオーバーSDGs プロジェクト D 4 クトロスオーバーSDGs プロジェクト E 4 クトロスト F 4 クトロス T 2 クトロス T 4 クトロス T 4 クトロス T 4 クトロス T 4 クトロス T 2 インカーバー SDGs プロジェクトロジェクトロス T 2 インカーバー SDGs プロジェクトロス T 2 インカーバー SDGs プロジェクトロス T 2 インカーバー SDGs プロジェクトロス T 2 1 2 2			2
グローバル SDGs 人文学 2 クトA クトA クトB クロスオーバーSDGs プロジェクト B クト C クロスオーバーSDGs プロジェクト C クト D クロスオーバーSDGs プロジェクト D クト E クトルーバーSDGs プロジェクト F クロスオーバーSDGs プロジェクト F クロスオーバーSDGs プロジェクト F クロト F クロスオーバーSDGs プロジェクト F クロト T 子の下の日本 アンリテラシーA アロジェクト F イント G クロスオーバーSDGs プロジェクト F インシェンシン・ クト B インンリート B ビジネーン・アクト B 2 インカーバー SDGs プロジェクト F 4 クト F クト C クト T インスカーバー SDGs プロジェクト F クト B インシート B ビジネース・カーバー SDGs プロジェクト F 4 クト B 2 インスト H 2 ドア クト B 2 ビジネススキーバー SDGs プロジェクト B 2 ビジネスストルップ B 2 インカーバー SDGs プロジェクト B 2 <			
クトA クトA クトB クロンエースオーバーSDGs プロジェクト B クトC クロスオーバーSDGs プロジェクト C クトD クロスオーバーSDGs プロジェクト D クト C クロスオーバーSDGs プロジェクト D クト C クロスオーバーSDGs プロジェクト E クトト F クロト F クロト F クロト T クトロスオーバーSDGs プロジェクト F クロン T クロト T アンリンエクト G クロト H デックラシーA アンリナテラシーA アンシリテララシーA アンカナテラシーA 1 アンシックト B 2 ビジネターンプタタタタタタタタタタタタタタタタタタタタタタタタタタタタタタタタタタタ	114 17: 7		
クトA クロスオーバーSDGs プロジェクトB 4 クトC クトC クレロスオーバーSDGs プロジェクトロスオーバーSDGs プロジェクトロスカーバーSDGs プロジェクトロスカーバーSDGs プロジェクトロスカーバーのファンシンのよりによりまでは、カースのよりによりによりまでは、カースのよりによりによりまでは、カースのよりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによ	- · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		
クト B クロスオーバーSDGs プロジェクト C 4 クト D クロスオーバーSDGs プロジェクト D 4 クロスオーバーSDGs プロジェクト E クロスオーバーSDGs プロジェクト F 4 クロスオーバーSDGs プロジェクト F 4 クロスオーバーSDGs プロジェクト G 4 クト G クロジェクト G クト H 言語デーススオーバースのプロジェクト B 2 ビジネーン・リンテント B 2 ビジネーン・リンテント B 2 長期海海外研修 B 2 長期海海外研修 B 2 長期海海外研修 D 2 【基準科 B 2 歴史学へのの基準 機 2 世界のの中のの地域 B 2 世界のの日本 B 2 日本 とアルドワーク B 1 「アーマ科 B 2 <td< td=""><td></td><td></td><td></td></td<>			
クトC クトC クトD 4 クトD クロスオーバーSDGs プロジェクト D 4 クロスオーバーSDGs プロジェクト E クロスオーバーSDGs プロジェクト F 4 クロスオーバーSDGs プロジェクト F 4 4 クロスオーバーSDGs プロジェクト G 4 4 クト G クロスオーバーSDGs プロジェクト G 4 クト G クロジェクト G 4 クロスオーバーSDGs プロジェクト G 4 2 クト G クロジェクト G 4 クト G クロジェクト G 2 インタールプターム D 2 2 インタールのの所能を B 2 2 長期海海外外研修 B 2 2 長期海海外外研修 D 2 2 【事件 A (地理) 2 世界ののの基準 2 2 世界のののののののののののののののののののののののののののののののののののの	クロスオーバーSDGs プロジェ		4
クトC クロスオーバーSDGs プロジェ 4 クトD クトレースオーバーSDGs プロジェ 4 クロト E プロジェークトロト E 4 クロト F プロジェークトロト F 4 クロト F プロジェークトロト SDGs プロジェークトロト T 4 クロト T 一のカーム T フラララシー T クロト T データンシース・フェース・フェース・フェース・フェース・フェース・フェース・フェース・フェ	クトB		
クトD クトD クトD クロジェ クトD クロバーSDGs クトE クト区 クトE クロド クトスオーバーSDGs プロジェ クトスオーバーSDGs プロジェ クトススーパーSDGs プロジェ クトススーパーSDGs プロジェ クロト H フラララス 言アララスス 1 ビジシーA 2 インサテテラス 2 インサテアプア B インカース 1 ビジシーA 2 インカース 2 インカース 2 日本ののののあり 2 日本のののののののののののののののののののののののののののののののののののの	クロスオーバーSDGs プロジェ		4
クトDクロスオーバーSDGs プロジェ4クトEクト Eクロジェ4クト Fクロト Fクロト F4クトロスオーバーSDGs プロジェクトロスオーバーSDGs プロジェクトロスオーバーSDGs プロジェクトロスオーバーSDGs プロジェクトロスオーバーSDGs プロジェクトロスオーバーSDGs プロジェクトロスオーバーSDGs プロジェクトロジェーA1プロスオーバーSDGs プロジェクトロスオーバーSDGs プロジェクトロジェクトのエジックトロスオーバーSDGs プロジェクトロジェーA1アカウラシーA1アカガデネスストンリテラシーB2ビジンタタタルカータのプロングののよりでは、アースのののののののののののののののののののののののののののののののののののの	クトC		
クトE 4 クトE 4 クトF 4 クトF 4 クト F 4 クト G 4 クト H 2 言語デジーへ 2 アカデラシーA 1 アカデミックトで 2 アカデミスストンアタイ 2 インタタールアップ B 2 インタターの研修 B 2 長期海海外研修 B 2 長期海海外外研修 D 2 【基礎科目】 2 歴史学へのの案内 2 文 世界のの本外のの本内 2 文 世界の中中の地域性 2 日本とアジア B (歴史) 2 フィールドワーク B 1 【歴史学分野】 1 (テーマ科目) 1 日本の古代 2	クロスオーバーSDGs プロジェ		4
クトE クレスオーバーSDGs プロジェクト F 4 クト F クト G クレスオーバーSDGs プロジェクト H 4 宮カーバーSDGs プロジェクト H 2 1 宮カー バーSDGs プロジェクト H 2 1 宮カー バーSDGs プロジェクト H 2 1 宮カー アース 中 1 2 アカデネスターム カース アップ B 2 2 インタタール アカ B 2 2 インタター外外の B 2 2 長期海海外外研修 B 2 2 長期海海外外研修 B 2 2 長期海海外外研修 D 2 2 【基礎科目】 2 2 歴史学講講講書 2 2 「専門共 所 2 2 大脚海 A 2 2 大脚海 P 2 2 大脚海 P <td< td=""><td>クトD</td><td></td><td></td></td<>	クトD		
クトド クトド クトマスオーバーSDGs プロジェ クトロスオーバーSDGs プロジェ クトロスオーバーSDGs プロジェ クトロスオーバーSDGs プロジェ クトロスオーバーSDGs プロジェ クトロスオーバーSDGs プロジェ クトロスオーバーSDGs プロジェ クトロスオーバーSDGs プロジェ クトロスオーバーSDGs プロジェ クトロスオーバーSDGs プロジェ クトロジェ クトロスオーバーSDGs プロジェ クトロジェ クトロスオーバーSDGs プロジェ クトロジェ クトロスオーバーSDGs プロジェ クトロジェ クトロジェ クトロスオーバーSDGs プロジェ クトロジェ クトロスオーバーSDGs プロジェ クトロジェ クトロジェ クロスローンの方情報ファンター カースの方向のかります。 インタターのおいてはいていていていていていていていていていていていていていていていていていて	クロスオーバーSDGs プロジェ		4
クトFクトG4クト GクロスオーバーSDGs プロジェクト H2言れーバーSDGs プロジェクト H2言れーバーSDGs プロジェクト H1言れーバーSDGs プロジェクト H2アカリテラシーA1アカデネススキルアップ B2ビジンスキルアプ B2インシップ C1長期海海外のの格2長期海海修 D2【基礎科目】2歴地球神修 D2【基礎科のの家基礎2地域門共通 B2歴史学講講書2世界のの本基礎2世界の中中の多と表します。2現代本とアジア B2日本本とールドアリーク B1【歴史学分野】2(テーマ科目)1日本の古代2	クトE		
クトG4クト Gクト H言語 オーバーSDGs プロジェクト H2言語 オーバーSDGs プロジェクト H1言語 カナデシーA1アカデミスストルリテラシーB1ビジネススシシーB2ビジネスーンンプ B2イインカーーの1インンシップ C2長期海海外研研修 B2長期海海外研研修 D2【基史学 持続2歴史 学講査2上世界のののののののののののののののののののののののののののののののののののの	クロスオーバーSDGs プロジェ		4
クト G4クト H2言ア 大 H2言ア ナーバー SDGs プロジェクト H2言ア ナース サー デーラシー A1ア ア ナー データ クト 中 ボー デーラー トー アー	クトF		
クトH2言語情報2アカデミススストンシップ A2ビジンスタタターーンシップ B1インタタタターーンシップ C2長期期海体外 B2長期期海体外 B2長期期海体科 Oのののののののののののののののののののののののののののののののののののの	クロスオーバーSDGs プロジェ		4
クト田 言語がすり情報 アラシーA アラシーB ビジシスキルリップ アリッツ アリック アリッ	クトG		
言語	クロスオーバーSDGs プロジェ		4
アカデミック情報リテラシーB ビジネスキルアア A ビジネススキルアプ B イインタターンシップ C 長期期海外研修 B 長期期海外外研修 D 【基礎科のの基礎科 2 2 地域専門のの地域性 地理) 世界の中のが下 A (歴史) 現代本とアンア B (歴史) 現代本とアルドワーク B 【歴史学分野】 (テーマ科目) 日本の古代 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1			
アビジネストルアツの名1ロカデススストルアツの名1ロカデススストルップの方1ロカデススストルップの方1ロカナンシップの方1日本とのののののののののののののののののののののののののののののののののののの			
ビジネススキルアップ B2インタターンシップ C1長期期海海外外研修 B2長期期海海外外研修 D2基礎学学読書2地域講問門共のののののののののののののののののののののののののののののののののののの			
ビジシスキルアプA1インターンシップ B2インタターンシップ C1長期海海外外研修 B2長期期海海外科目】2歴史学読商の基礎2地域専門学のののののののののののののののののののののののののののののののののののの			
インターンシップ B1インターンシップ C2長期海外研修 B2長期期海外研修 D2【基礎科目】2歴理学詩語查內2文地域専門学ののの基礎2東東学ののの基礎2世界のの中のののののののののののののののののののののののののののののののののの			
インターンシップ C1長期海外研修 A2長期海外研修 B2長期海外研修 D2長期海外研修 D2【基礎科目】2歴史学本語、 文献、 文本のの本ののののののののののののののののののののののののののののののののの			
インターンシップ C1長期海外研修 B2長期海外研修 D2長期海外研修 D2基礎科目】2歴史学への家本2文献講調査の基礎2地域計劃】2歴史ののの基礎2世界のの基礎2世界のの日本 B (歴史)2現代とアジドワークの地域性2日本とアジドワーク B1【歴史学分野】1(テーマ科目)1日本の古代2			
長期海外研修 B2長期海外研修 B2長期海外研修 D2長期海外研修 D2【基礎科目】2歴史学読森2文地域調門共通科目】2歴史ののの基礎2世界の中の日本 B (歴史)2現代日本とアジア B (歴史)2フィールドワーク B1【歴史学分野】1(テーマ科目)1日本の古代2			
長期海外研修 B2長期海外研修 D2【基礎科目】2歴史学へのの案内 文献講講査の基礎 地域調門共通科目】2世界の中の基礎 世界の中の日本 A (地理) 世界の中の地域性 日本とアジア B (歴史) フィールドワーク A フィールドワーク B 【歴史学分野】 (テーマ科目) 日本の古代2			
長期海外研修 D2長期海外研修 D2【基礎科目】2歴史学への案内 文献講画在の本とでのの表と 地域調査の基礎 地域時間共通科目】 歴史学の中の日本 A (地理) 世界の中の日本 B (歴史) 現代とアジア A (地理) 日本とアジア B (歴史) フィールドワーク B 【歴史学分野】 (テーマ科目) 日本の古代2	,,		
長期海外研修 D2【基礎科目】2歴史学への案内 文献講読の案内 文献講読の基礎 地域調査の基礎 地域調査の基礎 地域問題 世界の中の日本 B 世界の中の日本 B 世界の中の日本 B 世界の中の日本 B 世界の中の日本 B 世界の中の日本 B 世界の中の日本 B 世界の中の日本 B 中の日本 B 中の日本 B 世界の中の日本 B 中の日本 B 世界の中の日本 B 中の日本とアジア B 日本とアジア B 日本とアジア B 日本とアジア D 日本 日本の古代2			
【基礎科目】 2 歴史学への案内 2 文献講読の基礎 2 地域調査の基礎 2 専門共通科目】 2 歴史学の方法 2 世界の中の日本A(地理) 2 世界の中の日本B(歴史) 2 現代日本とアジアA(地理) 2 日本とアジアB(歴史) 2 フィールドワークA 1 フィールドワークB 1 【歴史学分野】 1 (テーマ科目) 1 日本の古代 2	,,		
歴史学への案内			2
地理学への案内 2 文献講読の基礎 2 地域調査の基礎 2 【専門共通科目】 2 歴史学の方法 2 世界の中の日本 A (地理) 2 世界の中の日本 B (歴史) 2 現代日本の地域性 2 日本とアジア A (地理) 2 日本とアジア B (歴史) 2 フィールドワーク A 1 フィールドワーク B 1 【歴史学分野】 (テーマ科目) 日本の古代 2			
文献講読の基礎 地域調査の基礎 【専門共通科目】 歴史学の方法 世界の中の日本 A (地理) 世界の中の日本 B (歴史) 現代日本の地域性 日本とアジア A (地理) 日本とアジア B (歴史) フィールドワーク A フィールドワーク B 【歴史学分野】 (テーマ科目) 日本の古代 2			
地域調査の基礎 2 【専門共通科目】 2 歴史学の方法 2 世界の中の日本 A (地理) 2 世界の中の日本 B (歴史) 2 現代日本の地域性 2 日本とアジア A (地理) 2 日本とアジア B (歴史) 2 フィールドワーク A 1 フィールドワーク B 1 【歴史学分野】 (テーマ科目) 日本の古代 2	,		
【専門共通科目】 2 歴史学の方法 2 世界の中の日本 A (地理) 2 世界の中の日本 B (歴史) 2 現代日本の地域性 2 日本とアジア A (地理) 2 日本とアジア B (歴史) 2 フィールドワーク A 1 フィールドワーク B 1 【歴史学分野】 (テーマ科目) 日本の古代 2	2 110 1211 10 = = = = = = = = = = = = = = = = =		
歴史学の方法 世界の中の日本 A (地理) 世界の中の日本 B (歴史) 現代日本の地域性 日本とアジア A (地理) 日本とアジア B (歴史) フィールドワーク A フィールドワーク B 【歴史学分野】 (テーマ科目) 日本の古代 2	_ ,	<i>\\\</i>	
世界の中の日本 A (地理) 世界の中の日本 B (歴史) 現代日本の地域性 日本とアジア A (地理) 日本とアジア B (歴史) フィールドワーク A フィールドワーク B 【歴史学分野】 (テーマ科目) 日本の古代 2			9
世界の中の日本 B (歴史) 現代日本の地域性 日本とアジア A (地理) 日本とアジア B (歴史) フィールドワーク A フィールドワーク B 【歴史学分野】 (テーマ科目) 日本の古代 2			
現代日本の地域性2日本とアジア A (地理)2日本とアジア B (歴史)2フィールドワーク A1フィールドワーク B1【歴史学分野】(テーマ科目)日本の古代2			
日本とアジア A (地理)2日本とアジア B (歴史)2フィールドワーク A1フィールドワーク B1【歴史学分野】(テーマ科目)日本の古代2			
日本とアジア B (歴史)2フィールドワーク A1フィールドワーク B1【歴史学分野】(テーマ科目)日本の古代2	22, 17		
フィールドワーク A1フィールドワーク B1【歴史学分野】(テーマ科目)日本の古代2	,,		
フィールドワーク B1【歴史学分野】(テーマ科目)日本の古代2			
【歴史学分野】 (テーマ科目) 日本の古代 2			
(テーマ科目) 日本の古代 2			_
日本の古代 2			
			2

	出た	立数
授業科目	 必修	選択
日本の近世	11·19	2
日本の近代		2
日本の現代		2
思想史		2
心心又 アジアの歴史 A		2
アジアの歴史B		2
アンアの歴史 B アメリカの歴史		2
ノスリスの歴史 ヨーロッパの歴史 A		2
ヨーロッパの歴史 A ヨーロッパの歴史 B		2
すーロッパの歴史 B 技術の歴史		2
女性の歴史		2
郷土の歴史		2
歴史学特殊講義 A		2
歴史学特殊講義 B		2
歴史学特殊講義 C		2
歴史学特殊講義 D		2
(研究科目)		
日本史の文献を読む A		2
日本史の文献を読む B		2
日本思想史の文献を読む		2
アジア史の文献を読む A		2
アジア史の文献を読む B		2
アメリカ史の文献を読む		2
ヨーロッパ史の文献を読む A		2
ヨーロッパ史の文献を読む B		2
技術から歴史を探る		2
美術から歴史を探る		2
史料学		2
史料調査方法論		2
史料講読基礎 A		2
史料講読基礎 B		2
【地理学分野】		
(テーマ科目)		
地域と歴史		2
地域と都市		2
地域と経済		2
地域と情報		2
地域と環境		2
地理学特殊講義 A		2
地理学特殊講義 B		2
地理学特殊講義 C		2
日本地誌		2
アジア地誌		2
世界地誌		2
(実習科目)		
地理学実習		1
地理学野外実習		1
(研究科目)		
地理学野外研究		2
【演習科目】		_

授業科目	単位数		
12 来 行 日	必修	選択	
基礎演習	1		
専門演習 A	1		
専門演習 B	1		
専門演習 C	1		
専門演習 D	1		
【関連科目】			
政治学概論		2	
法学概論		2	
経済学概論		2	
文化人類学入門		2	
比較文化論		2	
社会学		2	
民俗学入門 A		2	
民俗学入門 B		2	
考古学A		2	
考古学 B		2	
現代と心		2	
行動科学I		2	
行動科学Ⅱ		2	
表現と倫理		2	
<卒業研究>	4		

人文学部 歴史地理学科 履修方法(卒業の要件)

	初年次教育和	斗目	必修科目1単位		
	スキル教育和	斗目	6 単位以上		
全学	外国語教育和	斗目	[英語必修科目2単位を含む]		
共通教	教養課題社	文リテラシー :会リテラシー 学技術リテラシー	10 単位以上	18 単位 以上	
育	リベラルアー	ーツ教育科目			
科目	特別課題教育	 有科目			
	健康とスポー	ーツ	必修科目を含めて1単位以上		
	スポーツ活動	助			
	学部共通科				124 単位 以上
	基礎科目		8 単位(必修)		NT.
	専門共通科目	1	6 単位以上		
学	歴史学分野	テーマ科目			
部	正又于刀刃	研究科目			
教		テーマ科目	歴史学分野より6単位以上、地理学分野より6単位以上、計20単位以上	86 単位	
育科	地理学分野	研究科目	70年四列工、日20年四列工	以上	
目		実習科目			
	演習科目		5 単位(必修)		
	関連科目				
	卒業研究		4 単位(必修)		

[※] 授業科目の履修に関しては別に定める。

人文学部 メディア情報社会学科 教育科目

授業科目 単位数 Velo 選択 Velo 選択 Velo 選択 Velo 選択 Velo 必修 選択 Velo Velo Velo Velo Velo		1 3/1	111 H
上心 上心 上心 上心 上心 上小 上小 上小	拉 类 幻 日	単位	之数
Table Ta	1文 耒 村 日	必修	選択
Table Ta	【学部共通科目】		
情報サービス論 グロスオーバーSDGs 人文学 クトA クロスオーバーSDGs プロジェ クトB クロスオーバーSDGs プロジェ クトロスオーバーSDGs プロジェ クトロトロバーSDGs プロジェ クトロバーSDGs プロジェ ク			9
グローバル SDGs 人文学 クロスオーバーSDGs プロジェ クト A クロスオーバーSDGs プロジェ クト B クロスオーバーSDGs プロジェ クト C クロスオーバーSDGs プロジェ クトロスオーバーSDGs プロジェ クトロスカードでは、カーロジェン・クリースを表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を	1		
クトA 4 クトA 4 クトB 4 クトC 4 クトC 4 クトC 4 クトC 4 クトC 4 クトC 4 クトD 4 クトロスオーバーSDGs プロジェクトロスナーバーSDGs プロジェクトロスナーバーSDGs プロジェクトロスナーバーSDGs プロジェクトロスナーバーSDGs プロジェクトロスナーバーSDGs プロジェクトロスナースカースカースカースカースカースカースカースカースカースカースカースカースカー	1		
クト A クロスオーバーSDGs プロジェクト B クロスオーバーSDGs プロジェクト C クロスオーバーSDGs プロジェクト D クロスオーバーSDGs プロジェクト D クロスオーバーSDGs プロジェクトロスオーバーSDGs プロジェクトロスト E クロトロストーバーSDGs プロジェクトロストーバーSDGs プロジェクトロストーバーSDGs プロジェクトロストーバーSDGs プロジェクトロスオーバーSDGs プロジェクトロト H 言語カカラシーA アカドディスオーバーSDGs プロジェクトロト H 言語カカリテラシーA アカリテラシーB ビジシターA アカディスススキシップ B インターンシップ C 長期海外研修 B 長期海外研修 C 長期海外研修 C 長期海外研修 C 長期海外研修 C 長期期海外研修 C 長期期海外研で D 【メディア・ックリティンズム B アカデュア・クリライティング	グローバル SDGs 人文学		2
クト B クト C クト C クト D クト E クト E クト D クト D クト E	クロスオーバーSDGs プロジェ		4
クト B クロスオーバーSDGs プロジェクト C クロスオーバーSDGs プロジェクト D クロスオーバーSDGs プロジェクトロスオーバーSDGs プロジェクトロストローバーSDGs プロジェクトロストローバーSDGs プロジェクトロトローバーSDGs プロジェクトロトローバーSDGs プロジェクトローバーSDGs プロジェクトローバーSDGs プロジェクトローバーSDGs プロジェクトローバーSDGs プロジェクトローバーSDGs プロジェクトローバーSDGs プロジェクトローバーSDGs プロジェクトローバーSDGs プロジェクトローバーSDGs プロジェクースークトローバーSDGs プロジェクースークトローバーがである。 「アカーバーSDGs プロジェクースを開報デースを表現している。 「アカーバーSDGs プロジェクースを表現している。 「アカーバーSDGs プロジェクースを表現している。 「アカーバーSDGs プロジェクースを表現している。 「アカーバーSDGs プロジェクースを表現している。 「アカーバーSDGs プロジェクースを表現している。 「アカード・ファースを表現している。」 「ローバーSDGs プロジェクーへのようには、またしている。 「ファッカー・ファード・ファー・ファイン・ファー・ファイン・ファー・ファー・ファー・ファー・ファー・ファー・ファー・ファー・ファー・ファー	クトA		
クト B クロスオーバーSDGs プロジェクト C クロスオーバーSDGs プロジェクト D クロスオーバーSDGs プロジェクトロスオーバーSDGs プロジェクトロストローバーSDGs プロジェクトロストローバーSDGs プロジェクトロトローバーSDGs プロジェクトロトローバーSDGs プロジェクトローバーSDGs プロジェクトローバーSDGs プロジェクトローバーSDGs プロジェクトローバーSDGs プロジェクトローバーSDGs プロジェクトローバーSDGs プロジェクトローバーSDGs プロジェクトローバーSDGs プロジェクトローバーSDGs プロジェクースークトローバーSDGs プロジェクースークトローバーがである。 「アカーバーSDGs プロジェクースを開報デースを表現している。 「アカーバーSDGs プロジェクースを表現している。 「アカーバーSDGs プロジェクースを表現している。 「アカーバーSDGs プロジェクースを表現している。 「アカーバーSDGs プロジェクースを表現している。 「アカーバーSDGs プロジェクースを表現している。 「アカード・ファースを表現している。」 「ローバーSDGs プロジェクーへのようには、またしている。 「ファッカー・ファード・ファー・ファイン・ファー・ファイン・ファー・ファー・ファー・ファー・ファー・ファー・ファー・ファー・ファー・ファー	クロスオーバーSDGs プロジェ		4
クト C クロスオーバーSDGs プロジェクト D 4 クト D クロスオーバーSDGs プロジェクト D 4 クト D クロスオーバーSDGs プロジェクト E 4 クト E クロスオーバーSDGs プロジェクト F 4 クト F クロスオーバーSDGs プロジェクト G 4 クロスオーバーSDGs プロジェクト G 4 クロスオーバーSDGs プロジェクト G 4 クト H 言語情報アリテラシーA 1 言語オーバーSDGs プロジェクト G 1 クト H 言語情報アラシーA 1 ごとジャンキルアックト B 2 インタターンシップ B 2 インタターンシップ B 1 インタターンチョンシップ C 1 長期海外研修 B 2 長期海外研修 C 2 長期海外研修 C 2 長期海外のアウンセミスキルズのフレッイア・クリティシズム B 2 フレッイア・クリティング 2			1
クト C クロスオーバーSDGs プロジェ クト D クロスオーバーSDGs プロジェ クト E クロスオーバーSDGs プロジェ クト F クロスオーバーSDGs プロジェ クト G クロスオーバーSDGs プロジェ クト H 言語が デック情報リテラシーA アカデミックキルデラシーB ビジネススキルアップ B インタターンシップ C 長期海外研修 B 長期海外研修 B 長期海外研修 C 長期海外研修 D 【メディア・クリティシズム B フレッシア・クリティシズム B アカデミックライティング	1		4
クトD クトD クロスオーバーSDGs プロジェクト E 4 クト E クロスオーバーSDGs プロジェクト F 4 クト F クロスオーバーSDGs プロジェクト G 4 クト G クロスオーバーSDGs プロジェクト G 4 クト H 言語情報デラシーA 2 アカデミック情報リテラシーB 1 ビジネススキルアップ B 2 インターンシップ B 2 インタターンシップ C 長期海外研修 B 長期海外研修 B 2 長期海外研修 C 2 長期海外研修 C 2 長期ボイア情報社会基盤科目】 2 アカデミックセミティング 1 メディア・クリティシズム B 2 アカデミックライティング 2			4
クト D クロスオーバーSDGs プロジェクト E 4 クト F クロスオーバーSDGs プロジェクト F 4 クト F クロスオーバーSDGs プロジェクト G 4 クロスオーバーSDGs プロジェクト H 2 言語情報デザインリテラシーA 1 アカデミック情報リテラシーB 1 ビジネススキルアップ A 2 ビジネススキルアップ B 2 インターンシップ C 長期海外研修 B 長期海外研修 B 2 長期海外研修 C 2 長期海外研修 D 2 【メディア情報社会基盤科目】 2 アカデミックライティング 2			
クロスオーバーSDGs プロジェクトE クロスオーバーSDGs プロジェクトF クロスオーバーSDGs プロジェクトG クロスオーバーSDGs プロジェクトG クロスオーバーSDGs プロジェクトH 言語情報デザインリテラシーA アカデミック情報リアテラシーB ビジネススキルアップ B インターンシップ B インターンシップ C 長期海外研修 B 長期海外研修 B 長期海外研修 C 長期海外研修 D 【メディア情報社会基盤科目】 (アカデミックリティシズム B 2 メディア・クリティング	クロスオーバーSDGs プロジェ		4
クト E クロスオーバーSDGs プロジェクト F 4 クト F クロスオーバーSDGs プロジェクト G 4 クロスオーバーSDGs プロジェクト H 2 言語情報デザインリテラシーA 1 アカデミック情報リテラシーB 2 ビジネススキルアップ B 2 インターンシップ B 2 インターンシップ C 長期海外研修 B 長期海外研修 B 2 長期海外研修 C 2 長期海外研修 C 2 長期海外研修 D 2 【メディア情報社会基盤科目】 2 インタンセミナー 1 メディア・クリティシズム B 2 メディア・クリティング 2	クトD		
クト E クロスオーバーSDGs プロジェクト F 4 クト F クロスオーバーSDGs プロジェクト G 4 クロスオーバーSDGs プロジェクト H 2 言語情報デザインリテラシーA 1 アカデミック情報リテラシーB 2 ビジネススキルアップ B 2 インターンシップ B 2 インターンシップ C 長期海外研修 B 長期海外研修 B 2 長期海外研修 C 2 長期海外研修 C 2 長期海外研修 D 2 【メディア情報社会基盤科目】 2 インタンセミナー 1 メディア・クリティシズム B 2 メディア・クリティング 2	クロスオーバーSDGs プロジェ		4
クト F クト F クト F クロスオーバーSDGs プロジェクト G 4 クト G クロスオーバーSDGs プロジェクト H 4 言語情報デザインリテラシーA フカデミック情報リテラシーB 1 アカデミック情報リテラシーB 1 ビジネススキルアップ A 2 ビジネススキルアップ B 1 インターンシップ C 1 長期海外研修 B 2 長期海外研修 B 2 長期海外研修 C 2 長期海外研修 D 2 【メディア情報社会基盤科目】 2 マカデミック・スキルズ) 1 フレッシュクリティシズム B 2 メディア・クリティング 2	クトE		
クト F クロスオーバーSDGs プロジェ クト G クロスオーバーSDGs プロジェ クト H 言語情報デザインリテラシー アカデミック情報リテラシーB ビジネススキルアップ A ビジネススキルアップ B インターンシップ C 長期海外研修 B 長期海外研修 B 長期海外研修 C 長期海外研修 C 長期海外研修 C 長期海外研修 C 長期海外研修 C 表期海外研修 C 表期海外研修 C 表期海外研修 C 表別海外研修 D 【メディア情報社会基盤科目】 (アカデミック・スキルズ) フレッシュクリティシズム B 2 メディア・クリティング	1		4
クト G クロスオーバーSDGs プロジェクト G 4 クト H 言語情報デザインリテラシーA 2 アカデミック情報リテラシーB 1 ビジネススキルアップ A 2 ビジネススキルアップ B 1 インターンシップ C 1 長期海外研修 B 2 長期海外研修 C 2 長期海外研修 C 2 長期海外研修 D 2 【メディア情報社会基盤科目】 2 アカデミックライティング 2			4
クト G クロスオーバーSDGs プロジェクト H 4 言語情報デザインリテラシースアカデミック情報リテラシーB 2 アカデミック情報リテラシーB 1 ビジネススキルアップ A 2 ビジネススキルアップ B 1 インターンシップ C 1 長期海外研修 B 2 長期海外研修 C 2 長期海外研修 C 2 長期海外研修 D 2 【メディア情報社会基盤科目】 2 (アカデミック・スキルズ) 2 フレッシュタンセミナー 1 メディア・クリティシズム B 2 メディア・クリティング 2			
クロスオーバーSDGs プロジェ 4 クト H 言語情報デザインリテラシー 言語情報デザインリテラシーA 1 アカデミック情報リテラシーB 1 ビジネススキルアップ A 2 ビジネススキルアップ B 1 インターンシップ C 1 長期海外研修 B 2 長期海外研修 B 2 長期海外研修 C 2 長期海外研修 D 2 【メディア情報社会基盤科目】 2 アカデミック・スキルズ) 1 フレッシュマンセミナー 1 メディア・クリティシズム B 2 メディア・クリティング 2			4
クト H 言語情報デザインリテラシーA アカデミック情報リテラシーB ビジネススキルアップ A ビジネススキルアップ B インターンシップ C 長期海外研修 A 長期海外研修 B 長期海外研修 C 長期海外研修 C 長期海外研修 C 長期海外研修 C 表期海外研修 C 表期海外研修 D 【メディア情報社会基盤科目】 (アカデミック・スキルズ) フレッシュマンセミナー メディア・クリティシズム B アカデミックライティング 2 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	1 , 0		
言語情報デザインリテラシーA アカデミック情報リテラシーB ビジネススキルアップ A ビジネススキルアップ B インターンシップ B インターンシップ C 長期海外研修 A 長期海外研修 B 長期海外研修 C 長期海外研修 C 長期海外研修 C 長期海外研修 C 表期海外研修 C 表期海外研修 D 【メディア情報社会基盤科目】 (アカデミック・スキルズ) フレッシュマンセミナー メディア・クリティシズム B アカデミックライティング 2	クロスオーバーSDGs プロジェ		4
アカデミック情報リテラシーA 1 アカデミック情報リテラシーB 1 ビジネススキルアップ B 2 インターンシップ B 1 インターンシップ C 1 長期海外研修 B 2 長期海外研修 C 2 長期海外研修 D 2 【メディア情報社会基盤科目】 2 (アカデミック・スキルズ) 2 フレッシュマンセミナー 1 メディア・クリティシズム B 2 メディア・クリティシズム B 2 アカデミックライティング 2	クトH		
アカデミック情報リテラシーA 1 アカデミック情報リテラシーB 1 ビジネススキルアップ B 2 インターンシップ B 1 インターンシップ C 1 長期海外研修 B 2 長期海外研修 C 2 長期海外研修 D 2 【メディア情報社会基盤科目】 2 (アカデミック・スキルズ) 2 フレッシュマンセミナー 1 メディア・クリティシズム B 2 メディア・クリティシズム B 2 アカデミックライティング 2	言語情報デザインリテラシー		2
アカデミック情報リテラシーB 1 ビジネススキルアップ B 2 インターンシップ A 1 インターンシップ C 1 長期海外研修 B 2 長期海外研修 C 2 長期海外研修 D 2 【メディア情報社会基盤科目】 2 アカデミック・スキルズ) 1 フレッシュマンセミナー 1 メディア・クリティシズム A 2 メディア・クリティシズム B 2 アカデミックライティング 2	1		
ビジネススキルアップ B 2 インターンシップ A 1 インターンシップ C 1 長期海外研修 A 2 長期海外研修 B 2 長期海外研修 C 2 長期海外研修 D 2 【メディア情報社会基盤科目】 2 (アカデミック・スキルズ) 1 フレッシュマンセミナー 1 メディア・クリティシズム A 2 メディア・クリティシズム B 2 アカデミックライティング 2			
ビジネススキルアップ B 2 インターンシップ B 2 インターンシップ C 1 長期海外研修 A 2 長期海外研修 B 2 長期海外研修 C 2 長期海外研修 D 2 【メディア情報社会基盤科目】 (アカデミック・スキルズ) フレッシュマンセミナー 1 メディア・クリティシズム A 2 メディア・クリティシズム B 2 アカデミックライティング 2			
インターンシップ B 1 インターンシップ C 1 長期海外研修 A 2 長期海外研修 B 2 長期海外研修 C 2 長期海外研修 D 2 【メディア情報社会基盤科目】 (アカデミック・スキルズ) フレッシュマンセミナー 1 メディア・クリティシズム A 2 メディア・クリティシズム B 2 アカデミックライティング 2			
インターンシップ B 2 インターンシップ C 1 長期海外研修 A 2 長期海外研修 B 2 長期海外研修 C 2 長期海外研究 D 2 【メディア情報社会基盤科目】 (アカデミック・スキルズ) フレッシュマンセミナー 1 メディア・クリティシズム A 2 メディア・クリティシズム B 2 アカデミックライティング 2	1		
インターンシップ C1長期海外研修 A2長期海外研修 B2長期海外研修 C2長期海外研究 D2【メディア情報社会基盤科目】 (アカデミック・スキルズ) フレッシュマンセミナー メディア・クリティシズム A メディア・クリティシズム B フカデミックライティング1	1		
長期海外研修 A2長期海外研修 B2長期海外研修 C2長期海外研究 D2【メディア情報社会基盤科目】 (アカデミック・スキルズ) フレッシュマンセミナー メディア・クリティシズム A メディア・クリティシズム B スカデミックライティング1			
長期海外研修 B2長期海外研修 C2長期海外研究 D2【メディア情報社会基盤科目】 (アカデミック・スキルズ) フレッシュマンセミナー メディア・クリティシズム A メディア・クリティシズム B アカデミックライティング2	インターンシップ C		1
長期海外研修 C2長期海外研究 D2【メディア情報社会基盤科目】 (アカデミック・スキルズ)1フレッシュマンセミナー メディア・クリティシズム A メディア・クリティシズム B アカデミックライティング2アカデミックライティング2	長期海外研修 A		2
長期海外研修 C2長期海外研究 D2【メディア情報社会基盤科目】 (アカデミック・スキルズ)1フレッシュマンセミナー メディア・クリティシズム A メディア・クリティシズム B アカデミックライティング2	長期海外研修 B		2
長期海外研究 D2【メディア情報社会基盤科目】 (アカデミック・スキルズ)1フレッシュマンセミナー メディア・クリティシズム A メディア・クリティシズム B アカデミックライティング2	長期海外研修 C		
【メディア情報社会基盤科目】 (アカデミック・スキルズ) フレッシュマンセミナー 1 メディア・クリティシズム A 2 メディア・クリティシズム B 2 アカデミックライティング 2	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		
(アカデミック・スキルズ) 1 フレッシュマンセミナー 1 メディア・クリティシズム A 2 メディア・クリティシズム B 2 アカデミックライティング 2	• • • • • • • • • • • • • • • • • • •		_
フレッシュマンセミナー 1 メディア・クリティシズム A 2 メディア・クリティシズム B 2 アカデミックライティング 2			
メディア・クリティシズム A 2 メディア・クリティシズム B 2 アカデミックライティング 2		1	
メディア・クリティシズム B 2 アカデミックライティング 2			
アカデミックライティング 2			
/ 珥=全甘 エホト)		2	
(连端基礎)	(理論基礎)		
社会学概論 2	社会学概論		2
心理学概論 2	心理学概論		2
言語学概論 2	言語学概論		
社会言語学概論 2	1 ,		
社会心理学概論 2			
グローカル文化論	1		
メディア論 2			
メディア文化史 2	1		2
(理論応用)	. —		
メディアの法と倫理 2	. ,		2
メディアと市民社会 2	メディアと市民社会		2

	単位	
授業科目	必修	選択
メディアとジャーナリズム	į	2
メディアと表現		2
メディアとアート		2
メディアと観光		2
メディアと地域		2
【メディア情報社会実践科目】		_
(キュレーション・スキルズ)		
映像分析		2
量的調査法		2
質的調査法		2
取材学		2
メディア情報流通論演習 A		1
メディア情報流通論演習 B		1
地域情報アーカイブ論		2
データベースプログラミング A		1
データベースプログラミング B		1
Web プログラミング		2
(クリエーション・スキルズ)		
映像クリエーションA		2
映像クリエーション B		2
映像クリエーション C		2
写真撮影表現法 A		2
写真撮影表現法 B		2
アニメーション制作技法 A		2
アニメーション制作技法 B		2
コンピュータグラフィックス A		2
コンピュータグラフィックス B		2
サウンドクリエーションA		2
サウンドクリエーション B		2
【プロジェクト科目】		
メディア情報社会プロジェクト	1	
A		
メディア情報社会プロジェクト	1	
В		
メディア情報社会プロジェクト	1	
C		
メディア情報社会プロジェクト	1	
D		
【関連科目】		
日本語教授法 A		2
日本語教授法 B		2
日本語教育実践 A		2
日本語教育実践 B		2
行動科学 A		2
行動科学 B		2
現代思想		2
女性の歴史		2
技術の歴史		2
法学概論		2
政治学概論		2

	単位	立数
授業科目 	必修	選択
哲学概論		2
経済学概論		2
伝承文化入門		2
民俗学入門		2
考古学A		2
考古学 B		2
<卒業研究>	4	

人文学部 メディア情報社会学科 履修方法(卒業の要件)

	初年次教	 教育科目	必修科目1単位		
	スキル教	 教育科目	6 単位以上		
全学	外国語教	效育科目	[外国語4単位(英語必修科目2単位を含む)、日本語スキル科目2単位を含む]		
共通教	教養課題 教育科目	杯学リナランー	10 単位以上	18 単位 以上	
育科	リベラノ	レアーツ教育科目			
目	特別課題	通教育科目			
	健康と	スポーツ	必修科目を含めて1単位以上		
	スポージ	ツ活動			124 単位
	学部共通	 通科目			以上
	メディア		ツ板利日大会はて 90 光片N L		
学	情報社会 基盤科目		必修科目を含めて 28 単位以上		
部	221111111	理論応用			
教育科目	メディア 情報社会 実践科目	キュレーション・ス キルズ クリエーション・ス キルズ	96 光体以 I.	86 単位以上	
	プロジェ	ェクト科目	4 単位(必修)		
	関連科目	1			
	卒業研究	t L	4 単位(必修)		

[※] 授業科目の履修に関しては別に定める。

応用生物学部 応用生物化学科 教育科目

	畄石	立数
授業科目	必修	選択
【学部教育科目】	70 19	~2.1/ \
(学部基礎科目)		
基礎数学		2
基礎化学		2
基礎生物学		2
基礎地学		2
無機化学		2
有機化学 I	2	2
有機化学Ⅱ	2	
有機化学Ⅲ	2	2
微生物学Ⅰ	2	2
微生物学Ⅱ	2	2
上物化学 I	2	2
生物化学Ⅱ	2	
分子生物学 I	2	
分子生物学Ⅱ 分子生物学Ⅱ	2	
分析化学	2	
推計学入門	2	2
細胞生物学	2	2
機器分析化学	2	2
物理化学		2
応用微生物学	2	2
科学ジャーナル講読	2	2
基礎物理学		2
生物倫理学		2
基礎生物学・基礎化学実験	1	2
分析化学実験	1	
有機化学実験	1	
微生物学実験	1	
食品化学基礎実験	1	
生物化学実験 A	1	
生物化学実験 B	1	
基礎物理学・基礎地学実験	-	1
(学科専門科目)		_
バイオの世界		2
バイオ産業リスク予防学		2
生物情報リテラシー		2
分子生理学		2
天然物化学		2
プログラミング		2
生物有機化学		2
遺伝子工学		2
動物細胞工学		2
植物細胞工学		2
応用タンパク質科学		2
バイオインフォマティクス		2
生体防御学		2
ケミカルバイオロジー		2
インターンシップ A		1
インターンシップ B		2

	1	
控 紫 玖 日		立数
汉未竹日	必修	選択
授 科 目 プ C で		数表表ままままままままままままままままままままままままままままままままままままままままままままままままままままままままままままままままままままままままままままままままままままままままままままままままままままままままままままままままままままままままままままままままままままままままままままままままままままままままままままままままままままままままままままままままままままままままままままままままままままままままま

応用生物学部 応用生物化学科 履修方法(卒業の要件)

	初年次教	育科目	必修科目1単位			
,	スキル教	育科目	8単位以上	~) 		
全	外国語教	育科目	│ [英語 4 単位 (必修科目 2 単位を含む スキル 2 単位、情報スキル 2 単位を			
共	本美細田	人文リテラシー				
通	教養課題 教育科目	社会リテラシー			24 単位	
教	教育行口	科学技術リテラシー	14 単位以上		以上	
育科	リベラル	アーツ教育科目				124 単位
目目	特別課題	教育科目				以上
	健康とス	ポーツ	必修科目を含めて1単位以上			
	スポーツ	活動				
学部	学部基礎	科目	学科で定める必修科目を含めて	30 単位 以上		
教	関連科目				82 単位	
育科	兴到 古田	A) E	学科で定める必修科目を含めて	20 単位	以上	
目	学科専門	竹日	卒業研究 (必修)	以上		

[※] 授業科目の履修に関しては別に定める。

応用生物学部 環境生物科学科 教育科目

Y	加加工物子的 绿兔工物杆子杆	秋月1	
上学部教育科目	授 業 科 日		
(学部基学学 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	及 木 们 日	必修	選択
 基礎数学 基礎機化生物学学 基礎機性化化学 I	【学部教育科目】		
 基礎数学 基礎機化生物学学 基礎機性化化学 I	(学部基礎科目)		
基礎化学			2
 基礎生物学 生物学			
 基礎化学			
無機化学 I 有機化学 II 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2			
 有機化学Ⅱ			
 有機化学Ⅲ 有機化学Ⅲ 微生物学Ⅱ 生物化学Ⅱ 生物化学Ⅱ 分子生物学Ⅱ 分子生物学Ⅱ 分子生物学Ⅰ 投力分子生物学Ⅱ 分析化学 推計學生物 生物化学學學生物學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學			2
有機化学 I		2	
 微生物学 I 微生物化学 I 生物化学 II 分分析化学 II 分分析化学 P門 推細胞器理化学学学 基礎化学学学學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學	有機化学Ⅱ		
微生物 1 2 2	有機化学Ⅲ		2
生生生学Ⅱ 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	微生物学 I	2	
型 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	微生物学Ⅱ		2
型 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	生物化学 I	2	
2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2			2
2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2		2	_
一分			2
 推制学 2 <l< td=""><td></td><td></td><td></td></l<>			
 細胞生物 が学り と 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	****		
機物理學 2 基礎物理學 1 生物理學 1 生物理學 1 有機生物學実験 1 有機生物學実験 1 有機生物學実験 1 有機生物學等數 1 生物化學學學等基數 1 生物學學 1 生物學學 1 是數 2 1 2 2		9	
物理化学 2 基礎物理学 1 基礎生物學実験 1 有機生物と学実験 1 食品化化学実験 1 食品化化学実験 1 生物化學享養 1 大學等數 1 生物化學學達 1 生物化學學達 1 大學時期 2 全地學學達 2 全地學等 1 1 2 空間 2 全地學等 1 1 2 空間 2 全地學等 2 <		2	0
基礎物価理学 2 基礎化学実験 1 有機生物学実験 1 有機生物学実験 1 食生物化學学業験 1 食性物化學学學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學			
生物倫理学 2 基礎生物学・基礎化学実験 1 有機化学実験 1 食品化学実験 B 1 生物化学実験 B 1 基礎物學学達學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學			
基礎生物学・基礎化学実験 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1			
 分析化学実験			2
有機化学実験 食品化学実験 A 生物化学実験 B 基礎地学実験 1 生物化學專門科目) 環境生物科專門 2 動物科學 2 自然多樣性概論 2 植物科學 2 自然多學 2 植物科學 2 植物科學 2 植物科學 2 植物科學 2 植物科學 2 植物特型學 2 類物生理學 2 環境分對 2 動物生理學 2 環境分對 2 五十二 2 2 2 2 2 2 2 2 3 3 3 4 3 4 5 5 5 6 7 7 8 7 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8			
微生物学実験 食品化学基礎実験 生物化学実験 A 生物化学実験 B 基礎物理学・基礎地学実験 (学科専門科目) 環境生物科学入門 動物科学 自然保護性概論 植物科学 地球環生学 環境外生理学 環境動物生理学 環境動物生理学 環境動物性理学 環境動物性理学 環境動物性理学 環境分析等 生態圏環境学 生態圏環境学 生態圏環境学 と 生物の形式 生物の生理学 環境動物性理学 環境動物性理学 環境分析等 生態圏環境学 生態圏環境学 と 生物の形式 生態圏環境学 生態圏環境学 生態圏環境学 是 生物の形式 生物等 生態圏環境学 生態圏環境学 生態圏環境学 是 生物の形式 生物の形式 生態圏環境が 生態圏環境が 生態圏環境が 生態圏環境 生物環境 生物環境 生物環境 生物 生態の形式 生態の形式 生物の形式 生態の形式 生物の形式 生態の形式 生態の形式 生態の形式 生態の形式 生態の形式 生態の形式 生態の形式 生態の形式 生態の形式 生態の形式 生態の形式 生態の形式 生態の形式 生物の形式 生態の形式 生態の形式 生態の形式 生態の形式 生態の形式 生物の形式 生態の形式 生態の形式 生物の形式 生態の形式 生物の形式 生態の形式 生態の形式 生態の形式 生態の形式 生態の形式 生物 生物 生物 生物 生物 生物 生物 生物 生物 生物 生物 生物 生物			
食品化学基礎実験 1 生物化学実験 B 1 基礎物理学・基礎地学実験 1 (学科専門科目) 2 環境生物科学 2 自然保護性概論 2 生物多様性概論 2 地球環境学 2 環境生理学 2 環境分学 2 北坡圏環境学 2 水圏環境学 2 水圏環境学 2		1	
生物化学実験 A 1 生物化学実験 B 1 基礎物理学・基礎地学実験 1 (学科専門科目) 2 環境目標等 2 動物科学 2 自然保護性概論 2 植物科学 2 地球環境学 2 植物生理学 2 環境生物學學 2 生態圏状態 2 世境分学 2 細胞工学 2 水圏環境 2 水圏環境学 2	微生物学実験	1	
生物化学実験 B 1 基礎物理学・基礎地学実験(学科専門科目) 2 環境問題入門 2 環境生物科学入門 2 動物科学自然保護論生物多樣性概論植物科学地球環境学種物學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學	食品化学基礎実験	1	
基礎物理学・基礎地学実験 1 (学科専門科目) 2 環境生物科学入門 2 動物科学 2 自然保護論 2 生物多様性概論 2 植物科学 2 地球環境学 2 植物生理学 2 環境動物生理学 2 環境分析学 2 細胞工学 2 水圏環境学 2 水圏環境学 2	生物化学実験 A	1	
(学科専門科目)環境問題入門環境生物科学入門動物科学自然保護論生物多様性概論植物科学地球環境学植物科学型学環境化学動物生理学環境化学動物生理学環境動物生理学環境動物等生態学概論生類學研算學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學	生物化学実験 B	1	
環境問題入門 環境生物科学入門 動物科学 自然保護論 生物多様性概論 植物科学 地球環境学 植物生理学 環境化学 動物生理学 環境動物生理学 環境動物学 生態学概論 土壌圏環境学 環境分析学 細胞工学 環境工学 水圏環境学	基礎物理学・基礎地学実験		1
環境問題入門 環境生物科学入門 動物科学 自然保護論 生物多様性概論 植物科学 地球環境学 植物生理学 環境化学 動物生理学 環境動物生理学 環境動物学 生態学概論 土壌圏環境学 環境分析学 細胞工学 環境工学 水圏環境学	(学科専門科目)		
環境生物科学入門 動物科学 自然保護論 生物多樣性概論 植物科学 地球環境学 植物生理学 環境化学 動物生理学 環境動物学 生態学概論 土壤圏環境学 環境分析学 細胞工学 環境工学 水圏環境学			2
動物科学 2 自然保護論 2 生物多樣性概論 2 植物科学 2 地球環境学 2 植物生理学 2 環境化学 2 動物生理学 2 環境動物学 2 生態学概論 2 土壤圏環境学 2 環境分析学 2 細胞工学 2 水圏環境学 2	1112 - 1 - 1 - 1		
自然保護論 2 生物多様性概論 2 植物科学 2 地球環境学 2 植物生理学 2 環境化学 2 動物生理学 2 環境動物学 2 生態學概論 2 土壤圏環境学 2 環境分析学 2 細胞工学 2 水圏環境学 2			
生物多樣性概論植物科学 2 植物科学 2 地球環境学植物生理学環境化学 2 動物生理学環境動物学生態学概論土壤圏環境学環境分析学細胞工学環境工学、大圏環境学 2 大圏環境学 2 大圏環境学 2 大圏環境学 2 大圏環境学 2			
植物科学 2 地球環境学 2 植物生理学 2 環境化学 2 動物生理学 2 環境動物学 2 生態学概論 2 土壤圏環境学 2 環境分析学 2 細胞工学 2 環境工学 2 水圏環境学 2			
地球環境学植物生理学環境化学 2 動物生理学環境動物学生態学概論土壤圏環境学環境分析学細胞工学環境工学、水圏環境学 2 大塚圏環境学 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2			
植物生理学 2 環境化学 2 動物生理学 2 環境動物学 2 生態学概論 2 土壤圏環境学 2 環境分析学 2 細胞工学 2 環境工学 2 水圏環境学 2			
環境化学 2 動物生理学 2 環境動物学 2 生態学概論 2 土壤圏環境学 2 環境分析学 2 細胞工学 2 環境工学 2 水圏環境学 2	_ :::::::::::::::::::::::::::::::::::::		
動物生理学 2 環境動物学 2 生態学概論 2 土壤圏環境学 2 環境分析学 2 細胞工学 2 環境工学 2 水圏環境学 2			
環境動物学 2 生態学概論 2 土壤圏環境学 2 環境分析学 2 細胞工学 2 環境工学 2 水圏環境学 2			
生態学概論 2 土壤圏環境学 2 環境分析学 2 細胞工学 2 環境工学 2 水圏環境学 2			
土壤圏環境学 2 環境分析学 2 細胞工学 2 環境工学 2 水圏環境学 2			
環境分析学 2 細胞工学 2 環境工学 2 水圏環境学 2			
細胞工学 2 環境工学 2 水圏環境学 2			
環境工学 2 水圏環境学 2			
水圏環境学 2	•		
	環境工学		2
動物栄養学 2	水圏環境学		2
	動物栄養学		2

授業科目 単位数 環境評価学 2 バイオマス論 2 植物遺伝資源論 2 園芸生産学 2 生物機能形態学 2 インタターンシップ C 1 環境生物科学シップ C 1 環境生物科学学とセミオーB 1 環境生物科学演習 1 環境植物学実験 1 か圏学実験 1 財物学実験 1 大圏学実験 1 大圏等環境 1 大圏 2 フィ研究 4 (関連科目) 2 食品化学I 2 プロ衛生学 2 バイオインフォマティクス 2
環境評価学 バイオマス論 植物遺伝資源論 園芸生産学 生物機能形態学 インターンシップ A インターンシップ C 環境生物科学セミナーA 環境生物科学セミナーB 環境性物科学は下野 分子生物学実験 1 環境植物学実験 カ子生物学実験 1 環境を物学実験 1 環境を物学実験 1 は関環境が実験 1 は関環境が実験 1 は関環境が実験 1 は関環が表別である。 1 は関連科目) 食品化学 I 食品化学 I 食品化学 I 2 2 2 2 4 2 2 4 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2
 バイオマス論植物遺伝資源論園芸生産学生物機能形態学インターンシップ A インターンシップ C 環境生物科学セミナーA 環境生物科学セミナーB

応用生物学部 環境生物科学科 履修方法(卒業の要件)

	初年次教	育科目	必修科目1単位			
	スキル教	育科目	8 単位以上 - [英語 4 単位 (必修科目 2 単位を含む	·) 口 水 宝		
全学	外国語教	育科目	スキル2単位、情報スキル2単位を			
共通	教養課題	人文リテラシー 社会リテラシー			24 単位	
教	教育科目	科学技術リテラシー	14 単位以上		以上	
育科	リベラル	アーツ教育科目				124 単位
目	特別課題	教育科目				以上
	健康とス	ポーツ	必修科目を含めて1単位以上			
	スポーツ	活動				
学部	学部基礎	科目	学科で定める必修科目を含めて	30 単位 以上		
教	関連科目				82 単位	
育科	兴利丰田	1) II	学科で定める必修科目を含めて	20 単位	以上	
目	学科専門	科日	卒業研究 (必修)	以上		

[※] 授業科目の履修に関しては別に定める。

応用生物学部 食品栄養科学科 食品栄養科学専攻 教育科目

単位数 単位数
上学部教育科目
(学部基礎科目) 基礎化学 基礎化生物学 無機化化学 I 有機機化化学 I 有機機化化学 I 有機性物学 I 全物化生学 I 物生物学 I 生物・学 I 生物・学・工生物・学・工生物・学・工生物・学・工生物・学・大・学・大・学・大・学・大・大・大・大・大・大・大・大・大・大・大・大・
基礎数学 2 基礎化学 2 無機化學I 2 有機化學II 2 有機化學II 2 有機化學II 2 有機化學II 2 大學的學I 2 全物化學I 2 分子生物学I 2 分子生物学I 2 分子生物学I 2 分子性學學學 2 推脫生物学學 2 大學數理代學學 2 之數學學 2 之數學學 2 之數學學 2 全數學學 2 全數學學 1 大學學 1 大學學 2 全數學 1 大學學 2 大學 2 大學 2 大學 2 大學 2
基礎数学 2 基礎化学 2 無機化學I 2 有機化學II 2 有機化學II 2 有機化學II 2 有機化學II 2 大學的學I 2 全物化學I 2 分子生物学I 2 分子生物学I 2 分子生物学I 2 分子性學學學 2 推脫生物学學 2 大學數理代學學 2 之數學學 2 之數學學 2 之數學學 2 全數學學 2 全數學學 1 大學學 1 大學學 2 全數學 1 大學學 2 大學 2 大學 2 大學 2 大學 2
基礎化学 2 基礎生物学 2 無機化学 I 2 有機化学 II 2 有機化学 II 2 有機化学 II 2 微生物学 II 2 分子生物学 II 2 分子化学学学学 2 推計學生物化学 2 推制胞生物学 2 推制胞生物学 2 整礎化学 2 基礎物理学・基礎化学実験 1 有機化學學実験 1 有機化學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學
基礎生物学 2 基礎地学 2 有機化学 I 2 有機化学 II 2 有機化学 II 2 有機化学 II 2 食物学 II 2 生物化学 II 2 分子生物学 II 2 分子生物学 II 2 分析化学 P 2 機器分析化学 2 被器分析化学 2 基礎物理学・基礎化学実験 1 有機化学実験 1 会職生物学実験 1 有機化学実験 1 全物倫理学 2 全物化学実験 1 食物性学実験 1 食物化学実験 1 食物化学実験 1 食物化学実験 1 食物化学実験 1 食物化学実験 1 生物化学実験 1 生物化学実験 1 生物化学実験 1 基礎物理学・基礎地学実験 1 基礎物理学 1 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2
基礎地学 2 有機化学 I 2 有機化学 II 2 有機化学 II 2 微生物学 II 2 生物化学 II 2 分子生物学 II 2 分子生物学 II 2 分析化学 性学 2 推制定 外学 2 大析化学 2 物理化学 2 基礎生物学・基礎化学実験 1 有機化学実験 1 有機化学実験 1 有機化学実験 1 有機化学 2 2 2 基礎化学実験 1 食物學 1 有機化学 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 3 1 4 1 5 </td
無機化学 I 2 2 2 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
有機化学Ⅱ 有機化学Ⅲ 有機化学Ⅲ 微生物学Ⅱ 微生物学Ⅱ 生物化学Ⅱ 生物化学Ⅱ 分子生物学Ⅱ 分子生物学Ⅱ 分析化学 推計学入門 細胞生物学 機器分析学 物理化学 応用微生物学 基礎物理学 基礎物理学 基礎化学実験 有機化学実験 有機化学実験 有機化学実験 食品化学実験 食品化学実験 全物化学実験 食品化学実験 食品化学実験 生物化学実験 食品化学実験 全物化学実験 食品化学実験 食品化学実験 生物化学実験 全物化学実験 食品化学実験 全物化学実験 大析化学実験 食品化学実験 全物化学実験 全物化学実験 自 生物化学実験 大付、一种、一种、一种、一种、一种、一种、一种、一种、一种、一种、一种、一种、一种、
 有機化学Ⅲ 微生物学Ⅰ 独生物学Ⅱ 生物化学Ⅱ 分子生物学Ⅱ 分子生物学Ⅱ 分子生物学Ⅱ 分子生物学Ⅱ 分析化学 推計学入門 細胞生物学 機器分析化学 物理化学 基礎物理学 基礎物理学 基礎化学実験 有機化学実験 有機化学実験 有機化学実験 有機化学実験 自 回 <li< td=""></li<>
 有機化学Ⅲ 微生物学Ⅱ 生物化学Ⅱ 生物化学Ⅱ 分子生物学Ⅱ 分子生物学Ⅱ 分子生物学Ⅱ 分析化学 推計学入門 細胞生物学 機器分析化学 物理化学 応用微生物学 基礎物理学 生物倫理学 基礎生物学主人 人析化学実験 有機化学実験 有機化学実験 有機化学実験 自株化学実験 食品化学実験 人生物化学実験 人生物化学実験 人生物化学実験 人生物化学実験 人生物化学実験 人生物化学実験 人生物化学実験 人生物化学実験 人生物化学実験 人生物理学・基礎地学実験
微生物学 II 2 微生物学 II 2 生物化学 II 2 分子生物学 II 2 分子生物学 II 2 分子生物学 II 2 分析化学 2 推計学入門 2 細胞生物学 2 機器分析化学 2 本礎物理学 2 基礎生物学・基礎化学実験 1 有機化学実験 1 有機化学実験 1 食品化学実験 1 生物化学実験 1 生物化学実験 1 生物化学実験 1 基礎物理学・基礎地学実験 1 基礎物理学・基礎地学実験 1 基礎物理学・基礎地学実験 1
 微生物学Ⅱ 生物化学Ⅱ 分子生物学Ⅱ 分子生物学Ⅲ 分子生物学Ⅲ 分析化学 推計学入門 細胞生物学 機器分析化学 物理化学 応用微生物学 基礎物理学 生物倫理学 基礎生物学・基礎化学実験 有機化学実験 有機化学実験 有機化学実験 食品化学実験 食品化学実験 生物化学実験 生物化学実験 生物化学実験 生物化学実験 基礎物理学・基礎地学実験 1 基礎物理学・基礎地学実験 1
生物化学 I 生物化学 II 分子生物学 I 分子生物学 I 分子生物学 I 分子生物学 I 分子生物学 I 分子生物学 I 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2
生物化学Ⅱ 分子生物学Ⅱ 分子生物学Ⅱ 分析化学 推計学入門 細胞生物学 機器分析化学 物理化学 応用微生物学 基礎物理学 生物倫理学 基礎生物学・基礎化学実験 有機化学実験 有機化学実験 食品化学実験 食品化学実験 生物化学来) 1
 分子生物学 I 分子生物学 II 分析化学 推計学入門 細胞生物学 機器分析化学 物理化学 応用微生物学 基礎物理学 生物倫理学 基礎生物学・基礎化学実験 有機化学実験 有機化学実験 食品化学基礎実験 生物化学実験 A 生物化学実験 B 基礎物理学・基礎地学実験 1 2 3 4
 分子生物学Ⅱ 分析化学 推計学入門 細胞生物学 機器分析化学 物理化学 応用微生物学 基礎物理学 生物倫理学 基礎生物学・基礎化学実験 有機化学実験 有機化学実験 食品化学基礎実験 生物化学実験 A 生物化学実験 B 基礎物理学・基礎地学実験 1 1 1 2 4 4 5 6 7 7 8 7 8 9 1 1 2 <
分析化学 推計学入門 細胞生物学 機器分析化学 物理化学 応用微生物学 基礎物理学 生物倫理学 基礎生物学・基礎化学実験 有機化学実験 有機化学実験 食品化学基礎実験 生物化学実験 A 生物化学実験 B 基礎物理学・基礎地学実験 1 2 2 2 2 4 2 4 5 4 5 4 5 5 5 4 5 5 5 6 7 7 7 8 9
#計学入門 細胞生物学 機器分析化学 物理化学 応用微生物学 基礎物理学 生物倫理学 基礎生物学・基礎化学実験 有機化学実験 有機化学実験 食品化学基礎実験 生物化学実験 食品化学基礎実験 生物化学実験 A 生物化学実験 B 基礎物理学・基礎地学実験 1
#計学入門 細胞生物学 機器分析化学 物理化学 応用微生物学 基礎物理学 生物倫理学 基礎生物学・基礎化学実験 有機化学実験 有機化学実験 食品化学基礎実験 生物化学実験 食品化学基礎実験 生物化学実験 A 生物化学実験 B 基礎物理学・基礎地学実験 1
細胞生物学 2 機器分析化学 2 物理化学 2 応用微生物学 2 基礎物理学 2 生物倫理学 2 基礎生物学・基礎化学実験 1 有機化学実験 1 食品化学基礎実験 1 生物化学実験 A 1 生物化学実験 B 1 基礎物理学・基礎地学実験 1 基礎物理学・基礎地学実験 1
機器分析化学 物理化学 応用微生物学 基礎物理学 生物倫理学 基礎生物学・基礎化学実験 有機化学実験 有機化学実験 1 微生物学実験 食品化学基礎実験 生物化学実験 A 生物化学実験 B 基礎物理学・基礎地学実験 1
物理化学 2 応用微生物学 2 基礎物理学 2 生物倫理学 2 基礎生物学・基礎化学実験 1 有機化学実験 1 有機化学実験 1 食品化学基礎実験 1 生物化学実験 A 1 生物化学実験 B 1 基礎物理学・基礎地学実験 1
応用微生物学 2 基礎物理学 2 生物倫理学 2 基礎生物学・基礎化学実験 1 方析化学実験 1 有機化学実験 1 微生物学実験 1 食品化学基礎実験 1 生物化学実験 A 1 生物化学実験 B 1 基礎物理学・基礎地学実験 1
基礎物理学 生物倫理学 基礎生物学・基礎化学実験1 1 1
生物倫理学2基礎生物学・基礎化学実験1分析化学実験1有機化学実験1微生物学実験1食品化学基礎実験1生物化学実験 A1生物化学実験 B1基礎物理学・基礎地学実験1
基礎生物学・基礎化学実験 1 分析化学実験 1 有機化学実験 1 微生物学実験 1 食品化学基礎実験 1 生物化学実験 A 1 生物化学実験 B 1 基礎物理学・基礎地学実験 1
分析化学実験1有機化学実験1微生物学実験1食品化学基礎実験1生物化学実験 A1生物化学実験 B1基礎物理学・基礎地学実験1
有機化学実験1微生物学実験1食品化学基礎実験1生物化学実験 A1生物化学実験 B1基礎物理学・基礎地学実験1
微生物学実験1食品化学基礎実験1生物化学実験 A1生物化学実験 B1基礎物理学・基礎地学実験1
食品化学基礎実験1生物化学実験 A1生物化学実験 B1基礎物理学・基礎地学実験1
生物化学実験 A 1 生物化学実験 B 1 基礎物理学・基礎地学実験 1
生物化学実験 B 1 基礎物理学・基礎地学実験 1
基礎物理学・基礎地学実験 1
(専攻専門科目)
I I I
食糧問題入門 2
基礎食品栄養科学 2
食品栄養科学入門 2
食品化学 I 2
食品化学Ⅱ 2
応用食品栄養科学 2
食品分析学 2
食品リスク予防学
基礎食品栄養・機能学
左続 左続 左続 左続 左続 左 左 左 左
食品衛生学 2
食料資源流通学 2
栄養生化学 2
インターンシップ A 1
$\begin{array}{c c} 1 & 1 & 1 & 1 & 1 & 1 & 1 & 1 & 1 & 1 $
インターンシップ C 1

	単位数	
授業科目		
授業科目 会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会	平1 必修 1 1 1 4	双

応用生物学部 食品栄養科学科 食品栄養科学専攻 履修方法(卒業の要件)

全学共通教育科目	初年次教育科目		必修科目1単位		_	
	スキル教育科目		8単位以上 [英語4単位(必修科目2単位を含む)、日本語 スキル2単位、情報スキル2単位を含む]			
	外国語教育科目					
	教養課題	人文リテラシー]	
	教育科目	社会リテラシー			24 単位	124 単位
	教育行口	科学技術リテラシー	14 単位以上 以上	以上		
	リベラル	アーツ教育科目				
	特別課題教育科目					以上
	健康とスポーツ		必修科目を含めて1単位以上			
	スポーツ活動					
学部教育科目	学部基礎科目		学科で定める必修科目を含めて	30 単位 以上		
	関連科目				82 単位	
	専攻専門科目		専攻で定める必修科目を含めて	20 単位	以上	
			卒業研究 (必修)	以上		

[※] 授業科目の履修に関しては別に定める。

応用生物学部 食品栄養科学科 管理栄養科学専攻 教育科目

心用生物子部 良加木食件子件	「自理木食科子等ダー教育科日 単位数 「				拉数
授 業 科 目	必修	選択	授業科目	必修	<u>L </u>
【学部教育科目】	北沙	迭扒	食品学各論	2	迭扒
(学部基礎科目)			食品安全学	2	
【子印基啶科日】 基礎化学		2	食品学基礎実験	$\begin{array}{c c} z \\ 1 \end{array}$	
		2		1	
基礎生物学			食品機能学実験		
無機化学		2 2	食品安全学実験 食品分析学実験	1 1	
有機化学I		2	良血分析子夫峽	$\begin{bmatrix} 1 \\ 2 \end{bmatrix}$	
有機化学Ⅱ			1 "		
微生物学Ⅰ		2	基礎調理学実習	1 1	
微生物学Ⅱ		2	応用調理学実習		
分子生物学 I		2	調理学実験	1	
分子生物学Ⅱ		2	(基礎栄養学)		
分析化学		2	基礎栄養学I	2	
推計学入門		2	基礎栄養学Ⅱ	2	
細胞生物学		2	栄養学実験	1	
応用微生物学		2	(応用栄養学)		
科学ジャーナル講読		2	応用栄養学	2	
分析化学実験		1	ライフステージ栄養学	2	
微生物学実験	1		スポーツ栄養学	2	
〔学科・専攻関連科目〕			応用栄養学実習	1	
食糧問題入門		2	(栄養教育論)		
環境問題入門		2	栄養教育論I	2	
食品栄養科学入門		2	栄養教育論Ⅱ	2	
環境化学		2	栄養カウンセリング論	2	
動物生理学		2	栄養教育演習	1	
遺伝子工学		2	栄養教育実習	1	
バイオインフォマティクス		2	(臨床栄養学)		
ケミカルバイオロジー		2	臨床栄養学総論	2	
地球環境学		2	臨床栄養学各論	2	
応用タンパク質科学		2	栄養アセスメント論	2	
バイオマス論		2	栄養ケアマネジメント論	2	
園芸生産学		2	臨床栄養学実習	1	
〔専攻専門科目〕			臨床栄養管理実習	1	
(社会・環境と健康)			(公衆栄養学)		
健康管理概論	2		公衆栄養学	2	
健康心理学	2		公衆栄養活動論	2	
公衆衛生学	2		食事調査演習	1	
(人体の構造と機能及び疾病の			公衆栄養学実習	1	
成り立ち)			(給食経営管理論)		
生化学I	2		給食経営管理論 I	2	
生化学Ⅱ	2		給食経営管理論Ⅱ	2	
基礎生化学実験	1		給食経営管理基礎実習	1	
生化学実験	1		給食経営管理応用実習	1	
形態機能学I	2		(総合演習)		
形態機能学Ⅱ	2		管理栄養士総合基礎演習	1	
形態機能学実験	1		管理栄養士総合応用演習	1	
運動生理学	2		(臨地実習)		
臨床医科学 I	2		臨地実習演習	1	
臨床医科学Ⅱ	2		臨地実習	4	
(食べ物と健康)			(関連科目)		
食品学総論	2		現代食育論		2

授業科目	単位	上数	
	必修	選択	
海外研修		2	
食品機能学		2	
食品製造加工学		2	
学校栄養指導論		2	
食品分析学		2	
社会福祉概論		2	
健康栄養学特論		2	
卒業演習		2	
<卒業研究>	4		

応用生物学部 食品栄養科学科 管理栄養科学専攻 履修方法(卒業の要件)

	初年次教	育科目	必修科目1単位			
	スキル教育科目		8単位以上			
全学	外国語教育科目		[英語4単位(必修科目2単位を含む)、日本 語スキル2単位、情報スキル2単位を含む]			
共	本美細度	人文リテラシー	12 単位以上			124 単位
通	教養課題 教育科目	社会リテラシー			22 単位	
教育科	教育行日	科学技術リテラシー			以上	
	リベラル	アーツ教育科目				
	特別課題教育科目					以上
	健康とスポーツ		必修科目を含めて1単位以上			
	スポーツ	活動				
学			専攻で定める必修科目を含めて	6 単位		
部教	学科・専攻関連科目			以上 102 単		
育科	市が市田		専攻で定める必修科目を含めて	91 単位 以上		
目	専攻専門科目		卒業研究 (必修)	以上		

[※] 授業科目の履修に関しては別に定める。

生命健康科学部 生命医科学科 教育科目

	777.	L- \\(\frac{1}{2}\).
授業科目	単位	
	必修	選択
【学部共通科目】		
生命科学入門		1
医科学入門	1	
生と死の文化人類学		2
リハビリテーション概論		1
生命工学入門		1
【生命健康科学基盤科目】		
(人体の構造と機能)		
解剖・組織学	2	
生理学	2	
生化学	2	
工心子 栄養治療学	2	1
木食印象子 生命物理化学		2
	1	2
分子生物学概論	1	
臨床心理学		2
(疾病と障害の病態及び医療)		
病理学	2	
臨床病理学		1
薬理学		1
微生物学	2	
免疫学	1	
疾病病態学概論	2	
疾病治療学概論	2	
生体防御学		1
遺伝・実験動物学		1
生涯発達看護論		1
(保健医療と社会)		1
公衆衛生学		2
環境衛生学		2
学校保健学		1
生命倫理学	1	1
	1	0
社会福祉学		2
【学科専門科目】		
(生命医科学(基礎))	_	
基礎生物学	2	
基礎化学	2	
基礎物理学		2
基礎数学		2
臨床化学		2
ゲノム科学・遺伝子操作論	2	
情報科学概論		1
生物化学分析学		1
睡眠医学		2
(生命医科学(複合))		
生体高次構築科学		1
微生物学概論		1
		1
細胞基礎科学		1
臨床検査総合管理学総論		2
臨床検査総合管理学各論		2

	畄石	 立数
授業科目	必修	選択
 品質保証管理学	7	2
臨床検査総論		1
病態臨床化学		1
輸血検査学		1
輸血・移植検査学		1
医療安全管理学		2
血液形態科学		1
臨床血液学		2
臨床生理学		2
放射線医学総論		2
(生命医科学(演習))		2
「病態解析医学演習		1
かぶがん 子頃 分子制御医科学演習		1
カード カード カード カード		1
元及・岡王子頃目 形態・病理学演習		1
/// // // // // // //		1
医用工于假育 (生命医科学技術総合実習)		1
(生叩医科子技術総合美音) 組織・病理学基礎実習	2	
	2	1
生体構築科学技術実習 生化学系基礎実習	0	1
	2	
分子生物学基礎実習	2	-1
分子分析先端科学技術実習	,	1
実験動物・基礎生理学実習	1	
微生物学実習		2
免疫学実習		1
環境衛生学実習		1
人体情報学実習		1
臨床検査総論実習		1
血液検査学実習		1
医療安全管理学実習		1
臨床生理学実習		2
(保健予防医科学)		
保健予防医科学総論		1
感染症予防医科学		1
医動物学		1
腫瘍医学		1
医療情報・経済学		1
精神医学		1
感染防御技術論		1
スポーツ医学		1
予防栄養学		1
保健予防創薬基礎学		1
(先端医用工学)		
生体力学		2
バイオメディカルマテリアル学		2
医療計測・情報学		2
医用機器学		2
先端医用工学実験		2
(総合演習・研究)		
インターンシップ A		1

授業科目	単位数		
技 来 村 日 	必修	選択	
インターンシップ B		2	
インターンシップ C		1	
臨床評価実習		1	
総合臨床実習A		3	
総合臨床実習B		8	
総合臨床演習		1	
卒業演習	4		
卒業研究	4		

生命健康科学部 生命医科学科 履修方法 (卒業の要件)

	初年次教	育科目	必修科目1単位			
	スキル教育科目		4 単位以上 [英語 4 単位(必修科目 2 単位を含む)を 含む。]			
	外国語教育科目					
全学		人文リテラシー				
共通	教養課題教育科目	社会リテラシー			21 単位	
全学共通教育科	教育行口	科学技術リテラシー	12 単位以上		以上	
	リベラル	アーツ教育科目				128 単
	特別課題	教育科目				位以上
	健康とスポーツ		必修科目を含めて1単位以上			
	スポーツ	活動				
学	学学部共通科目		学科で定める必修科目を含め 25 単位			
学部教育科目	生命健康	科学基盤科目	7	以上	94 単位 以上	
科目	学科専門科目		学科で定める必修科目を含め て	53 単位 以上		

[※] 授業科目の履修に関しては別に定める。

生命健康科学部 保健看護学科 教育科目

生命健康科字部 保健看護字科	教育和	半日
惊 柴 乜 口	単位数	
授業科目	必修	選択
【学部共通科目】		
生命科学入門	1	
医科学入門		1
生と死の文化人類学		2
リハビリテーション概論		1
生命工学入門		1
【生命健康科学基盤科目】		-
(人体の構造と機能)		
解剖学	2	
生理学	2	
生化学	2	
土記	1	
(疾病と障害の病態及び医療)	1	
臨床心理学	2	
病理学	2	
臨床病理学	4	1
- 東理学	2	1
微生物学	2	
版生物子 免疫学	2	1
元反子 疾病病態治療学 A	2	1
疾病病態治療学 B	2	
沃州州忠石原子 D (保健医療と社会)	2	
公衆衛生学	2	
環境衛生学	2	9
生命倫理学		2 1
社会福祉学	2	1
社会開催子 【学科専門科目】	2	
【子科等门科日】 (看護介入領域)		
看護学概論	9	
	2	
看護学概論演習 看護アセスメント実習	$1 \\ 1$	
看護倫理学概論	1	
人間関係論演習	1	
基礎看護技術 I (生活援助)	2	
基礎看護技術Ⅱ(治療支援)	2	
看護過程演習	2	
生涯保健看護学I(人のライフ	1	
サイクル)	,	
生涯保健看護学Ⅱ(家族の看護)	1	
在宅看護学 I (概論)	1	
在宅看護学Ⅱ(方法論)	2	
在宅看護学Ⅲ(演習)	1	
慢性期看護学Ⅰ(概論・回復期	2	
支援)		
慢性期看護学Ⅱ(セルフケア支	1	
援)		
急性期看護学Ⅰ(救急・クリテ	2	
ィカルケア看護)		
急性期看護学Ⅱ(周手術期看護)	1	
急性期・セルフケア支援実習	1	

	単位	计数
授業科目	必修	選択
老年看護学 I (概論)	1	
老年看護学Ⅱ(老年の疾病と看	2	
護)		
老年看護学Ⅲ (演習)	1	
小児看護学 I (概論)	1	
小児看護学Ⅱ(小児の疾病と看	2	
護)		
」 小児看護学Ⅲ(演習)	1	
母性看護学 I (概論)	1	
母性看護学Ⅱ(周産期および新	2	
生児の看護)	_	
日本 日	1	
精神看護学 I (概論・精神疾患	2	
と看護)	_	
1	1	
疾病治療看護演習	1	
地域保健看護学	1	
学校保健看護学	1	
産業保健看護学	1	1
健康教育学		2
公衆衛生看護学概論		1
公衆衛生看護活動展開論		1
公衆衛生看護管理論		1
公衆衛工有暖音/空間 公衆衛生看護学演習 I (対象別		1
保健活動)		1
公衆衛生看護学演習 II (地域診		2
断と施策化)		2
疫学・保健統計学 I (疫学・統	2	
計の基礎)	2	
n の 金融		2
計の応用)		2
保健医療福祉行政論 I (行政活	1	
動の基礎)	1	
勁ºク羞碇ク 保健医療福祉行政論Ⅱ(行政活		2
動の発展的知識)		۵
養護活動論		2
養護健康相談活動		2
(看護実践領域)		
生活援助臨地実習	1	
五百波の晶地大日	2	
在宅看護学臨地実習	2	
セルフケア支援臨地実習	2	
急性期看護学臨地実習	2	
継続的治療支援臨地実習	2	
高齢者ライフレビュー臨地実習	1	
老年看護学臨地実習	3	
小児看護学臨地実習	2	
母性看護学臨地実習	2	
精神看護学臨地実習	2	
	_	
i		

 授業科目	単位	立数
	必修	選択
公衆衛生看護学臨地実習I(保		4
健師基礎実習)		
公衆衛生看護学臨地実習Ⅱ(保		2
健師応用実習)		
統合看護臨地実習	2	
(看護発展領域)		
看護制度論	1	
看護マネジメント論	1	
エンドオブライフケア	1	
災害保健看護学	1	
国際保健看護学	1	
看護海外セミナー		2
総合看護論	2	
看護研究概論	2	
卒業研究	4	

生命健康科学部 保健看護学科 履修方法(卒業の要件)

	初年次教	育科目	必修科目1単位		
	スキル教育科目		6単位以上 「以放利日4単位、芸語スキルW・Wみび		
	外国語教	育科目	【必修科目4単位、英語スキルⅢ・Ⅳ及び 外国語教育科目から2単位以上】		
全学共通教育科目	券 美細題	人文リテラシー			
一 共 通	教養課題教育科目	社会リテラシー		17 単位 以上	
教育		科学技術リテラシー	8 単位以上		
科目	リベラルアーツ教育科目				124 単
	特別課題教育科目健康とスポーツスポーツ活動学部共通科目生命健康科学基盤科目学科専門科目				位以上
			必修科目を含めて1単位以上		
学部					
教育			学科で定める必修科目を含めて 106 単位以	上	
科 目					

[※] 授業科目の履修に関しては別に定める。

生命健康科学部 理学療法学科 教育科目

生命健康科字部 埋字療法字科	教育和	半日
	単位	立数
授業科目	必修	選択
【学部共通科目】	70 19	~2.1/ (
生命科学入門	1	
医科学入門	1	
生と死の文化人類学		2
リハビリテーション概論	1	
生命工学入門		1
【生命健康科学基盤科目】		
(人体の構造と機能 I)		
解剖・組織学	2	
生理学	2	
生化学	_	1
土記 栄養治療学		1
木食石原子 生命物理化学		2
分子生物学概論		1
(疾病と障害の病態及び医療)		
病理学	1	
臨床病理学		1
臨床心理学	1	
生涯人間発達論		1
薬理学	1	
微生物学		2
免疫学		1
疾病病態学概論		2
疾病治療学概論		2
(保健医療と社会)		_
公衆衛生学		2
環境衛生学		2
学校保健学		1
生命倫理学		1
社会福祉学		1
【理学療法学科・作業療法学科		
共通専門基礎科目】		
(人体の構造と機能Ⅱ)		
臨床解剖学	1	
臨床解剖学実習	1	
人体構造学演習	1	
体表解剖学実習	1	
臨床生理学	1	
臨床生理学実習	1	
運動学	2	
健康増進学		1
人間発達学	1	1
〈疾病と障害の成り立ち及び回	1	
復過程の促進)	٦.	
内科学	1	
外科学	1	
一般臨床医学	1	
臨床神経学	2	
精神医学	2	
老年医学	1	

	227	1.321
授業科目	単位	
	必修	選択
整形外科学	2	
小児科学	1	
臨床検査総論		1
放射線医学総論		2
スポーツ医学	1	
栄養と疾病予防	1	
臨床心理学演習		1
(リハビリテーション医学)		
リハビリテーション医学A(総	1	
論・神経系)		
リハビリテーション医学 B(運	1	
動器等)		
精神障害リハビリテーション	1	
リハビリテーション工学		1
(医療英語)		
医療英語 A(専門基礎系)		1
医療英語 B (理学・作業専門系)		1
【学科専門科目】		
(基礎理学療法学)		
理学療法の基礎 A	2	
理学療法の基礎 B	2	
運動学実習	1	
臨床運動学実習	1	
(理学療法管理学)		
理学療法管理学	2	
(理学療法評価学)		
理学療法評価学	2	
理学療法評価学演習	1	
理学療法評価学実習	1	
臨床理学療法評価学演習	1	
疾患別評価学実習	2	
(理学療法治療学)		
日常生活活動治療学	2	
日常生活活動治療学演習	1	
運動障害理学療法学	2	
中枢神経障害理学療法学	2	
内部障害理学療法学	2	
スポーツ外傷系理学療法学	2	
発達障害理学療法学	2	
運動器系理学療法学実習	1	
中枢神経系理学療法学実習	1	
内部障害・メタボリック科学演	1	
習		
スポーツ外傷系理学療法学演習	1	
発達障害理学療法学演習		1
物理療法学	1	
物理療法学実習	1	
義肢装具学	1	
義肢装具学演習	1	
(地域理学療法学)		

 授 業 科 目	単位	上数
	必修	選択
地域理学療法学	2	
地域リハビリテーション学演習		1
老年期障害理学療法学	1	
老年期障害理学療法学演習	1	
(臨床実習)		
臨床見学実習	1	
地域リハビリテーション実習	1	
臨床評価実習	5	
臨床総合実習	13	
(研究法)		
理学療法研究法		2
統計学		2
理学療法事例研究演習 A(内部		1
障害系)		
理学療法事例研究演習 B(筋骨		1
格障害系)		
理学療法事例研究演習 C(中枢		1
神経障害系)		
卒業研究	4	

生命健康科学部 理学療法学科 履修方法 (卒業の要件)

	初年次教育科目スキル教育科目		必修科目1単位		
			目 6 単位以上[英語 4 単位(必修科目 2 単位		
	外国語教	国語教育科目 を含む)、情報スキル入門2単位を含む。]			
全		人文リテラシー		21 単位 以上	
共通	教養課題教育科目	社会リテラシー			
全学共通教育科目		科学技術リテラシー	12 単位以上		
	リベラルアーツ教育科目				128 単 位以上
	特別課題教育科目				
	健康とスポーツ		必修科目を含めて1単位以上		
	スポーツ活動				
学	学部共通科目 学部 生命健康科学基盤科目 理学療法学科・作業療法 科 学科共通専門基礎科目				
部教			- 必修科目を含めて 14 単位以上	107 単位	
育科	理学療法学科・作業療法 学科共通専門基礎科目		必修科目を含めて 26 単位以上	以上	
目	学科専門	科目	必修科目を含めて 67 単位以上		

[※] 授業科目の履修に関しては別に定める。

生命健康科学部 作業療法学科 教育科目

生印度旅科子司 下未炼伍子科	羽 月 作	T []
惊 类 幻 口	単位	立数
授業科目	必修	選択
【学部共通科目】		
生命科学入門		1
医科学入門	1	
生と死の文化人類学	_	2
リハビリテーション概論	1	
生命工学入門	1	1
【生命健康科学基盤科目】		1
(人体の構造と機能 I)		
解剖・組織学	2	
生理学	2	
	2	1
生化学		1
栄養治療学		1
生命物理化学		2
分子生物学概論		1
(疾病と障害の病態及び医療)		
臨床心理学	1	
病理学	1	
臨床病理学		1
薬理学	1	
微生物学		2
免疫学		1
疾病病態学概論		2
疾病治療学概論		2
生涯人間発達論		1
(保健医療と社会)		
公衆衛生学		2
環境衛生学		2
学校保健学		1
生命倫理学		1
社会福祉学		1
【理学療法学科・作業療法学科		1
共通専門基礎科目】		
(人体の構造と機能Ⅱ)		
臨床解剖学	1	
臨床解剖学実習	1	
端水牌司子美百 体表解剖学及び実習	1	
体衣解剖子及び美音 臨床生理学	1	
協床生理学実習 協床生理学実習	1	
	1	-1
スポーツ医学		1
作業運動学入門	0	2
作業運動学	2	
作業運動学実習	1	
健康増進学		1
人間発達学	1	
(疾病と障害の成り立ち及び回		
復過程の促進)		
臨床心理学演習	1	
栄養と疾病予防	1	
内科学	1	
外科学	1	

	単位	ケ数
授業科目	必修	選択
一般臨床医学	1	
臨床神経学	2	
精神医学	2	
老年医学	1	
整形外科学	2	
小児科学	1	
臨床検査総論		1
放射線医学総論		2
(リハビリテーション医学)		
リハビリテーション医学 A(総	1	
論·神経系)		
リハビリテーション医学 B(運	1	
動器等)		
精神障害リハビリテーション	1	
リハビリテーション工学		1
(医療英語)		
医療英語 A (専門基礎系)		1
医療英語 B (理学·作業専門系)		1
【学科専門科目】		
(基礎作業療法学)		
作業療法学入門	1	
作業学講義	2	
作業学実習A(基礎)	1	
作業学実習 B(応用)	1	
(作業療法管理学)		
作業療法管理学 I	1	
作業療法管理学Ⅱ	1	
(作業療法評価学)		
運動障害評価学	2	
精神障害評価学	2	
運動障害評価学実習	1	
精神障害評価学実習	1	
発達期障害評価学	2	
発達期障害評価学実習	1	
(作業治療学)		
運動障害作業療法学	2	
運動障害作業療法学演習	1	
ハンドセラピー学		1
中枢神経障害作業療法学	2	
中枢神経障害作業療法学演習	1	
内部障害作業療法学	1	
高齢期障害作業療法学	1	
作業療法事例研究法	1	
精神障害作業療法学	2	
精神障害作業療法学演習	1	
認知・高次脳機能障害作業療法	1	
学		_
SST入門		1
発達期障害作業療法学 I	1	
発達期障害作業療法学Ⅱ	1	

الد علا تد	単位	立数
授業科目	必修	選択
発達期障害作業療法学演習	1	
装具作業療法学	2	
装具作業療法学演習		1
日常生活活動支援学	2	
日常生活活動支援学演習	1	
職業関連活動作業療法学	1	_
ジョブコーチ入門		1
(地域作業療法学)	_	
地域作業療法学	1	
高齢期障害地域作業療法学	1	
精神障害地域作業療法学	1	
発達期障害地域作業療法学	1	_
特別支援教育と作業療法		1
国際協力とリハビリテーション	_	1
生活環境論	1	
(臨床実習)	_	
作業療法入門実習	1	
臨床見学実習 A (I)	1	
臨床見学実習 A(Ⅱ)	1	
臨床見学実習 B	1	
臨床評価実習	3	
総合臨床実習A	8	
総合臨床実習 B	8	
(研究法)	4	
作業療法研究法	1	
作業療法研究法演習	1	0
統計学		2 1
身体障害作業療法事例研究法演習		1
百 精神障害作業療法事例研究法演		1
相种障害作業療法事例研先法典 習		1
百 高齢期障害作業療法事例研究法		1
		1
個百 発達期障害作業療法事例研究法		1
光度期降音作未然伝事例如九伝 演習		1
		1
演習		1
	4	
半未 例 九	4	

生命健康科学部 作業療法学科 履修方法(卒業の要件)

初年次教育科目		育科目	必修科目1単位				
	スキル教育科目		6 単位以上[英語 4 単位(必修科目 2 単位				
	外国語教育科目		を含む)、情報スキル入門2単位を含む。]				
全		人文リテラシー					
全学共通教育科目	教養課題教育科目	社会リテラシー		21 単位			
教育		科学技術リテラシー 12 単位以上	12 単位以上	以上			
科目	サリベラルアーツ教育科目 特別課題教育科目 健康とスポーツ スポーツ活動				128 単 位以上		
			健康とスポーツ		必修科目を含めて1単位以上		
学	学部共通科目 生命健康科学基盤科目		学部共通科目		・必修科目を含めて9単位以上		
学部教育科			必修符日を占めて9年位以上	107 単位			
育科	理学療法学科・作業療法 学科共通専門基礎科目		必修科目を含めて 25 単位以上	以上			
目	学科専門科目		必修科目を含めて 72 単位以上				

[※] 授業科目の履修に関しては別に定める。

生命健康科学部 臨床工学科 教育科目

工印度冰竹于印 岫水工于竹 等	以 月 们 日	
授業科目		立数
文 朱 们 口	必修	選択
【学部共通科目】		
生命科学入門		1
医科学入門	1	
生と死の文化人類学		2
リハビリテーション概論		1
生命工学入門	1	
【生命健康科学基盤科目】		
(人体の構造と機能 I)		
解剖・組織学	2	
生理学	1	
生化学	1	
- 1	1	1
生命物理化学		2
分子生物学概論		1
グリエ初子似冊 (疾病と障害の病態及び医療 I)		1
(疾病と障害の病態及の医療 1) 病理学	1	
	1	1
	-1	1
薬理学	1	0
微生物学	_	2
免疫学	1	
疾病病態学概論		2
疾病治療学概論		2
生体防御学		1
遺伝・実験動物学		1
生涯人間発達論		1
臨床心理学		1
(保健医療と社会 I)		
公衆衛生学	2	
環境衛生学		2
学校保健学		1
生命倫理学	1	
社会福祉学		1
【学科専門基礎科目】		
(人体の構造と機能Ⅱ)		
基礎医学実習	1	
臨床生理学	1	
(疾病と障害の病態及び医療Ⅱ)		
臨床薬理学		1
臨床微生物学		1
内科学	1	
内分泌·腎臟内科学	1	
臨床血液学		1
外科学	1	
一般臨床医学		1
臨床神経学		2
老年医学		1
小児科学		1
救急医学	1	1
チーム医療概論	1	
放射線医学総論	2	
//入7 1 /// // // // // // //		

	単布	立数
授業科目	必修	選択
臨床検査総論	1	
(保健医療と社会Ⅱ)		
感染症予防医科学		1
医療情報経済学		1
(臨床工学の基礎)		
臨床工学のための基礎物理学	2	
臨床工学のための基礎数学	2	
応用数学	1	
電気工学I	2	
電気工学Ⅱ	2	
電磁気工学	_	1
電子工学I	2	
電子工学Ⅱ	-	2
基礎工学実習	1	
電気工学実習 電子工学実習	1	
機械工学	1 2	
機械工子 システム・制御工学	$\frac{2}{1}$	
ラステム・前御工子 情報処理工学 I	$\frac{1}{2}$	
情報処理工学Ⅱ	∠	1
情報処理工学実習	1	1
バイオメディカルマテリアル学	1	2
臨床工学概論	2	
(医療英語)		
医療英語 A (専門基礎系)		1
医療英語 B (臨床工学専門系)	1	
【学科専門科目】		
(生体・医用工学)		
医用材料工学	1	
生体力学	1	
物性工学	1	
計測工学	2	
(医用機器学及び臨床支援技		
術) 医用治療機器学 A(治療機器)	0	
医用治療機器学 B(手術用機器)	2 1	
医用治療機器学実習	1	
生体計測装置学	1	
生体計測装置学実習	1	
臨床支援技術学	1	
医用生体学演習	1	
医療関係法規	1	
(生体機能代行技術学)		
人工心肺装置学 A (基礎·原理·	2	
操作方法)		
人工心肺装置学 B (心筋保護・	1	
補助循環・自己血回収)		
人工心肺装置学実習	1	
血液浄化装置学 A(血液透析・	2	
腹膜透析)		

15 All 17 F	単位	立数
授業科目	必修	選択
血液浄化装置学 B (血漿交換・ 吸着療法)	1	
血液浄化装置学実習	1	
人工呼吸装置学 A (種類・原理・	2	
構造)		
人工呼吸装置学 B (周辺機器・	1	
患者管理)		
人工呼吸装置学実習	1	
(医療安全管理学)		
感染防御技術論	1	
医用機器安全管理学 A(医用電	2	
気機器、医療ガスの安全管理)		
医用機器安全管理学 B(システ	1	
ム安全・電磁環境)		
医用機器安全管理学実習	1	
(臨床実習)		
臨床工学実践演習	1	
臨床実習 A(血液浄化療法)	2	
臨床実習 B(循環器)	1	
臨床実習 C(呼吸療法)	1	
臨床実習 D(治療機器・医療機	1	
器管理業務)		
臨床実習 E(治療機器・医療機	1	
器管理業務)		
(演習・研究)		
ME 技術演習	1	
総合基礎医学特論	2	
総合基礎工学特論	2	
臨床工学特論	2	
卒業研究	4	

生命健康科学部 臨床工学科 履修方法 (卒業の要件)

	初年次教育科目 スキル教育科目 外国語教育科目		必修科目1単位		
			4 単位以上[央前4 単位(必修符日 2 単位)		
全学		人文リテラシー		21 単位 以上	
全学共通教育科目	教養課題 教育科目	社会リアフジー			
教育		科学技術リテラシー	学技術リテラシー 12 単位以上		
朴 目 	リベラルアーツ教育科目 特別課題教育科目				128 単 位以上
	健康とスポーツ		必修科目を含めて1単位以上		
	スポーツ活動				
学	学部共通	科目	・必修科目を含めて 12 単位以上		
学部教育科	生命健康科学基盤科目		必修科目を召めて 12 単位以上	107 単位	
育科	学科専門	基礎科目	必修科目を含めて 33 単位以上	以上	
目	学科専門	—————— 科目	必修科目 49 単位		

[※] 授業科目の履修に関しては別に定める。

生命健康科学部 スポーツ保健医療学科 教育科目

工师使家们于即 八	単位			単位	ケ米/r
授 業 科 目		選択	授 業 科 目	必修	選択
	业 修	迭八	産婦人科学	必修	_ 選択 1
【字部共通符日】 生命科学入門		1			1
	1	1	MMM中子 放射線医学総論		$\frac{1}{2}$
医科学入門	1	0			
生と死の文化人類学		2	臨床検査総論		1
リハビリテーション概論		1	(保健医療に関わる救急医学)		
生命工学入門		1	救急医学 A	2	
【生命健康科学基盤科目】			救急医学 B		2
(人体の構造と機能)			救急医学 C		1
解剖・組織学	2		救急救命模擬実習 A		2
生理学	1		救急救命模擬実習 B		2
生化学	1		救急救命模擬実習 C		2
栄養治療学	1		救急救命模擬実習 D		2
生命物理化学		2	救急救命模擬実習 E		2
分子生物学概論		1	救急救命模擬実習 F		2
臨床心理学		1	スポーツ医学	2	
(疾病と障害の病態及び医療)			スポーツ障害等予防法実習	1	
病理学	1		救急関連施設見学実習		1
臨床病理学	_	1	救急医学臨床実習 A		2
薬理学	1	_	救急医学臨床実習 B		2
微生物学	1	2	(保健医療の基本)		
版工物子 免疫学	1	2	人間関係学概論		2
元及子 疾病病態学概論	1	2	予防医療総論	2	2
疾病治療学概論		2	「例医療秘論 健康管理・増進学	2	
生体防御学		1	保健心理学	2	0
遺伝・実験動物学		1	健康栄養医学	0	2
(保健医療と社会)			生活不活発者の保健学	2	
公衆衛生学	2		高齢者保健論	1	
環境衛生学		2	ライフサイクル保健論	2	_
学校保健学		1	保健医療教育論		2
生命倫理学	1		地域保健医療支援技術演習		1
社会福祉学		1	(保健医療のための健康運動の		
生涯発達看護論	1		理論)		
【学科専門科目】			人体の構造と機能入門		2
(保健医療を支える医学の基礎)			生涯スポーツ論	2	
生体力学		2	運動処方論	2	
運動器バイオメカニクス		1	健康運動トレーニング論	2	
臨床解剖学		1	運動生理学	2	
臨床生理学		1	健康運動コーチング論	2	
障害者生理学		1	生体計測論・実技		1
臨床薬理学		1	スポーツマネジメント論	2	
臨床微生物学		1	健康運動上級コーチング論		2
(保健医療に関わる臨床医学の		_	(保健医療のための健康運動の		_
基本)			実践指導)		
内科学	2		コンディショニング実技	1	
外科学	1		トレーニング実技	1	
臨床神経学	1	2	パフォーマンスの科学	1	1
端床秤醛子 精神医学	2		クターマンスの科子 健康運動指導実技		1
		-1			1
老年医学		1	健康運動指導論		2
整形外科学	2	_	運動処方の理論・実技		1
小児科学		1	レクリエーション支援論		2

	1	
 授 業 科 目	単位	上数
技 来 村 日 	必修	選択
水中運動実技	1	
エアロビック指導論		2
エアロビック指導実技		1
障害者健康運動指導論・実技		1
水泳指導論		2
水泳指導実技		1
レクリエーション支援実技		2
(保健医療英語)		
保健医療英語		2
(演習・研究)		
海外スポーツ保健医療セミナー		2
野外スポーツ保健医療実習		1
総合スポーツ保健医療学演習	1	
卒業研究	4	

生命健康科学部 スポーツ保健医療学科 履修方法(卒業の要件)

	初年次教	育科目	必修科目1単位			
	スキル教	育科目	4単位以上	(++, A+.) +		
	外国語教育科目		[英語 4 単位(必修科目 2 単 含む。]	位を召む) を		
全	#/ }/- 3m n =	人文リテラシー				
共通	教養課題教育科目	社会リテラシー				
教育	全 学 共 通 教育科目 社会リテラシー 科学技術リテラシー リベラルアーツ教育科目		 12 単位以上	21 単位 以上	128 単 位以上	
科 目	リベラルアーツ教育科目					
	特別課題教育科目					
	健康とス	ポーツ	必修科目を含めて1単位以上			
	スポーツ活動					
学部	学部共通科目		・必修科目を含めて	13 単位以上		
学部教育科	生命健康	科学基盤科目	必形料日を占めて	19 毕祉从上	87 単位 以上	
科目	学科専門	科目	必修科目を含めて	47 単位以上		

[※] 授業科目の履修に関しては別に定める。

現代教育学部 幼児教育学科 教育科目

2010数百子的 初九数百子名 4	以月17日	
授業科目		上数
	必修	選択
【学部共通科目】		
(基礎科目)		
教育研究入門 A	2	
教育研究入門 B	2	
多文化共生と教育		2
人権教育論		2
教育統計学基礎		2
教育統計学		2
教育ドラマ論		2
キャリアデザイン論		2
レクリエーション理論		2
生涯学習論		2
(実践科目)		_
教育ドラマ演習		2
地域フィールドスタディ		2
教育データ解析		2
レクリエーション演習		2
器楽演奏実技		1
インターンシップA		1
インターンシップ B		2
		$\frac{2}{1}$
インターンシップ C		1
【学科専門科目】		
(基幹科目)		
幼児教育課題研究 A	2	
幼児教育課題研究 B	2	
教職論	2	
教育原理	2	
教育心理学	2	
保育原理	2	
保育の心理学		2
子ども家庭支援の心理学		2
子どもの理解と援助		1
社会福祉		2
子ども家庭福祉		2
社会的養護 A		2
社会的養護 B		1
子ども家庭支援論		2
子どもの保健		2
子どもの健康と安全		1
子どもの食と栄養A		1
子どもの食と栄養 B		1
乳児保育		2
乳児保育演習		1
特別支援教育(幼児)		2
障害児保育 A		1
障害児保育B		1
子育て支援		1
(発展科目)		_
教育方法学	2	
教育と社会		2
シュクロウ	<u> </u>	1

授業科目	単位	立数
1文 来 行 日	必修	選択
教育課程と保育の計画		2
幼児理解と教育相談		2
表現活動 (造形)		1
表現活動(身体)		1
表現活動(音楽)A		1
表現活動(音楽)B		1
言葉と生活		1
幼児造形		1
健康と体育		1
人間関係と生活		1
幼児音楽		1
保育内容指導(健康)		1
保育内容指導(人間関係)		1
保育内容指導(言葉)		1
保育内容指導(音楽表現)		1
保育内容指導(造形表現)		1
保育内容指導(環境)		1
保育総合活動(音・身・造)		2
保育内容総論		1
環境と生活		1
現代食育論		2
子どもの遊び研究		2
子どもの外国語研究		2
保育・教育インターンシップ		1
保育・教職実践演習(幼稚園)		2
(実習科目)		
教育実習指導(幼稚園)		1
教育実習 (幼稚園)		4
保育実習指導A		1
保育実習指導 B		1
保育実習I		4
保育実習指導C		1
保育実習Ⅱ		2
保育実習指導D		1
保育実習Ⅲ		2
<卒業研究>	4	
1	i	1

現代教育学部 幼児教育学科 履修方法(卒業の要件)

	初年次教	育科目		必修科目1単位		
	スキル教	育科目		6 単位以上 下記①~③の全てを含む ①英語必修科目 2 単位		
全学共	外国語教育科目			②英語スキルⅢ・IV・ポルトガル語入門 I・II から 2 単位 ③日本語スキル・情報スキルから 2 単位		
通	教養課題		リテラシー		22 単位	
教育	教育科目		リテラシー 術リテラシー	 14 単位以上	以上	
科	リベラルアーツ教育科目			14 单位以上		
目	特別課題教育科目					124 単位 以上
	健康とス	速康とスポーツ 必修科目を含めて1単位以上				
	スポーツ活動					
3)4	学部共通科目		基礎科目	 必修科目4単位を含めて 10 単位以上		
学部	于即火処	7FT E4	実践科目	2.16年1日4月日4月日4日10年10年110年110年110月11日4月11日4月11日4月11日4日11日11日11日11日11日11日11日11日11日11日11日11		
教			基幹科目	必修科目 12 単位を含めて 24 単位以上	86 単位	
育	 学科専門	4) □	発展科目	必修科目2単位を含めて26単位以上	以上	
科目	子/针导[7] 	11 H	実習科目			
			卒業研究	4 単位		

[※] 授業科目の履修に関しては別に定める。

現代教育学部 現代教育学科 現代教育専攻 教育科目

为(教育于即 为(教育于有 多	単位		秋 月 1 日	単位	マ 米ケ
授 業 科 目	必修		授業科目		
	业修	選択	45 45 75	必修	選択
【学部共通科目】			観察実習		1
(基礎科目)	0		教職実践演習(小・中)		2
教育研究入門 A	2		(小学校教育科目)		
教育研究入門 B	2		国語科研究		1
多文化共生と教育		2	社会科研究		1
人権教育論		2	算数科研究		1
教育統計学基礎		2	理科研究		1
教育統計学		2	生活科研究		1
教育ドラマ論		2	音楽科研究		1
キャリアデザイン論		2	体育科研究		1
レクリエーション理論		2	家庭科研究		1
生涯学習論		2	図画工作研究		1
(実践科目)			外国語研究		1
教育ドラマ演習		2	国語科教育法		2
地域フィールドスタディ		2	社会科教育法		2
教育データ解析		2	算数科教育法		2
レクリエーション演習		2	理科教育法		2
器楽演奏実技		1	生活科教育法		2
インターンシップ A		1	音楽科教育法		2
インターンシップ B		2	体育科教育法		2
インターンシップ C		1	家庭科教育法		2
【学科共通科目】			図画工作教育法		2
教職原論	2		外国語教育法		2
教育学概論	2		道徳教育の指導法 A		2
教育心理学概論	2		生徒指導・進路指導 A		2
発達心理学		2	特別活動指導法A		1
発達臨床心理学		2	総合的な学習の時間の指導法 A		1
対人関係論		2	教育相談 A		2
国際理解教育論		2	小学校教育実習指導		1
学校制度論		2	小学校教育実習		4
現代社会と教育A		$\stackrel{-}{2}$	(中学校理科教育科目)		
現代社会と教育B		2	環境生物学入門		2
キャリア開発 A		1	地球科学教育論		2
キャリア開発 B		1	科学教育演習 A (中学物理)		1
現代教育課題研究A	2	_	科学教育演習 B (中学化学)		1
現代教育課題研究B	2		科学教育演習 C (中学生物)		1
【専攻専門科目】	1		科学教育演習 D (中学地学)		1
(基幹科目)			理科教育法I(中学校)		2
教育方法学 A		1	理科教育法Ⅱ(中学校)		2
教育方法学 B		1	理科教育法Ⅲ(中学校)		2
教育ガ仏子 B 特別ニーズ教育 A		1	理科教育法IV(中学校)		2
トラスタース ト特別ニーズ教育 B		1	理科概論A(中学物理)		2
対加二 ハ教育 B 教育課程論 A		2	理科概論 B (中学化学)		2
教育課程論 B		2	理科概論 C(中学生物)		2
教育 R 在 B B B B B B B B B B B B B B B B B B		2	理科概論 D(中学地学)		2
技術の活用を含む)		4	理科実験A(中学物理)		1
技術の福用を含む 教育の方法と技術 B(情報通信		2	理科実験 B(中学化学)		1
教育の方伝と技術 B (情報通信 技術の活用を含む)		4	理科実験 C (中学生物)		1
投州の石州を占む 絵画表現基礎		1	理科実験 D(中学地学)		1
		1	理科特講A(中学物理)		2
観宗天白汨ዓ		1	垤符付碑 A(甲子物理)		۷

Les Alle est	単位	7.数
授業科目	必修	選択
理科特講 B (中学化学)		2
理科特講 C (中学生物)		2
理科特講 D (中学地学)		2
道徳教育の指導法 B		2
生徒指導·進路指導 B		2
特別活動指導法 B		1
総合的な学習の時間の指導法 B		1
教育相談 B		2
中学校教育実習指導		1
中学校教育実習		4
(特別支援教育科目)		
特別支援教育総論		2
知的障害児の心理		2
知的障害児の生理・病理		2
知的障害児の教育 A		2
知的障害児の教育 B		2
肢体不自由児の生理と病理		1
病弱児の生理と病理		1
肢体不自由児の心理		1
病弱児の心理		1
肢体不自由児の教育		2
病弱児の教育		2
重複障害児の心理と教育		1
発達障害児の教育		1
視覚障害児の心理と教育		1
聴覚障害児の心理と教育		1
特別支援学校教職インターンシ		1
ップ		
特別支援学校教育実習指導		1
特別支援学校教育実習		2
<卒業研究>	4	

現代教育学部 現代教育学科 現代教育専攻 履修方法(卒業の要件)

	初年次教	育科	·目	必修科目1単位		
	スキル教育科目			6 単位以上 下記①~③の全てを含む ①英語必修科目 2 単位		
全学共	外国語教育科目		-目	②英語スキルⅢ・IV・ポルトガル語入門 I・II から2単位③日本語スキル・情報スキルから2単位		
通	教養課題	人	文リテラシー		16 単位	
教	教育科目	社:	会リテラシー		以上	
育	3/11/11	科	対がリテラシー	8 単位以上		
科目	リベラル	ベラルアーツ教育科目				124 単位
	特別課題教育科目		科目			
	健康とスポーツ			必修科目を含めて1単位以上		以上
	スポーツ活動					
	学部共通和	江日	基礎科目	必修科目4単位を含めて10単位以上		
	于即火地小	実践科目				
学如	学科共通和	斗目		必修科目 10 単位を含めて 16 単位以		
部教			基幹科目	上	84 単位	
育			小学校教育科目		以上	
科目	専攻専門和	斗目	中学校理科教育科目			
			特別支援教育科目			
			卒業研究	4 単位		

[※] 授業科目の履修に関しては別に定める。

現代教育学部 現代教育学科 中等教育国語数学専攻 教育科目

2010数百子时 2010数百子日	一寸秋日		了一切,我有们 L	W 1	. Mer
授業科目	単位		授業科目	単位	
汉 朱 们 日	必修	選択	及朱和日	必修	選択
【学部共通科目】			中学校教育実習		4
(基礎科目)			教職実践演習(中学校)		2
教育研究入門 A	2		(中学校国語教育科目)		
教育研究入門 B	2		国語科教育法 I (中学校)		2
多文化共生と教育	2	2	国語科教育法Ⅱ (中学校)		2
人権教育論		2	国語科教育法Ⅲ(中学校)		2
教育統計学基礎		2	国語科教育法IV(中学校)		2
教育統計学		2	日本語学概論		2
教育ドラマ論		2	日本語音声学		2
キャリアデザイン論		2	日本語文法論		2
レクリエーション理論		2	日本語教育学		2
生涯学習論		2	言語表現法演習 A		1
(実践科目)			言語表現法演習 B		1
教育ドラマ演習		2	日本語学研究法		2
地域フィールドスタディ		2	日本近現代文学概論		2
教育データ解析		2	日本古典文学概論		2
レクリエーション演習		2	日本近現代文学演習		1
器楽演奏実技		1	日本古典文学演習		1
インターンシップ A		1	日本近現代文学研究法		2
インターンシップ B		2	日本古典文学研究法		2
インターンシップ C		1	漢文学概論		$\stackrel{-}{2}$
【学科共通科目】		1	漢文学演習		1
教職原論	2		書写・書道 A		2
教育学概論	2		書写・書道B		2
教育心理学概論	2		日本語学講読		2
発達心理学	2	2	日本語教授法		2
発達臨床心理学		2	近代文学講読 A		2
対人関係論		2	近代文字講読 B		2
国際理解教育論		2			2
1			古典講読A		
学校制度論		2	古典講読B		2
現代社会と教育A		2	現代文学講読		2
現代社会と教育B		2	日本文化論 A		2
キャリア開発A		1	日本文化論 B		2
キャリア開発B		1	国語教育課題研究		2
現代教育課題研究A	2		(中学校数学教育科目)		
現代教育課題研究B	2		数学科教育法 I (中学校)		2
【専攻専門科目】			数学科教育法Ⅱ (中学校)		2
(基幹科目)			数学科教育法Ⅲ(中学校)		2
教育方法学 (中学校)		1	数学科教育法Ⅳ (中学校)		2
特別ニーズ教育(中学校)		1	数学基礎演習		1
教育課程論 (中学校)		2	代数学概論		2
教育の方法と技術(情報通信技		2	代数学演習		1
術の活用を含む)			代数学		2
道徳教育の指導法 (中学校)		2	代数学研究法		2
生徒指導・進路指導(中学校)		2	幾何学概論		2
特別活動指導法(中学校)		1	幾何学		2
総合的な学習の時間の指導法		1	幾何学演習		1
(中学校)		_	幾何学研究法		2
教育相談(中学校)		2	解析学概論		2
中学校教育実習指導		1	解析学演習		1
T		1	/ 计例 于伊 白		1

la Michael III	単位	力数
授業科目 	必修	選択
解析学		2
解析学研究法		2
確率統計概論		2
確率統計演習		1
確率統計研究法		2
計算機演習 A		1
計算機演習 B		1
代数学続論		2
幾何学続論		2
計算機概論		2
代数学応用		2
数理解析入門		2
英語で数学		2
数学教育課題研究		2
離散数学		2
情報数理解析		2
物理数学		2
<卒業研究>	4	

現代教育学部 現代教育学科 中等教育国語数学専攻 履修方法(卒業の要件)

	初年次教	育科	·目	必修科目1単位		
	スキル教育科目			6単位以上 下記①~③の全てを含む ①英語必修科目2単位		
全学共	外国語教育科目		- 目	②英語スキルⅢ・Ⅳ・ポルトガル語入門 I・Ⅱから2単位 ③日本語スキル・情報スキルから2単位		
通	教養課題	人	文リテラシー		16 単位	
教	教育科目	社:	会リテラシー		以上	
育	3 A A 11 A	科	対がリテラシー	8 単位以上		
科目	リベラルアーツ教育科目		ツ教育科目			124 単位
	特別課題教育科目		· 科目			
	健康とスポーツ			必修科目を含めて1単位以上		以上
	スポーツ活動					
	学 4 升 涌 4	部共通科目 実践科目		・必修科目4単位を含めて10単位以上		
	子叩天进作			必修符日4単位を占めて10単位以上		
学	学科共通和	斗目		必修科目 10 単位を含めて 16 単位以		
部教			基幹科目	上	84 単位	
育			中学校国語教育	j		
科	 専攻専門和	江日	科目			
目	42411	1 14	中学校数学教育	:校数学教育		
			科目			
			卒業研究	4 単位		

[※] 授業科目の履修に関しては別に定める。

理工学部 数理・物理サイエンス学科 教育科目

	当点	立数	,]
授 業 科 目	必修	選択	
	北修	迭扒	
【埋工系教育固符日】 (共通基礎科目)			
数学基礎		9	
物理概論		2 2	
□物理似論□微分積分学Ⅰ	9		
做分積分子 I 微分積分学 II	3 3		
線形代数	3		
基礎力学	3 2		
基礎化学	2	2	
盆硬化子	2	2	
基礎化学実験	2	2	
(号门基盤符日) ベクトル解析		2	
微分方程式		2	
		2	
応用数子 基礎電磁気学	2	2	
	2	9	
7		2	
基礎材料化学 生物と工学		2 2	
生物とエ子 応用線形代数		2	
数理科学 A 数理科学 B		2 2	
剱理付子 B データサイエンスの基礎	0	2	
プータリイエンスの基礎 問題解決のためのアルゴリズム	2		
問題解伏のためのアルコリスム とデータ構造		2	
とブーダ構造 人工知能アルゴリズムの活用			
八上知能 ルコリスムの活用 データサイエンスプログラミン		2	
ブータリイエンスプログラミン グ		1	
(複合領域科目) 管理工学			
軍工子 環境工学		2	
^{''}		2 2	
工学倫理 社会と工学		2	
		2 2	
企業と工学			
物質の量子論的基礎と量子コンピュータ入門		2	
AI のための脳神経科学 インターンシップ A		2	
-		1 2	
インターンシップ B		2	
【学科専門教育科目】			
(理工学一般)			
生物概論		2	
実験計測学概論		2	
電気・電子回路		2	
放射線科学		2	
計算機概論	2	_	
数値計算演習		1	
科学英語		2	
サイエンスコミュニケーション		2	

	畄石	 立数
授業科目	必修	選択
先端数理・物理サイエンス	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	2
サイエンスゼミナール	2	2
(数学)		
(%)		2
代数学演習		1
代数学続論		2
代数学続論演習		1
集合と位相		2
集合と位相演習		1
解析学		2
解析学演習		1
解析学続論		2
解析学続論演習		1
応用解析学 A		2
応用解析学演習 A		1
応用解析学 B		2
応用解析学演習 B		1
心不解析于演員 D 幾何学		2
幾何字演習		1
幾何学続論		2
幾何学続論演習		1
		2
確率論演習		1
応用数理科学		2
数理科学講読		1
数理サイエンス総合講義		2
(物理学)		2
物理数学		2
物理学実験		2
物理科学実験 A		2
物理科学実験B		2
基礎力学演習	1	2
熱力学	1	2
熱力学演習		1
力学		2
/ · 力学演習		1
基礎電磁気学演習	1	1
電磁気学		2
電磁気学演習		1
振動と波動		2
統計力学		2
統計力学演習		1
量子力学 I		2
量子力学演習 I		1
量子力学Ⅱ		2
重		1
物理光学		2
プラズマ物理学		2
流体・連続体力学		2
素粒子・原子核		2

	単位	立数
授業科目 	必修	選択
(物質科学)		
化学基礎		2
有機化学		2
無機固体化学		2
半導体物理		2
固体物理学		2
電気化学		2
材料科学概論		2
(地学)		
地学概論		2
地球物理学A		2
地球物理学 B		2
宇宙物理学A		2
宇宙物理学B		2
<卒業研究>	4	

理工学部 数理・物理サイエンス学科 履修方法(卒業の要件)

	初年次教	育科目	必修科目1単位		
	スキル教	育科目	8単位以上 [英語4単位(必修科目2単位を含む)、		
全学共	外国語教	育科目	日本語スキル2単位、情報スキル2単位を 含む]		
通	李 #	人文リテラシー		24 単位	
教	教養課題教育科目	社会リテラシー		以上	
育	教育符日	科学技術リテラシー	14 単位以上	<u> </u>	
科	リベラル	アーツ教育科目			124 単位
目	特別課題	教育科目			以上
	健康とス	ポーツ	必修科目を含めて1単位以上		
	スポーツ	活動			
学部	理工系教	育圏科目	学科で定める必修科目を含めて		
教育科	学科専門教育科目		学科で定める必修科目・選択必修科目を含 めて	80 単位 以上	
目			卒業研究(必修)		

[※] 授業科目の履修に関しては別に定める。

理工学部 AI ロボティクス学科 教育科目

左工手師 MI ロボティッパ手相	秋月/	
授業科目		立数
1久 木 竹 日	必修	選択
【理工系教育圏科目】		
(共通基礎科目)		
数学基礎		2
物理概論		2
	9	
微分積分学 I	3	
微分積分学Ⅱ	3	
線形代数	3	
基礎力学		2
基礎化学		2
創造理工学実験	2	
基礎化学実験		2
(専門基盤科目)		
ベクトル解析		2
微分方程式		2
	0	2
応用数学	2	
基礎電磁気学		2
熱学		2
基礎材料化学		2
生物と工学		2
応用線形代数		2
数理科学A		2
数理科学B		2
データサイエンスの基礎		2
問題解決のためのアルゴリズム		2
		4
とデータ構造		
人工知能アルゴリズムの活用		2
データサイエンスプログラミン		1
グ		
(複合領域科目)		
管理工学		2
環境工学		2
安全工学		2
工学倫理		2
		$\frac{2}{2}$
社会と工学		
企業と工学		2
物質の量子論的基礎と量子コン		2
ピュータ入門		
AI のための脳神経科学	2	
インターンシップ A		1
インターンシップ B		2
【学科専門教育科目】		
(理学)		
. — • .		
初等力学	2	
マルチボディダイナミクスⅠ	2	
マルチボディダイナミクスⅡ		2
(工学設計)		
図学入門	2	
ロボット工学概論	2	
材料工学	2	
ロボット製図		1
ロルツト製凶		1

	単位	立数
授業科目	必修	選択
$CAD \cdot CAM \cdot CAE$		2
加工学		2
(プログラミング)		
ロボットプログラミング入門	2	
ロボットプログラミング I	2	
ロボットオペレーティングシス	2	
テム		
ロボットプログラミングⅡ	2	
(制御・信号処理)		
電気回路	2	
アナログ電子回路	2	
デジタル電子回路	2	
自動制御工学	2	0
シーケンス制御	0	2
制御回路設計	2	
デジタル信号処理	2	0
センサ工学 アクチュエータ工学		2 2
ノクナユエータエ子 ロボットモーション	2	2
ロボットインテリジェンス	2	2
ヒューマンロボットインタラク		2
ション		2
音声情報処理		1
ロボットフロンティア		2
(AI)		
ロボットビジョン	2	
機械学習		2
データサイエンス活用		1
深層学習		2
(創成科目)	0	
ロボティクス入門I	2	
ロボティクス入門 II 加工実習	2	
加工夫首 プロジェクト演習 A	2 1	
プロジェクト演習 B	1	
ロボティクス演習	1	
ゼミナール A	1	
ゼミナール B	1	
リフレッシュ英語 A	1	1
リフレッシュ英語B		1
英語コミュニケーション A	1	-
英語コミュニケーション B	1	
自主活動A	_	1
自主活動 B		1
<卒業研究>	4	

理工学部 AI ロボティクス学科 履修方法(卒業の要件)

	初年次教	育科目	必修科目1単位		
	スキル教	育科目	8 単位以上		
全学	外国語教	育科目	[英語スキルⅠ・Ⅱ科目2単位を含む]		
共通教育科目	教養課題 教育科目 リベラル 特別課題	在会リテラシー 科学技術リテラシー アーツ教育科目	14 単位以上	24 単位 以上	124 単位 以上
	健康とスポーツ		必修科目を含めて1単位以上		
	スポーツ	活動			
学部	理工系教	育圏科目	16 単位以上		
教育科目	学科専門	教育科目	64 単位以上 【卒業研究(必修)を含む】	80 単位 以上	

[※] 授業科目の履修に関しては別に定める。

理工学部 宇宙航空学科 教育科目

连工子部 于田机至子科 教育A		1.387
授業科目		立数
	必修	選択
【理工系教育圏科目】		
(共通基礎科目)		
数学基礎		2
物理概論		2
微分積分学 I	3	
微分積分学Ⅱ	3	
線形代数	3	
基礎力学		2
基礎化学		2
創造理工学実験	2	
基礎化学実験		2
(専門基盤科目)		
ベクトル解析		2
微分方程式		2
**************************************		2
応用数学		
基礎電磁気学		2
熱学		2
基礎材料化学		2
生物と工学		2
応用線形代数		2
数理科学 A		2
数理科学 B		2
データサイエンスの基礎		2
問題解決のためのアルゴリズム		2
とデータ構造		
人工知能アルゴリズムの活用		2
データサイエンスプログラミン		1
グ		_
´(複合領域科目)		
管理工学		2
環境工学		2
		2
/\ ,		
工学倫理		2
社会と工学		2
企業と工学		2
物質の量子論的基礎と量子コン		2
ピュータ入門		
AI のための脳神経科学		2
インターンシップ A		1
インターンシップ B		2
【学科専門教育科目】		
(理学)		
力学基礎	2	
力学基礎演習	1	
振動・波動学	-	2
電磁気学	2	
電磁スチ (空力・推進)		
(全力・推進) 流体力学	9	
	2	
流体力学演習	1	0
空気力学		2

155 AH 471 11	単位	立数
授業科目	必修	選択
熱力学	2	
熱力学演習	1	
伝熱工学		2
宇宙航空プラズマ理工学		2
推進工学		2
(材料・構造・生産工学)		
材料力学	2	
材料力学演習	1	
構造力学		2
構造力学演習		1
航空宇宙材料		2
生産システム		2
(制御・飛行力学・宇宙)		
制御工学	2	
制御工学演習	1	
飛行力学		2
電気・電子回路	2	
電気・電子回路演習	1	
数値解析演習		1
メカトロニクス		2
宇宙航空デバイス		2
ソフトウエア		2
宇宙空間情報応用		2
(航空宇宙機設計)		
航空宇宙機設計演習	1	
ロケットシステム		2
宇宙機システム		2
航空機システム		2
機械製図演習	1	
CAD 演習		1
(総合宇宙航空理工学)		
宇宙航空理工学概論	2	
機械工作実習 A	2	
機械工作実習 B	2	
宇宙航空理工学実験 A	1	
宇宙航空理工学実験 B	1	
宇宙航空理工学特別講義A		1
宇宙航空理工学特別講義B		1
先端宇宙航空理工学		2
工場見学	1	
工場実習		1
宇宙航空理工学科学技術英語A	2	
宇宙航空理工学科学技術英語 B		2
宇宙航空理工学科学技術英語C		2
<卒業研究>	4	

理工学部 宇宙航空学科 履修方法 (卒業の要件)

	初年次教	育科目	必修科目1単位		
	スキル教	育科目	8単位以上 [英語4単位、日本語スキル2単位、情報ス		
全学业	外国語教	育科目	キル2単位を含む]		
共通	杂 美細晦	人文リテラシー		24 単位	
教	教養課題教育科目	社会リテラシー		以上	
育	秋月17日	科学技術リテラシー	14 単位以上	<u> </u>	
科	リベラル	アーツ教育科目			124 単位
目	特別課題	教育科目			以上
	健康とス	ポーツ	必修科目を含めて1単位以上		
	スポーツ	活動			
学部	理工系教	育圏科目	16 単位以上		
教育科目	学科専門	教育科目	64 単位以上 【卒業研究(必修)を含む】	80 単位 以上	

[※] 授業科目の履修に関しては別に定める。

教職に関する専門科目

惊 类 幻 口	単位	拉数
授業科目	必修	選択
(教育の基礎的理解に関する科		
目)		
教職概論		2
教育原論		2
学習・発達論		1
特別支援教育論		1
教育行政学		2
学校教育社会論		2
教育課程総論		2
(道徳、総合的な学習の時間等		
の指導法及び生徒指導、教育相		
談等に関する科目)		
道徳教育の方法		2
総合的な学習の時間の指導法		1
特別活動論		1
教育方法論(情報通信技術の活		2
用を含む)		
生徒指導・進路指導		2
生徒指導論(養護・栄養)		1
学校教育相談		2
(教育実践に関する科目)		
教育実習 A		3
教育実習 B		5
教育実習 (養護教諭)		5
教育実習 (栄養教諭)		2
教職実践演習(中・高)		2
教職実践演習 (養護教諭)		2
教職実践演習 (栄養教諭)		2

惊 华 幻 口	単位	Z数	
授業科目 	必修	選択	
(教科及び教科の指導法に関す			
る科目)			
職業指導(工業)		2	
職業指導(商業)		2	
職業指導(農業)		2	
工業科教育法I		2	
工業科教育法Ⅱ		2	
理科教育法 I		2	
理科教育法Ⅱ		2	
社会科・公民科教育法 I		2	
社会科・公民科教育法Ⅱ		2	
社会科・地理歴史科教育法 I		2	
社会科・地理歴史科教育法Ⅱ		2	
国語科教育法 A I		2	
国語科教育法AⅡ		2	
国語科教育法 B I		2	
国語科教育法 ВⅡ		2	
英語科教育法 A I		2	
英語科教育法 A II		2	
英語科教育法 B I		2	
英語科教育法 BⅡ		2	
農業科教育法I		2	
農業科教育法Ⅱ		2	
情報科教育法I		2	
情報科教育法Ⅱ		2	
商業科教育法 I		2	
商業科教育法Ⅱ		2	
数学科教育法 I		2	
数学科教育法Ⅱ		2	

[※] 授業科目の履修に関しては別に定める。